

319

342



始



工13K-81



# 戰術之原理

319-342 S

319-

342 參

謀著

東京

忠誠堂出版部

大正  
4. 3. 25  
丙午

# 戰術之原理

## 目次

緒言	一
第一章 遭遇戰ニ於ル前衛司令官ノ決心ノ基	一
礎トナルヘキ原則	一
第二章 脅威ニ任スル部隊ノ行動ニ就テ	四
第三章 包圍	一〇
第四章 中央突破	一六
第五章 迂回作戰ニ就テ	一九
第六章 陽攻	二六

目次



目次

第七章 威力偵察……………二九

第八章 特殊ノ情況ニ於ル山地若クハ河川ノ進出法……………三四

第九章 準備陣……………三七

第十章 攻勢ノ目的ヲ有シ河川防禦ト山地防禦トノ差異ニ就テ……………四〇

第十一章 持久戰ト其陣地ニ就テ……………四三

第十二章 側面陣地ニ就テ……………四七

第十三章 前進陣地ニ就テ……………五三

第十四章 河川ノ後退配備ニ就テ……………六一

第十五章 隘路前ニ於ル前衛ト後衛トノ戰鬪法ノ差異……………六三

目次

第十六章 攻勢防禦ニ於ル防勢地帯ニ就テ……………六七

第十七章 夜間退却指揮ノ要領……………七〇

第十八章 各個擊破附内外線作戰……………七七

第十九章 集中 戰略開進 戰略展開……………八八

第二十章 軍作戰行動ノ原則的推移……………九五

# 戰術之原理

S 參 謀 著

## 第一章 遭遇戰ニ於ル前衛司令官ノ

### 決心ノ基礎トナルヘキ原則

前衛司令官ノ決心ノ最モ困難ニシテ而モ本戰ノ勝敗ニ甚大ノ影響ヲ及ホスハ遭遇戰ヲ以テ最ト爲ス然シテ遭遇戰ニ於ル前衛ノ動作ハ大別シテ左ノ二種ニ區分シ得ヘシ、即チ

(一) 守勢的ニ任務ヲ達成スル場合

遭遇戰ニアリテモ爲シ得ル限り全隊ヲ統一シテ戰鬪ニ參與

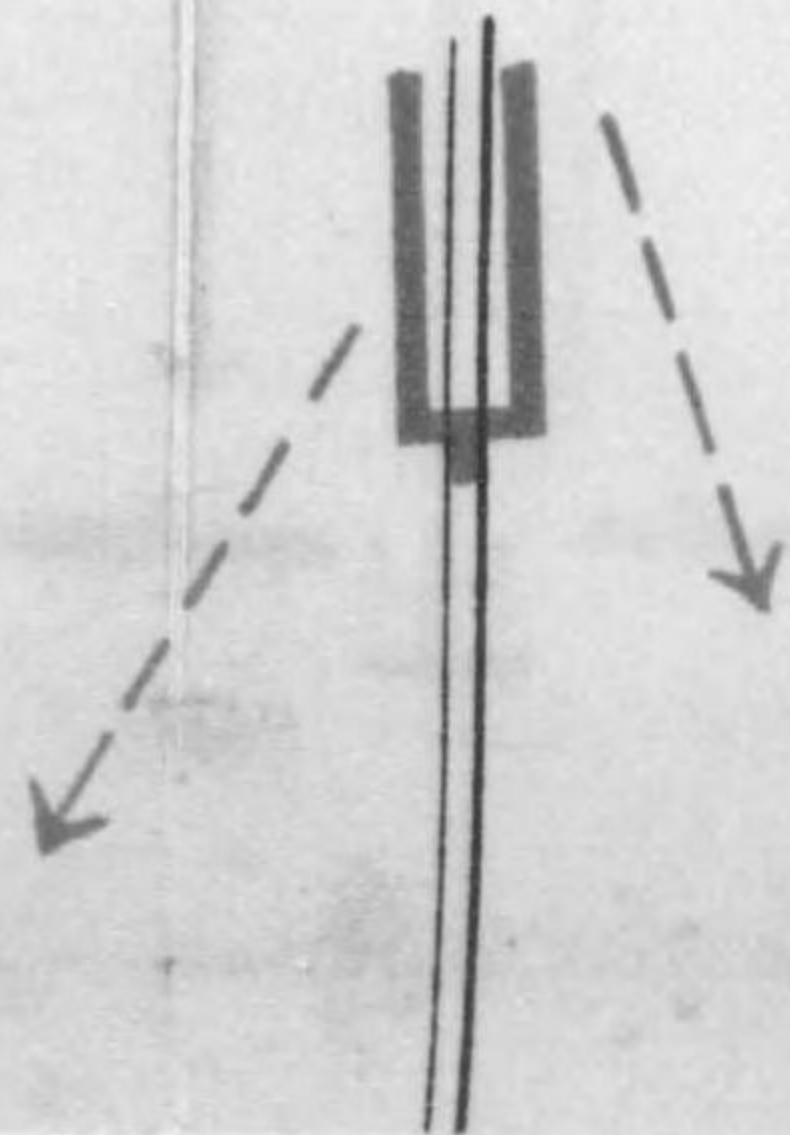
セシムルハ最も希望スル所ナルヲ以テ普通ノ狀況ニ於ル前衛ノ行動ハ守勢的ナルヲ自然トス、敵我ニ先テ展開ヲ終ラントスルカ如キ場合ニ在リテハ特ニ然リ此等ノ場合ニ於ル前衛司令官ハ確實ニ本隊ノ展開ヲ掩護スルト同時ニ爾後ニ於ル本隊展開ノ情態竝ニ攻勢動作ノ難易ヲ考ヘ其占ムヘキ線及是レカ部署ヲ決定スルヲ要ス

(二) 攻勢的ニ任務ヲ達成スル場合 換言スレハ前衛獨力ヲ以テ攻撃スル場合

此場合ハ更ニ次ノ二種ニ區別シ得

甲、前衛獨力ヲ以テ攻撃セサレハ任務ノ達成困難若クハ不可能ナル場合、竝ニ爾後ノ戰鬪ノ爲メニ有利ナル地歩ヲ占メ置クヘキ場合

其一



其ル狀況ニ於テハ  
力攻撃スルガ為  
ナリシモ前衛ハ  
断乎トシテ  
然ラバ本隊ノ展

(二) 攻勢的ニ任務ヲ達成スル場合

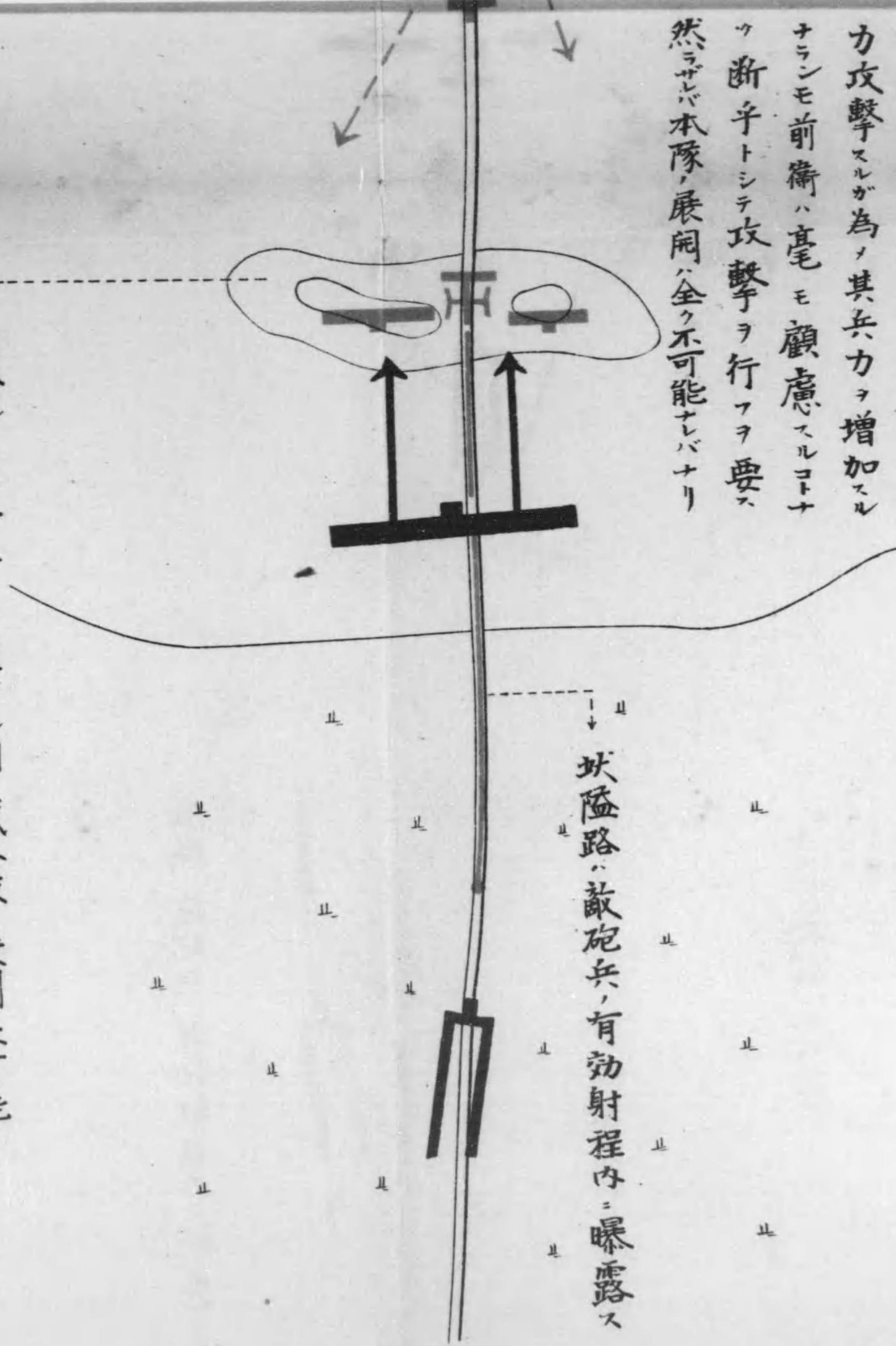
攻撃スル場合

此場合ハ更ニ次ノ二種ニ區別シ得  
甲、前衛獨力ヲ以テ攻撃セサレハ任務ノ達成困難若クハ不可  
能ナル場合、竝ニ爾後ノ戦闘ノ爲メニ有利ナル地歩ヲ占メ  
置クヘキ場合

此レ狀況ニ於テハ敵ハ我不利ニ乘シ極  
力攻撃スルガ為メ其兵力ヲ増加スル  
ナランモ前衛ハ毫モ顧慮スルコトナ  
ク断乎トシテ攻撃ヲ行フヲ要ス  
然ラバ本隊ノ展開ハ全ク不可能ナレバナリ

敵ニシテ攻要点ヲ占領シタル間ハ我本隊ノ展開ハ不可能ナリ

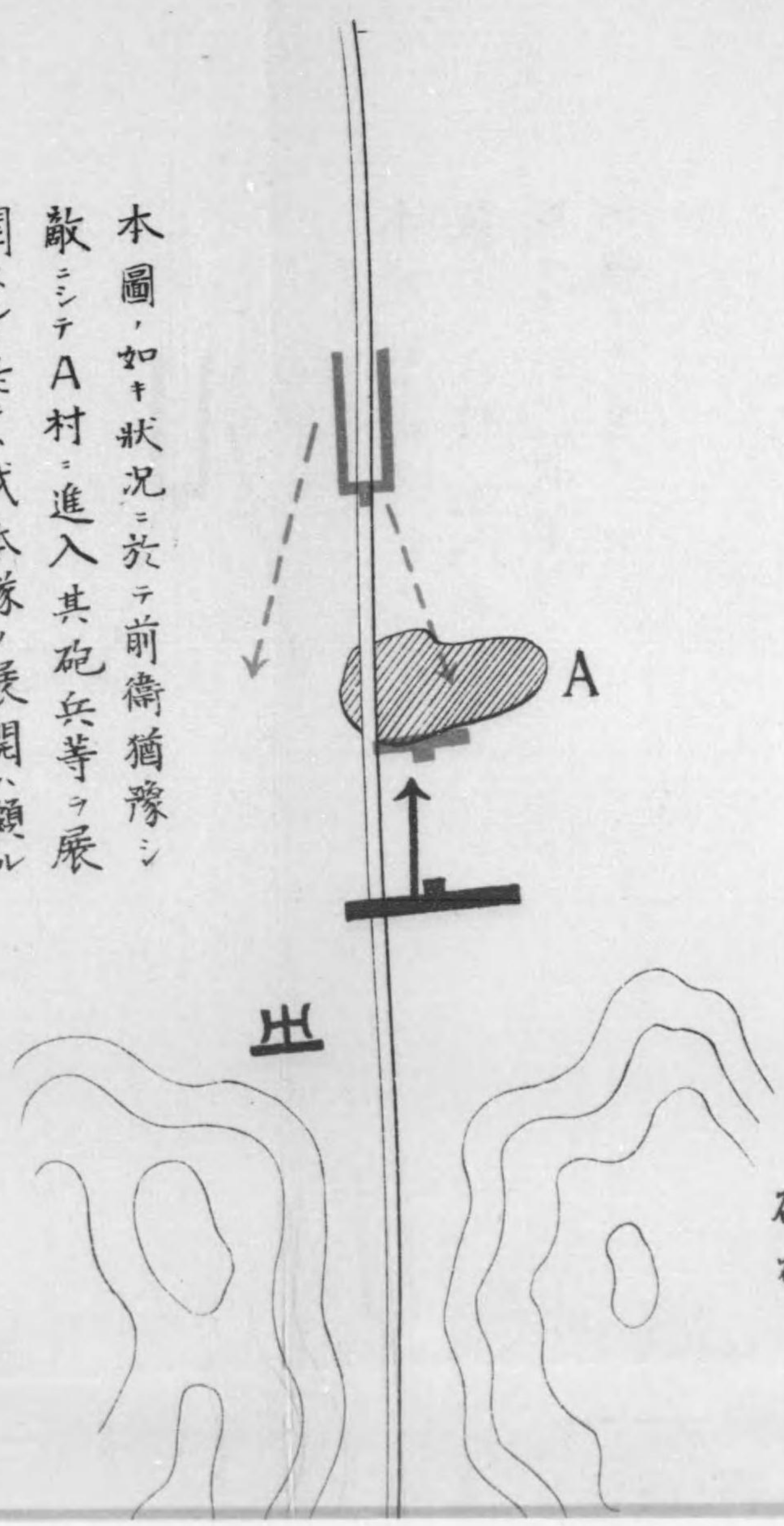
↓ 坎隘路ハ敵砲兵ノ有効射程内ニ曝露ス





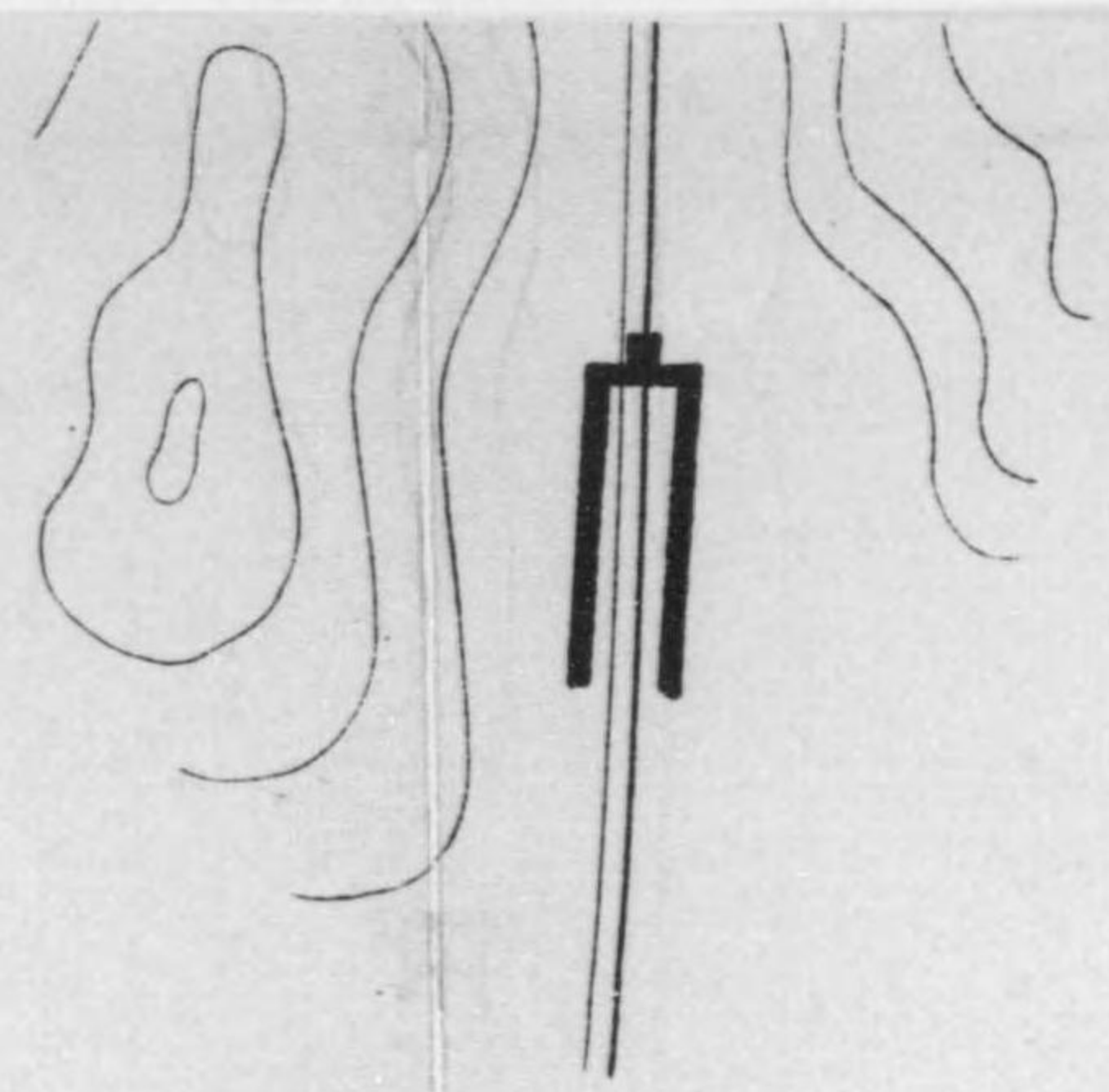
其二

本圖、如キ狀況ニ於テ前衛猶豫シ  
敵ニシテA村ニ進入其砲兵等ヲ展  
開スルニ於テハ我本隊ノ展開ハ頗ル  
困難ナルニ至ルベシ



両側ノ山地ハ通  
又ハ密林等ノ為  
障碍タルモノ

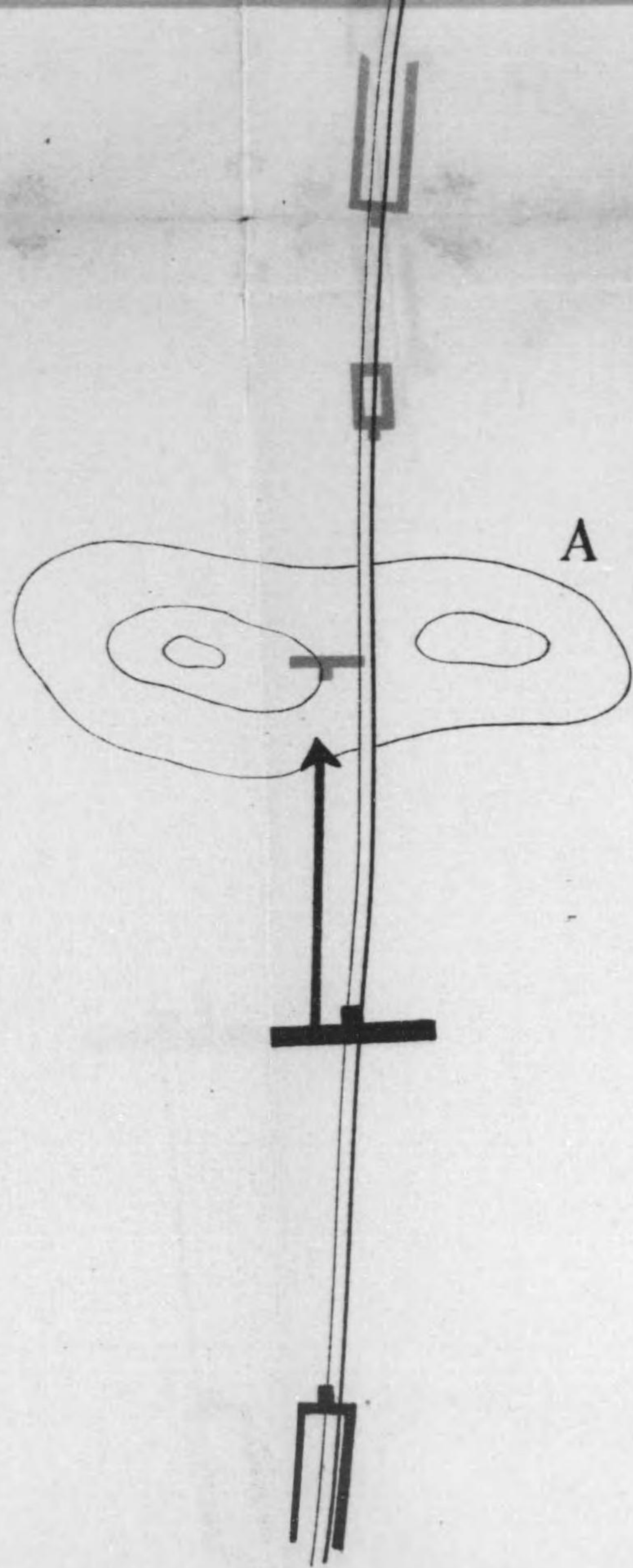
地ハ通過スヘカラサルカ  
等ノ為メ戦術上  
モノ



其三

本圖如  
占置力  
高地領

本圖、如キハ所謂爾後ノ戰鬪、為メ有利ナル地歩ヲ  
占メ置カントスル場合ニシテ彼我、遭遇地点タルA  
高地、領有如何ハ戰鬪、勝敗ヲ左右ス



## 乙、敵ノ不利ニ乗シ得ヘキ場合

甲ノ場合ハ多ク隘路前ニ於テ敵ト衝突スルカ若クハ戰場ノ要地ヲ爭奪スル場合ニ起ル情況ニシテ其二三ヲ例示スレハ別紙要圖其一、二、三ノ如シ

要圖其二ノ如キ隘路口ノ遭遇戦ハ日本内地ニアリテハ殆ト常ニ生起スヘキモノニシテ其際前衛カ隘路口ヲ確實ニ占領シ本隊ノ展開ヲ掩護スヘキヤ將又攻勢ニ依リ任務ヲ達成スヘキヤニ就テハ初學者ノ大ニ迷フ所ナリトス此際ニ於ケル決心ノ基礎ハ左ノ二者ニ據ルヘキモノトス

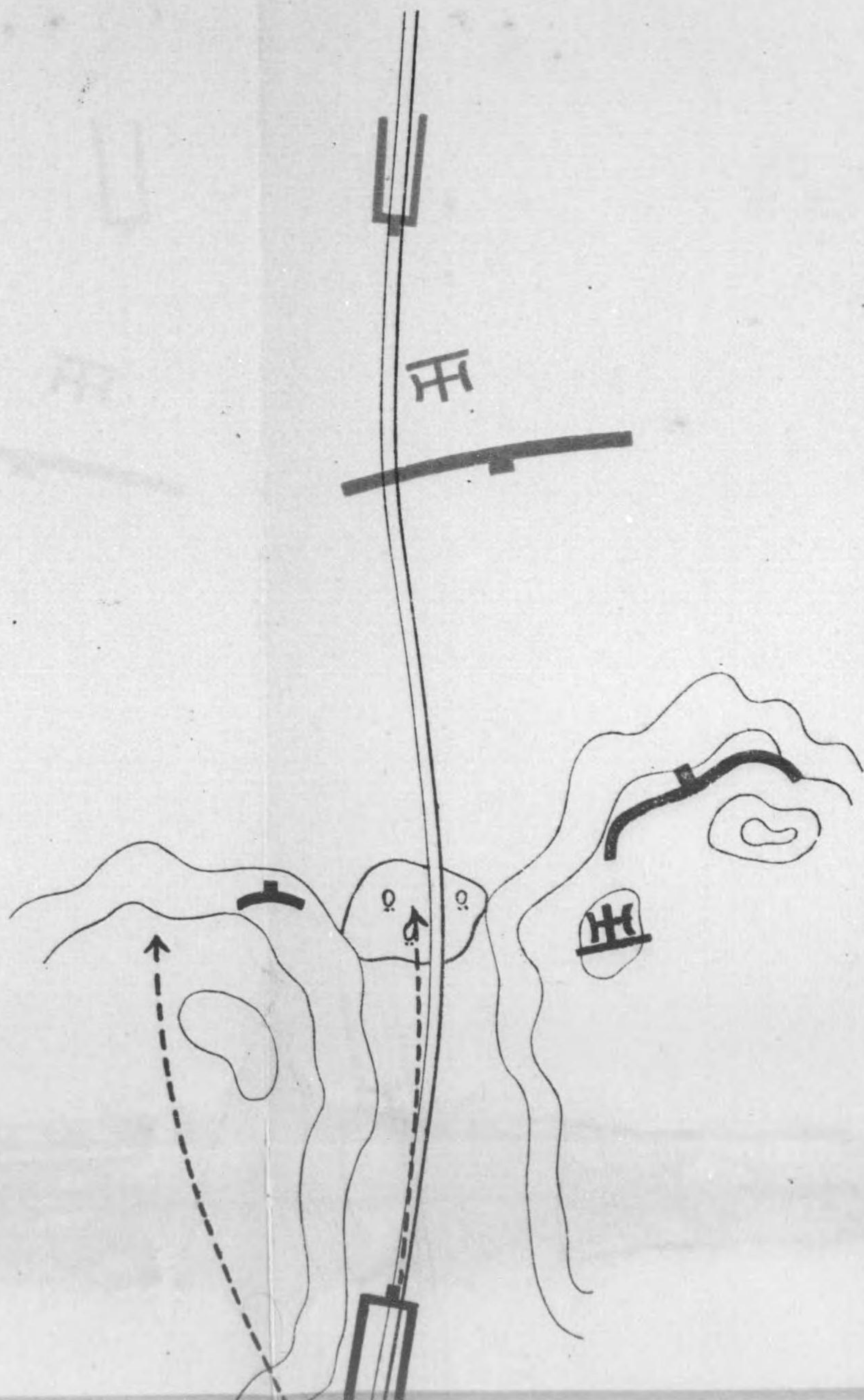
一、要圖其二ニ示スカ如ク兩側ノ地形全ク展開ヲ許サス隘路亦狹長ニシテ敵ノ縦射ヲ受ルカ如キ時ハ攻勢ヲ以テ任務ヲ解決ス

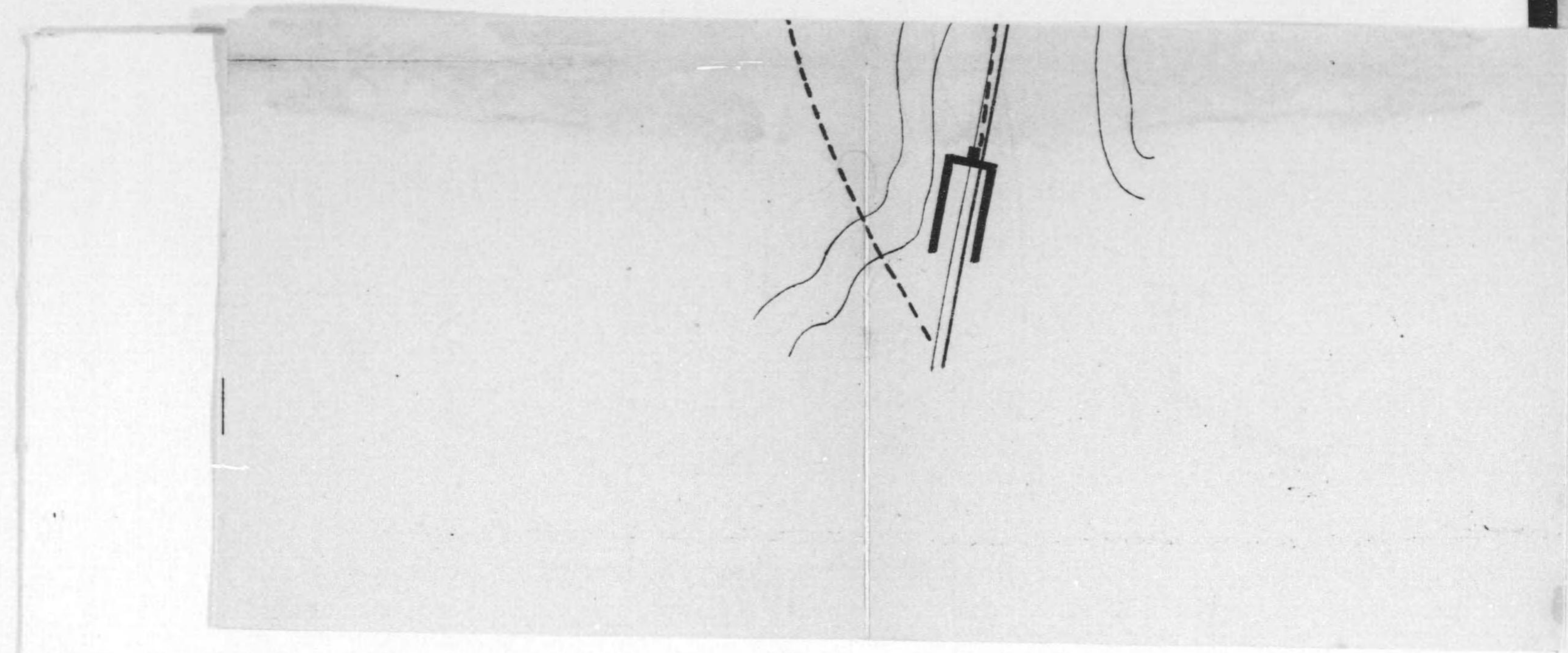
二、兩側若クハ一側ノ地形展開ヲ許スカ又ハ隘路ノ幅員本隊展開ノ爲メ甚シク狹隘ナラサル時(勿論隘路ナル以上展開ノ爲メ充分ノ餘地ナキユトハ明ナリ只程度ニ依ル)ハ前衛ハ隘路口ノ高地ヲ利用シ確實ニ其任務ヲ達成スルヲ要ス例ヘハ別紙要圖ノ如シ

乙ノ場合ハ主トシテ地形ニ關スルモノニシテ敵ノ隘路進出ニ乘シ得ヘキ時若クハ遭遇點ノ地形特ニ我ニ有利ナル場合ナリトス即チ別紙要圖其一、其二ノ如シ

### 第二章 脅威ニ任スル部隊ノ行動ニ就テ

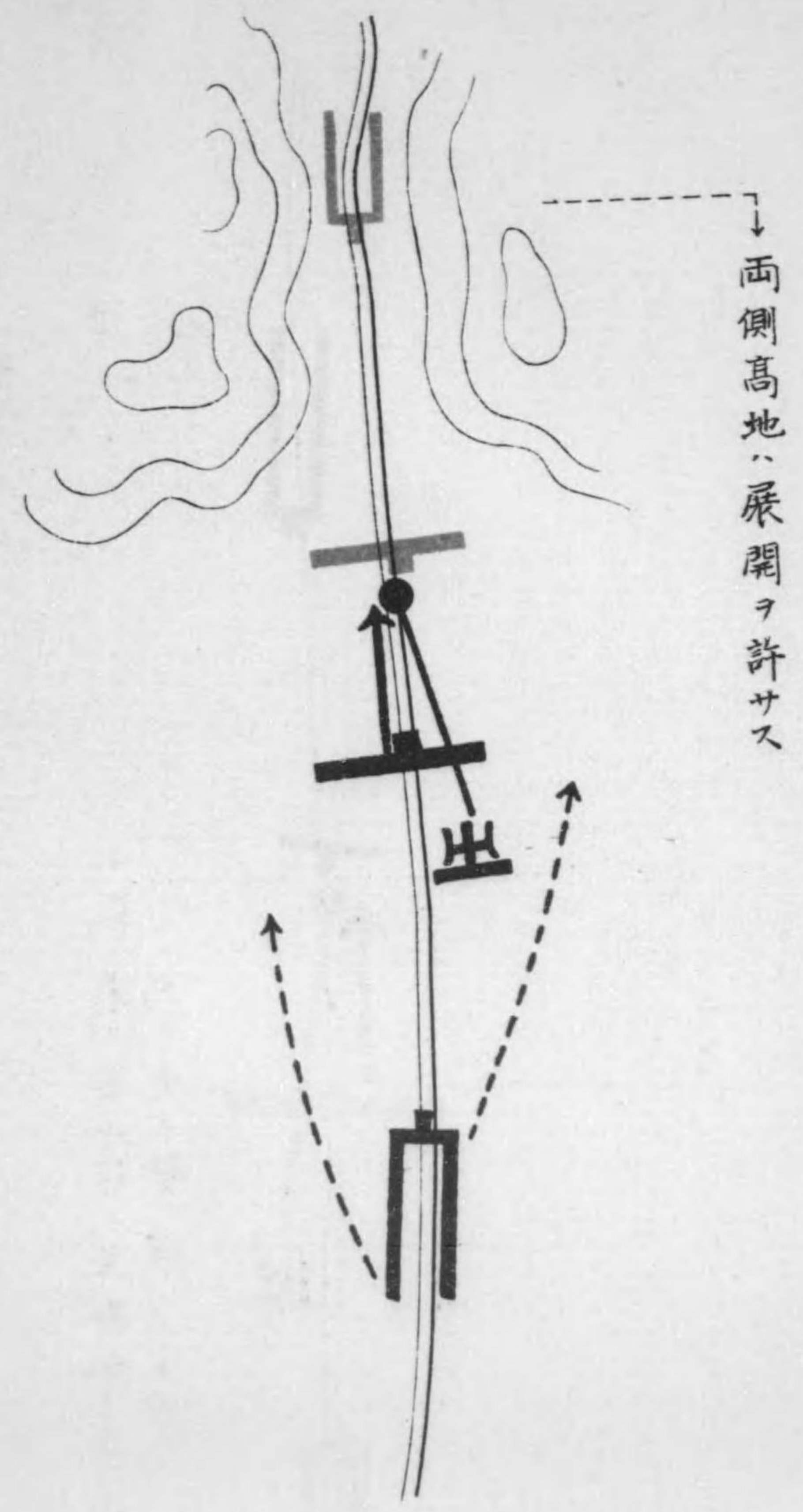
脅威ハ敵ヲシテ其背後若クハ其翼側ニ痛痒ヲ感セシメ是ヲシテ其兵力ヲ分割セシメ以テ直接間接ニ本戰ヲ容易ナラシムル



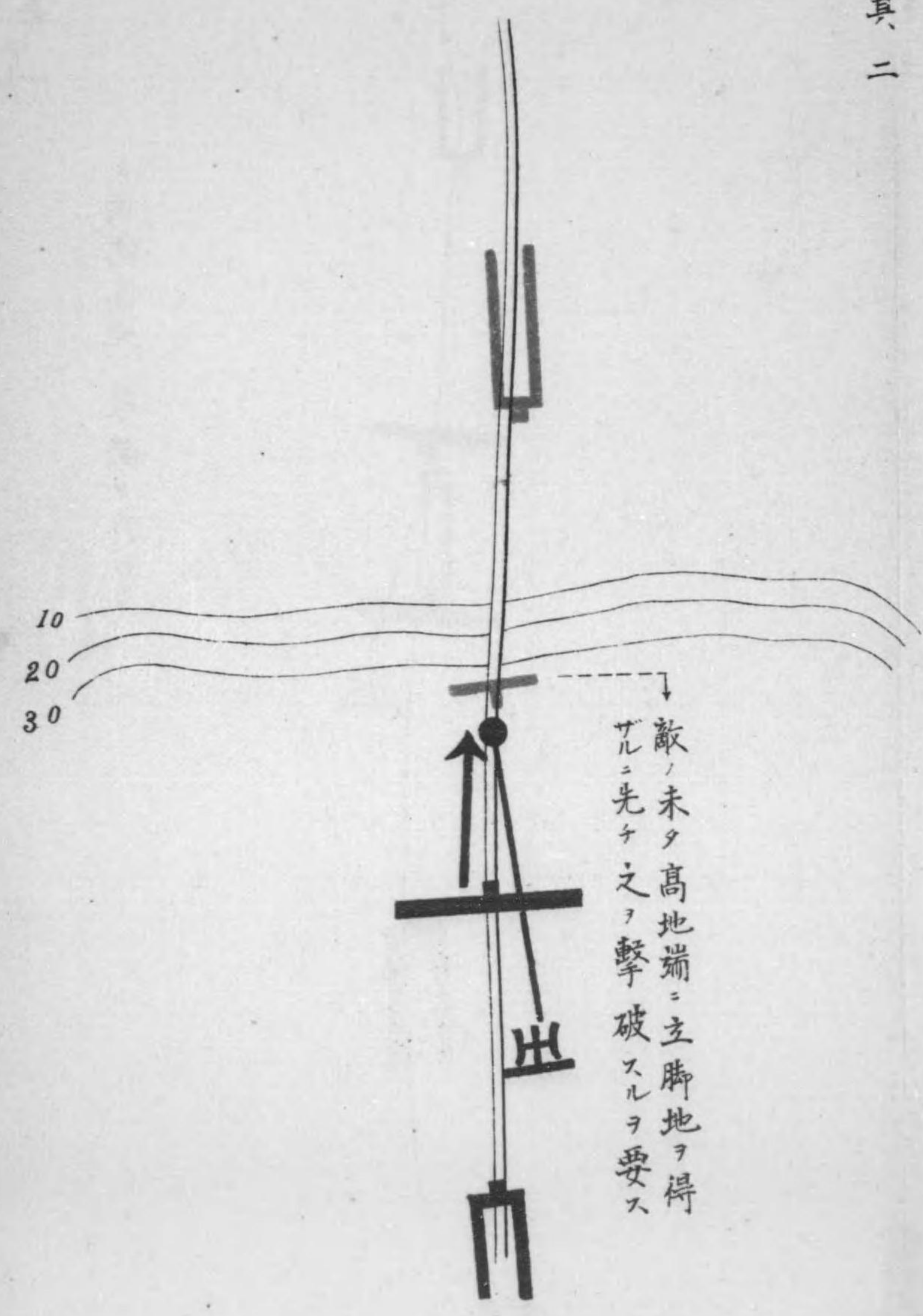




其一

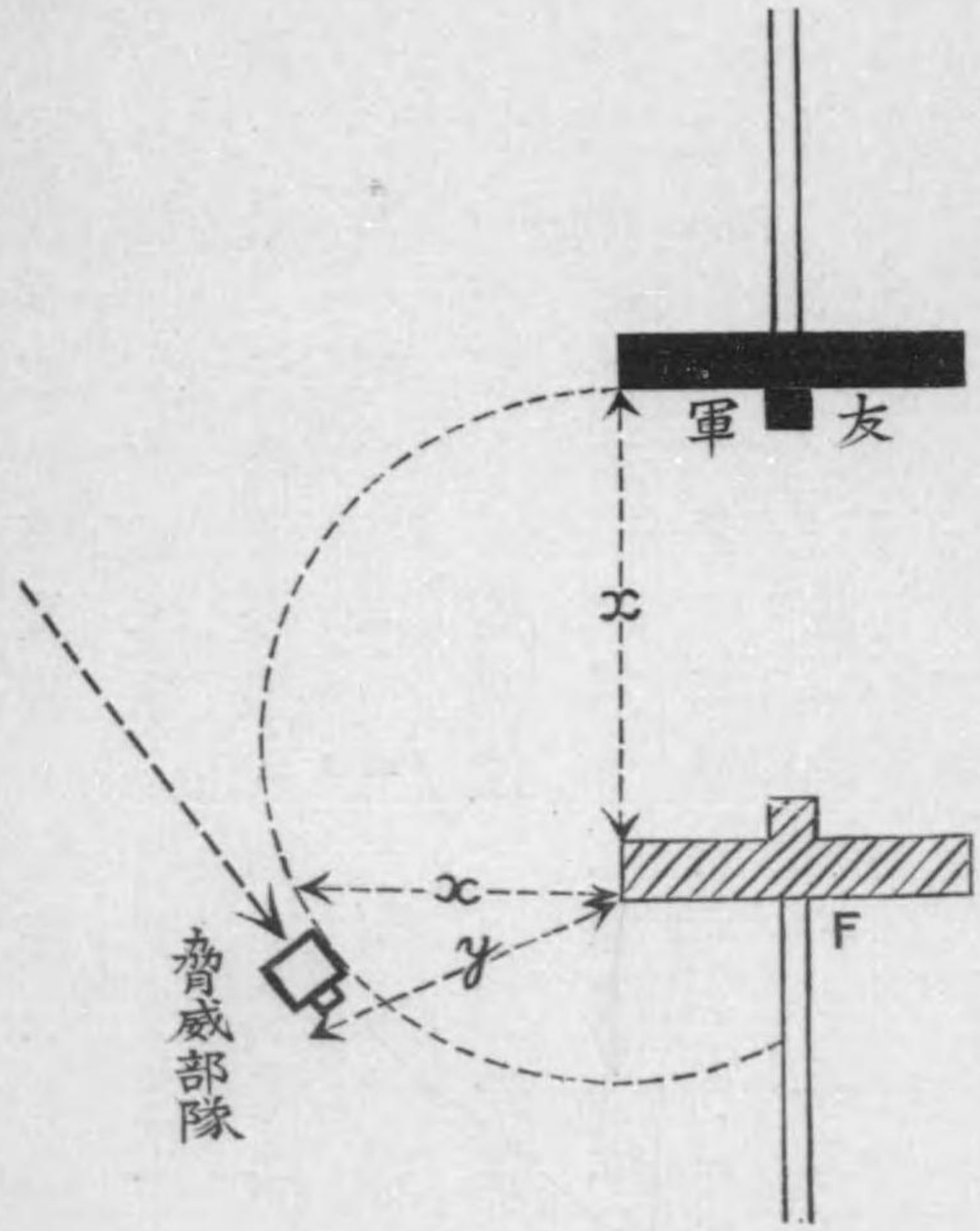


其二



敵ノ未タ高地端ニ立脚地ヲ得  
サルニ先キ之ヲ撃破スルヲ要ス

戰術之原理



カ又ハ是ヲシテ退却ニ就カシメ若クハ其動機ヲ誘起セシムル  
 者トス然シテ此脅威部隊ノ爲メ其決心茲ニ行動ノ基礎ハ主ト  
 シテ本軍方面ノ情況ニ關ス即チ

甲ノ場合 彼我本軍ノ距離遠ク戰機未タ熟セス

(一) 此ノ場合ニ於ケル脅威部隊ノ目標及進路

目標ハ遠ク敵ノ背後連絡線ニ採リ其進路ハ $\alpha$ 圏外ニ撰定セラル、ヲ要ス即チ $y > \alpha$ 又ハ $y = \alpha$ ノ關係ヲ保持スル事必要ナリ然ラナレハ本戰ト何等連鎖ナキ部分戰ヲ惹起シ徒ニ敵ノ爲メ各個擊破ヲ蒙ルニ過ス支隊戰ノ本領ハ常ニ本戰ト密接ナル連鎖アルヲ要ス其戰鬪ニシテ何等本軍ノ戰鬪ニ感響スル所アラスンハ是レ純然タル兵力分離ノミ

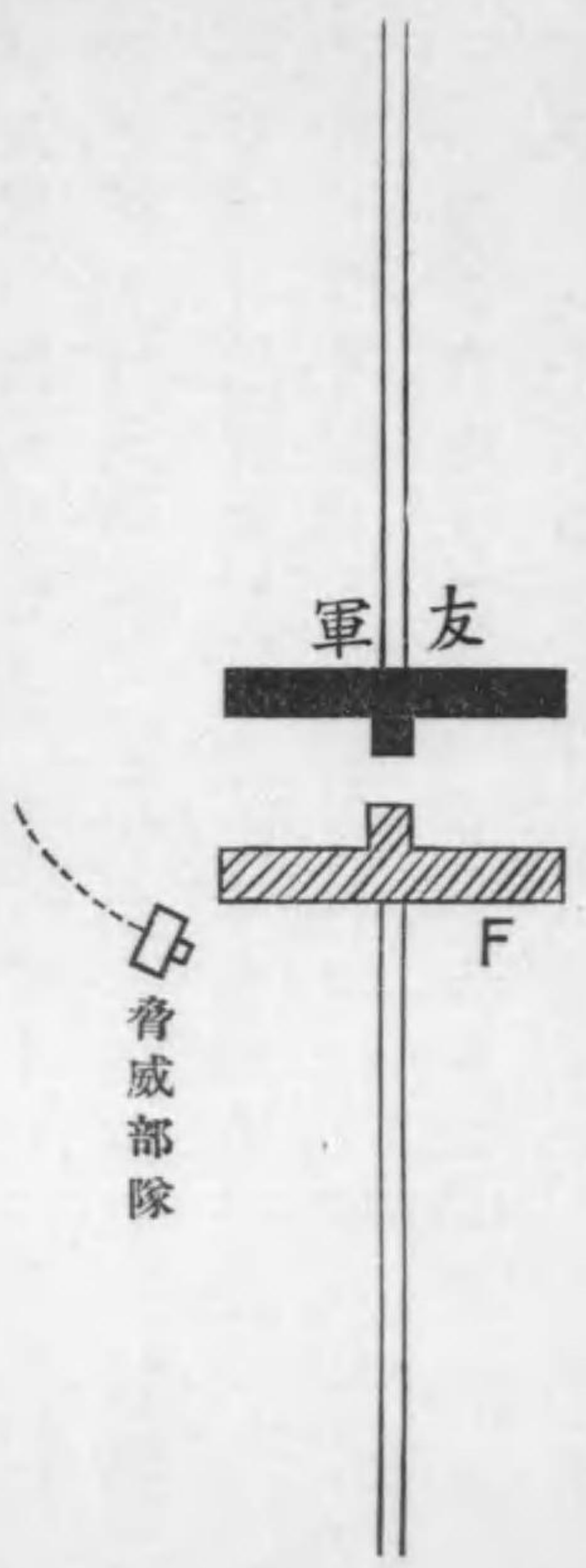
(二) 其行動

此ノ場合ニ於ル脅威部隊ノ行動ハ一進一止一ニ情況ニ應シ其決心ヲ變セサルヘカラス即チ敵若シ優勢ナルモノヲ以テ攻撃シ來ル時ハ宜シク決戰ヲ避ケ是ニ反スル時ハ猛

烈果敢ナル攻撃ニ依リ更ニ大ナル痛痒ヲ感セシメサル可カラス若シ一部論者ノ如ク常ニ脅威ハ攻撃ナリト断定セハ我若シ優勢ナル敵ニ對シ攻撃ヲ持續センカ途ニ我ハ本軍ノ戰機未タ熟セサルニ早ク己ニ決戰ヲ惹起シ其極各個擊破ノ害ヲ受ンノミ是レ其目的ニ反ス要之本場合ニ於ル脅威部隊ノ行動ハ持久以テ敵ノ背後ニ策動シ本軍方面戰機ノ發展ヲ持ツヲ要ス

然シテ斯ノ如キ一進一止ノ如キ巧妙ナル行動ハ果シテ敵之ヲ許スヤ否ヤ軍又ハ師團ノ如キ大兵團ニアリテハ頗ル困難否ナ不可能ナリト雖モ一支隊ノ如キハ毫モ困難ナラサルハ幾多戰史ノ證明スル處ナリ

乙ノ場合 決戰ノ機迫ルカ又ハ會戰既ニ惹起セル場合



(一) 本場合ニ於ル脅威部隊ノ進路目標

此際ニ於ル脅威部隊ハ捷路ヲ經テ近ク敵ノ側背ニ迫ルヲ要ス然ラサレハ未タ脅威ノ效果舉ラサルニ先テ本戰ノ終結ヲ見ルノ恐アレハナリ

(二) 其行動

此際ノ行動ハ猛烈果敢眞摯ノ攻撃ナルヲ要ス其動作敏活

ナルニ從ヒ愈大ナル痛痒ヲ敵ニ感セシムルモノニシテ遂ニ敵ヲシテ多大ノ兵力ヲ分割セシムルカ若クハ退却ノ餘儀ナキニ至ラシムルモノトス若シ此際ニ於ル我行動敏活ナラサランカ或ハ敵ノ優勢ナルカ爲メ守勢ニ陥ル時ハ敵ハ極メテ僅少ノ一部ヲ割イテ我ニ對セシムルカ又ハ何等顧慮スルコトナク全力ヲ舉テ本戰ノ勝敗ヲ爭フニ至ルヘシ故ニ敵ノ兵力ノ如キハ毫モ顧慮スルヲ要セス一意猛烈ナル攻撃ヲ斷行スルヲ可トス若シ此際不幸ニシテ優勢ナル敵ノ爲メ全滅ニ瀕スルコトアラシカ是レ却テ任務ヲ達成シ得テ遺憾ナキモノト謂フヘシ如何トナレハ敵ノ分割セル兵力愈大ナルニ從ヒ我本軍ノ戰鬪益容易ナルノ利アレハナリ

## 第三章 包圍

## 一、包圍トハ如何

包圍トハ正面竝ニ側面ヲ併セ攻撃スルノ謂ニシテ其主力ヲ正面ニ指向スヘキヤ將又側面ニ用ユヘキヤハ敢テ問フ所ニ非ス(獨露歩兵操典及バルク戰術參考)

然シテ其兩翼ヲ併セ攻撃スルカ如キハ兵力ノ懸隔甚シキ特別ノ場合トス(但シ無爲ノ敵ニ對シテハ必シモ然ラス日清戰爭ニ於ル平壤役一八七〇年戰ニ於ル「セダン」役ノ如シ)

主力ヲ以テ側面ニ本攻ヲ施スハ其價值頗ル大ナリト雖モ元來陣地ハ主ナル道路上ニ撰定セラル、コト多キヲ以テ主力ヲ以テ側面ニ對シ包圍ヲ行フカ如キハ背後連絡線ヲ離レテ

行動セサルヘカラサルノ關係上其實施ノ困難ナルヲ免レス此困難ハ部隊ノ大ナルニ從ヒ益甚シカルヘシ(日露戰ニ於ル得利寺遼陽奉天會戰參照)

## 二、包圍ノ利害

(一) 火力ノ集中 銃砲火ノ射程非常ニ延長セル現時ニ於テハ其利益大ナリ

(二) 成效セハ敵ニ織滅的打撃ヲ與ヘ得 一八七〇年「セダン」役ノ如キハ其好例ナリ

(一) 各個擊破ヲ受ケ易シ 數縱隊ヲ以テスル包圍ニ於テ殊ニ然リ

(二) 失敗セハ復蒐集スヘカラサル危殆ニ陷ルノ害アリ  
要之包圍ノ利ハ數縱隊ヲ以テスルト又後方部隊ノ加入ニ依

ルト將又展開セル一部ノ移動ヲ以テ行フトヲ問ハス包圍完成ノ曉ニ於テ占メ得ラル、モノニシテ其不利ハ實ニ包圍動作實行ノ途中ニ包藏セラル、モノニシテ攻者ノ危機ハ實ニ此間ニ存シ防者ノ乘スヘキ機會亦實ニ茲ニ存スルモノトス

### 三、包圍ノ實施

(一) 分進セル縱隊ニ依リテ行フ 此案ハ實施最モ單簡ニシテ敵ノ不意ニ出スルノ利アリト雖モ各縱隊ノ連繫困難ナルニ乘シ敵ニ各個擊破ノ機ヲ與フルユト大ナリ故ニ此不利ヲ免レントスハ各縱隊ノ兵力ノ相應ニ大ナルト連絡ノ最モ密ナルヲ要ス現時搜索及通信機關ノ發達ニ伴ヒ此不利ハ漸次減少セラルヘキモノトス(反對ニ敵ニモ其機會ヲ與フルニ注意セサルヘカテス)此方法ニ關シ「ジックフート」ハ「最

初ヨリ各縱隊ノ兵力ヲ區分シ且其縱隊ノ先頭ヲ梯次ニ位置セシムルヲ有利ナリト論シアルモ抑各縱隊ノ連絡ヲ密ニシ殆ト同時ニ敵陣地前ニ進出スルハ分進合擊ノ根基ニシテ各縱隊逐次ニ敵陣地前ニ現ル、カ如キハ是即チ敵ニ各個擊破ノ好機ヲ與フルニ過サルモノトス故ニ「ジックフート」氏ノ所説ノ如キハ一縱隊ノ兵力少クモ師團ヲ下ラサルヲ要シ而モ敵情全ク我當初ノ豫想ニ一致シ毫モ逆擊ノ恐ナキヲ確信セル場合ナラサルヘカラス是レ學理上頼ムヘカラサルユトナリトス(戰時ニ於テハ必シモ然ラス日清戰役ノ平壤戰ノ如シ)

(二) 後方部隊ノ加入ニ依ル包圍 此案ノ不利トスル所ハ敵ノ不意ニ出ル能ハサルト兵力大ナルニ從ヒ益、時間ヲ要スル

コト大ナルニアリト雖モ敵ニ各個擊破ノ害ヲ受ル前者ニ比シ數等尠ナキノ利アリトス故ニ此方法ハ多クハ師團以下ノ部隊ニ實施セラル、モノニシテ攻撃計畫確定後諸隊ヲ攻撃準備ノ位置ニ展開セシムルノ時期ニ於テ包圍ノ基礎ヲ成形スルモノトス然シテ後方部隊ノ包圍完成ニ至ル迄一時正面ノ持久ニ任スル部隊ハ能ク敵ノ出撃ニ抵抗シ得サルヘカラス此時期ハ實ニ本包圍ニ於テ最モ攻者ノ危険ヲ感スル時期ニシテ相反スル防者ノ亦最モ乘スヘキ好機ナリトス

然レトモ幾多戰例ノ示ス所ニ依レハ一度陣地ニ固着セル防者ノ好機ニ投シ逆撃ニ轉スルハ云ヒ得ヘクシテ其實施頗ル困難ナルモノナルヲ以テ事實包圍ノ危害ハ學理上講

究スルカ如ク大ナルモノニ非ス戰史ハ常ニ此大膽ナル包圍企畫者ニ勝利ノ桂冠ヲ附與セラル、ヲ示セリ

(三) 展開セル部隊ノ移動ニ依ル包圍 抑包圍ヲ行ントセハ分進セル縱隊ノ合撃ニ依ルト將又後方部隊ノ加入ニ依ルトヲ問ハス展開ニ先テ是ヲ準備スルヲ要ス苟モ既ニ展開セル一部ノ移動ニ依リ包圍ヲ行ントスルカ如キハ特種ノ場合ニシテ其企圖亦通常小ナルモノトス即チ地形特ニ有利ナルカ又ハ夜間濃霧紅塵萬丈ノ如キ敵ノ目視ヲ避ケ得ル場合ニ稀ニ實施セラル、モノニ過サルモノトス然モ尙此種方法ハ最初ヨリ計畫セル攻撃ニアリテハ起リ得ヘカラサルモノニシテ遭遇戰變シテ陣地戰ノ情態ヲ呈セシカ如キ場合ニ際シ更ニ攻撃部署ノ整理又ハ其方法ヲ變セント

スルノ時ニ際シ地形又ハ夜間濃霧等ヲ利用シ實施セラ  
ルモノトス

#### 第四章 中央突破

##### 一、中央突破ト現今歐洲兵學界ノ趨勢

現時歐洲ノ軍事界ニ於テ中央突破ニ對スル講究頗ル旺盛ナ  
極メ兵學ノ大家皆之ヲ口ニシ筆ニ爲サ、ルモノナシ、是抑、何  
ノ必要アリテ然ルカ想フニ近時ニ於ル歐洲列強ノ兵力ハ甚  
シク増大セラレ而モ尙停止スル所ヲ知ラス戰端一度開カル  
ルヤ戰場ニ會スルノ兵力優ニ數百萬ヲ算シ其正面ノ延長亦  
實ニ至大ナルモノアリ加之日露戰役ノ結果ハ共ニ包圍ヲ免  
レントスルノ傾向ヲ生シ從テ之ニ對スル準備ハ百方盡シ來

リテ遺憾ナキニ至レリ於茲カ戰勝ノ目途ハ一ニ大規模ノ中  
央突破ニ求メ以テ戰期ノ短縮ヲ計リ軍費ノ輕減ヲ得ント欲  
スルニ至レリ

##### 二、中央突破ノ利害及其奏效ノ如何

抑、中央突破ノ利トスル所ハ攻者ノ重點ヲ以テ敵陣ノ一部ニ  
穿貫的破綻ヲ求メントスルモノニシテ一度成功セハ敵ヲ分  
斷シテ復起ツ能ハサルニ至ラシメ得ルニアリ然レトモ此攻  
撃タルヤ假令一部ノ成功ヲ收メ得タリトスルモ單ニ敵陣ノ  
一部ニ凹所ヲ作ルニ過スシテ全ク之ヲ穿貫スルコト難ク多  
クハ敵ノ包圍ヲ蒙リ慘悲ナル情況ニ陥ルヲ常トス火器ノ威  
力増大セル現時ニ於テハ益然リ故ニ日清戰役ニ於ル樊家臺  
ノ攻撃又ハ奈翁ノ得タル此戰法ノ成果ノ如キハ單ニ昔時ノ



遺物トシテ認識セラル、ニ過スシテ地形特ニ是ニ適スルカ  
敵ノ正面廣大ニシテ且長隘路内ニアリ而モ兩側高地ノ標高  
比較的大ナル場合ノ如キ配備上ノ缺點アルニ非スンハ到底  
小支隊等ノ企圖シ得ヘキモノニ非ス  
然レトモ軍ノ如キ兵力大ナルモノニアリテハ往々之ヲ實施  
シ得ヘク其奏效亦決シテ望ナキニ非ス即チ突破ノ幅員大ニ  
シテ分斷セラレタ守者ノ兩方面ヨリスル火力突破ニ任セシ  
攻者ノ部隊ニ及ホシ得サル時ハ攻者ハ茲ニ左圖ノ如ク相反  
スル方面ニ防者ヲ包圍スルノ情況ヲ呈シ其效果頗ル大ナル  
ニ至ルヘシ是現時歐洲兵學界ニ於テ價值アル研究タルニ至  
リシ所以ナリトス

甲 敵ヲ分断  
シ得タル

場合



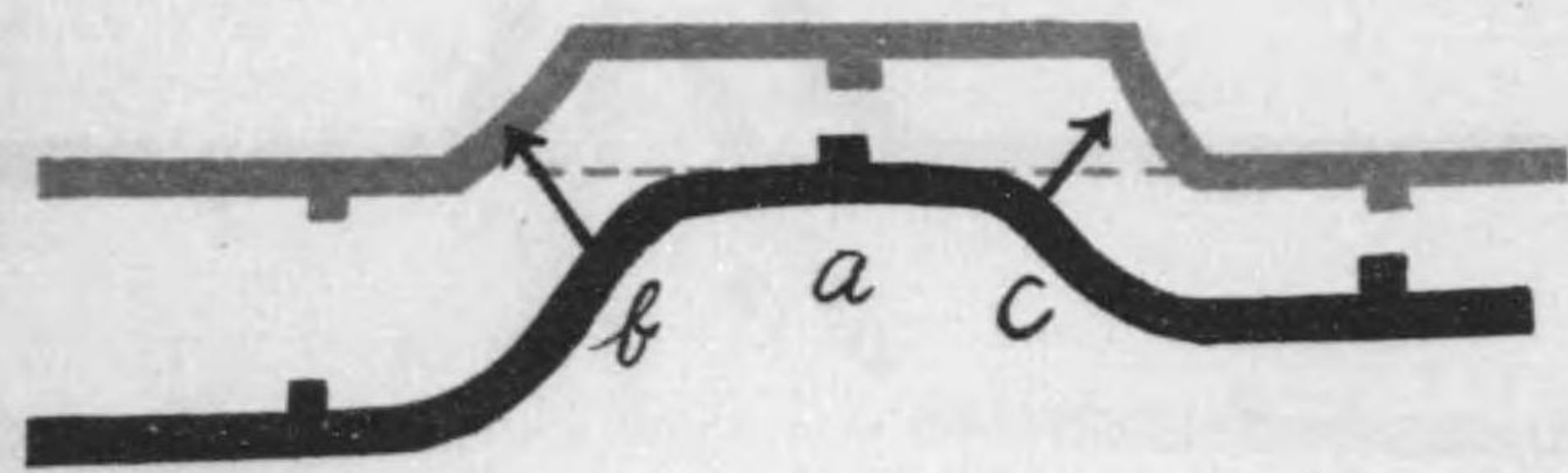
此場合ハ最モ有利  
ニシテ殆ト敵ヲシ  
テ復收集シ能ハザ  
ラシム  
突破ノ正面大ナル  
ヲ以テa b部隊ハ  
敵ノ集中火ヲ蒙ラス

乙 敵ヲ突破  
シ得スシ

テ單ニ四

所ヲ作リ

タル時



此場合ニ於テモ我a  
ノ突角ハ突破幅負ノ  
關係上包圍ヲ蒙ラス  
却テb c 兩所ニ於テ  
敵ヲ包圍スル利アリ

## 第五章 迂回作戰ニ就テ

迂回ハ機動ニ依リ敵ノ背後ニ痛痒ヲ與ヘ以テ我目的ヲ達セン  
トスルモノニシテ寧ロ戰術ノ範圍ヲ脱シ漸ク戰略ノ領域ニ入  
ルモノナリ

### 一、迂回ノ目的

- (一) 敵ノ背後連絡線ニ迫リ是ヲシテ退却ノ餘儀ナキニ至ラシ  
ムルモノ 是レカ爲メ主力ヲ以テ迂回スヘキヤ將又一部  
ヲ以テスヘキハ情況ニ依ル
- (二) 敵ノ側背ニ迫リ敵ノ兵力分離ニ應シ正面ノ攻撃ノ奏效ヲ  
計ラントスルモノ 此目的ヲ達センカ爲メニハ多ク一部  
ノ迂回ヲ用ユ

(三) 敵ヲ堅固ナル既設陣地以外ノ地點ニ誘出シ戰鬪ヲ求メン  
トスルモノ 此際ノ迂回部隊ハ宜シク全力又ハ主力ヲ用  
ヒサルヘカラス

### 二、迂回ノ利害

迂回ノ利トスル所ハ前已ニ之ヲ述タリ然ラハ其不利如何抑  
迂回スルモノハ又自ラ敵ニ迂回セラル、ハ自然ノ理數ナリ  
故ニ攻者若シ全力又ハ主力ヲ以テ迂回セントスル時ハ其連  
絡線ヲ新方面ニ移動スルカ若クハ少クモ之ヲ安全ナラシム  
ヘキ所置ヲ必要トス即チ敵ノ正面ヨリスル出撃ニ對シ是ヲ  
防遏シ得サルヘカラス然レトモ茲ニ注意スヘキハ迂回ノ爲  
メ其背後連絡線ヲ該方面ニ移動スルカ如キハ大規模ノ迂回  
作戰ニハ必要ナリト雖モ一時的戰術上ノ迂回ノ爲メニハ必

シモ常ニ必要トスルモノニ非ス例ヘハ山地追撃ニ當リ敵ノ  
一部ト衝突スルニ際シ直ニ主力ヲ以テ他方面ニ迂回セント  
スルカ如キ時ニ於テハ必シモ其後方輜重ノ如キモノヲ該方  
面ニ轉進セシムルノ必要ナキカ如シ  
一部ノ迂回ニアリテハ以上ノ勞ナシト雖モ其兵力編組ニ關  
シテ多大ノ顧慮ヲ拂ハサルヘカラス即チ其部隊小ナレハ迂  
回ノ效果尠ク又大ナレハ兵力分離ノ害ニ陥リ各個ニ擊破セ  
ラル、ノ不利ヲ招クコトアリ然シテ其編組ハ主トシテ迂回  
方面ノ地形ニ關シ其兵力ハ常ニ正面ノ戰鬪ニ危殆ヲ及ホサ  
サルヲ度トスルハ爭フヘカラサル原理ナリ

### 三、迂回ヲ行フヘキ場合

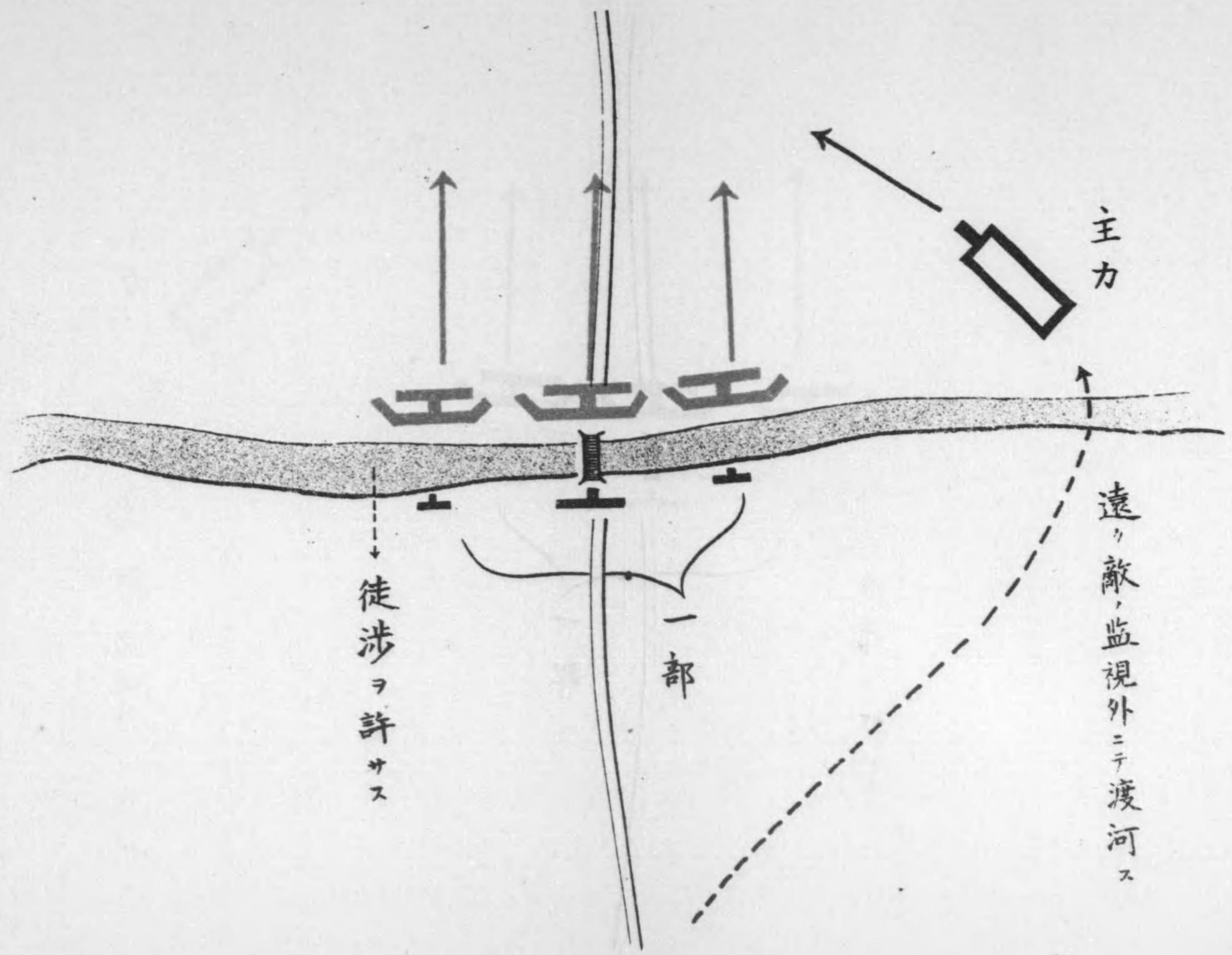
迂回ノ利害夫レ斯ノ如シ故ニ迂回作戰ハ主トシテ地形ノ關

係上案出セラ、モノニシテ正面竝ニ其翼側ノ堅固ハ到底  
 正面又ハ包圍攻撃ノ斷行ヲ許サス若クハ陣地正面ノ幅員狹  
 少ニシテ攻者全兵力ノ使用ヲ許サ、ル場合等ニ行ハル、モ  
 ノニシテ殊ニ山地戰ニアリテハ通常此戰法ニ依リ會戰ハ指  
 導セラルヘク幾多ノ戰史ハ是ヲ證シ得テ餘リアリ即チ山地  
 ハ迂回ナリトノ原則ヲ生スル所以ナリトス

以下二三ノ例ヲ圖示シ其參考ニ資セントス

(一) 主力ヲ以テ迂回スル場合

左圖ノ如キハ主力ヲ以テ迂回スル一例ニシテ我正面戰鬪  
 ノ困難ナルト同時ニ敵モ亦我迂回ヲ察知スルモ直ニ攻勢  
 ニ轉スルコト不可能ナルヲ以テ我主力ハ毫モ其側背ニ顧  
 慮スルコトナリ大迂回ヲ企圖シ得ヘシ此際敵ノ我ニ應ス



主力

遠く敵監視外ニテ渡河ス

一部

徒渉ヲ許サス

ル動作ハ元ヨリ其戦闘目的ニ依ルト雖モ多クハ陣地ヲ棄テ、退却スルノ餘儀ナキニ至ルモノトス是レ河川直接配備ノ如キ出撃困難ナル陣地ヲ占領スルハ其目的持久ニ在レハナリ

(二) 一部ヲ以テ迂回スル場合

左ノ如キハ一部ヲ以テ回スル場合ノ一例ニシテ敵陣地正面ノ地幅ハ攻者ノ全兵力ノ使用ヲ許サス攻者強ヒテ正面ニ於テノミ成功ヲ企圖センカ單ニ其損害大ナルノミナラス多クノ時日ヲ要スルノ不利アリ斯ル場合ニ於テハ宜シク一部ノ迂回ヲ試ミ依テ以テ主力ノ攻撃ヲ容易ナラシムルカ若クハ敵ニ退却ノ動機ヲ與フルヲ可トス山地若クハ隘路口ノ戦闘ニ於テハ屢其必要ヲ認ムルモノニシテ追撃

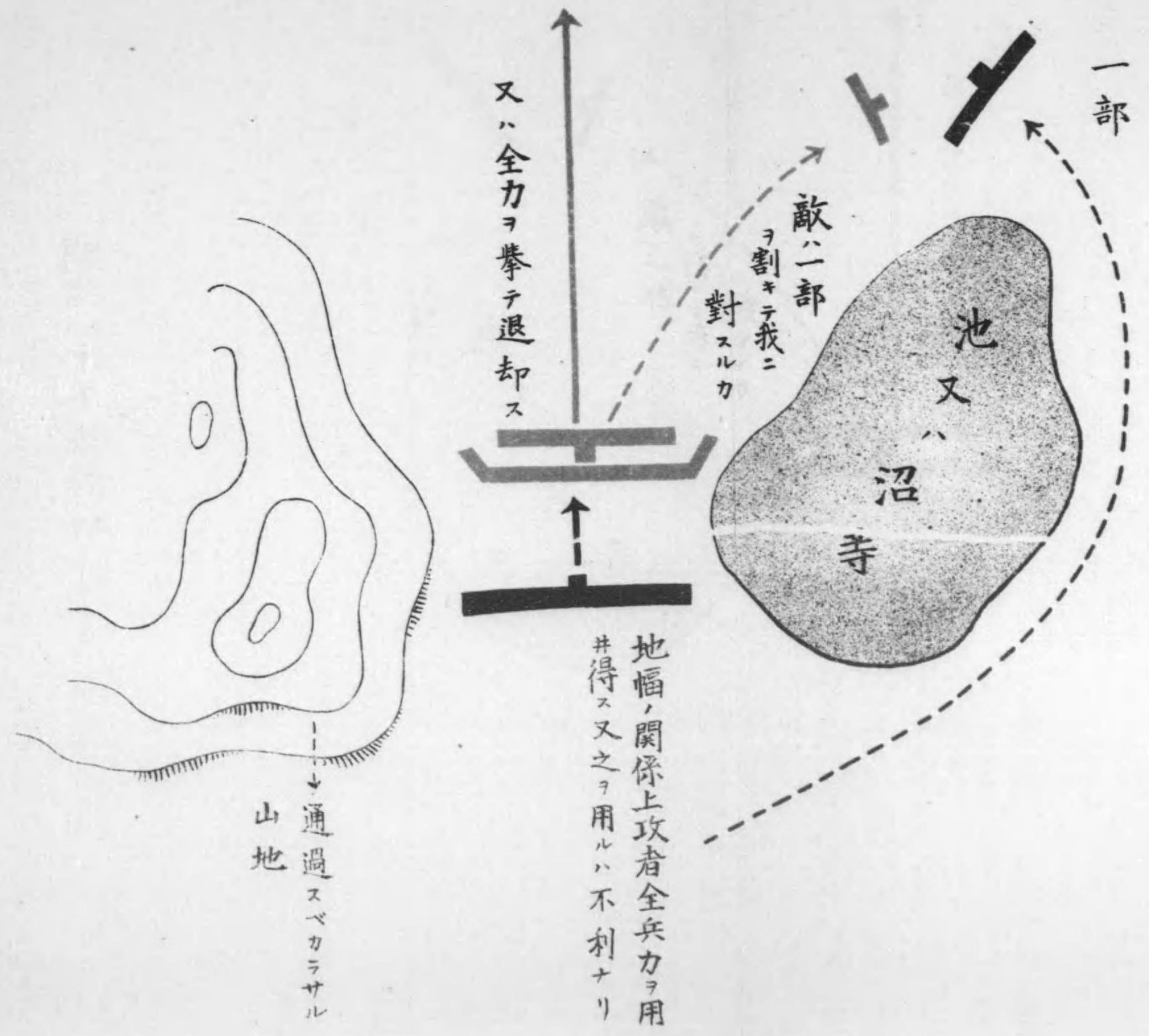
戰ノ如キニ於テ特ニ然リトス

(三) 敵ヲ既設陣地外ニ誘出シ決戦ヲ強ントスル場合

此目的ヲ有スル攻者ハ主力ヲ以テ迂回セサルヘカラス然ルニ敵若シ決戦ヲ企圖スル時ハ攻勢ニ便ナル陣地ヲ占ムヘキヲ以テ攻者ノ此動作ハ殆ト不可能ナリト謂フヲ得ヘシ故ニ此迂回モ亦敵ノ正面出撃困難ナル場合ナラサルヘカラス換言スレハ防者ノ目的持久戦ニアルヲ要ス果シテ然ラハ守者ハ攻者ノ主力其側背ニ迂回スルヲ知ラハ是レ即チ退却ノ時期ニシテ攻者ノ決戦ヲ求メントスルノ企圖ハ成立セサルカ如シ然レトモ左圖ノ如キ情況ニ於テ防者ハ其増援隊ノ來著迄是非共A市附近ヲ去ルヲ得サルニ於テハ攻者ノ迂回ヲ知ルヤ直ニ舊陣地ヲ棄テ敵ヲ迎撃スル



明治四十年佐野附近ノ大演習参照



又ハ全力ヲ拵テ退却ス

敵一部  
ヲ割キテ我ニ  
對スルカ

一部

池

沼

寺

地幅ノ關係上攻者全兵カラ用井得ス又之ヲ用ルハ不利ナリ

通過スベカラサル  
山地

ノ策ニ出テサルヘカラス斯ノ如キ情況ニ於テハ攻者ノ企  
圖茲ニ遂行シ得ラル、モノナリ

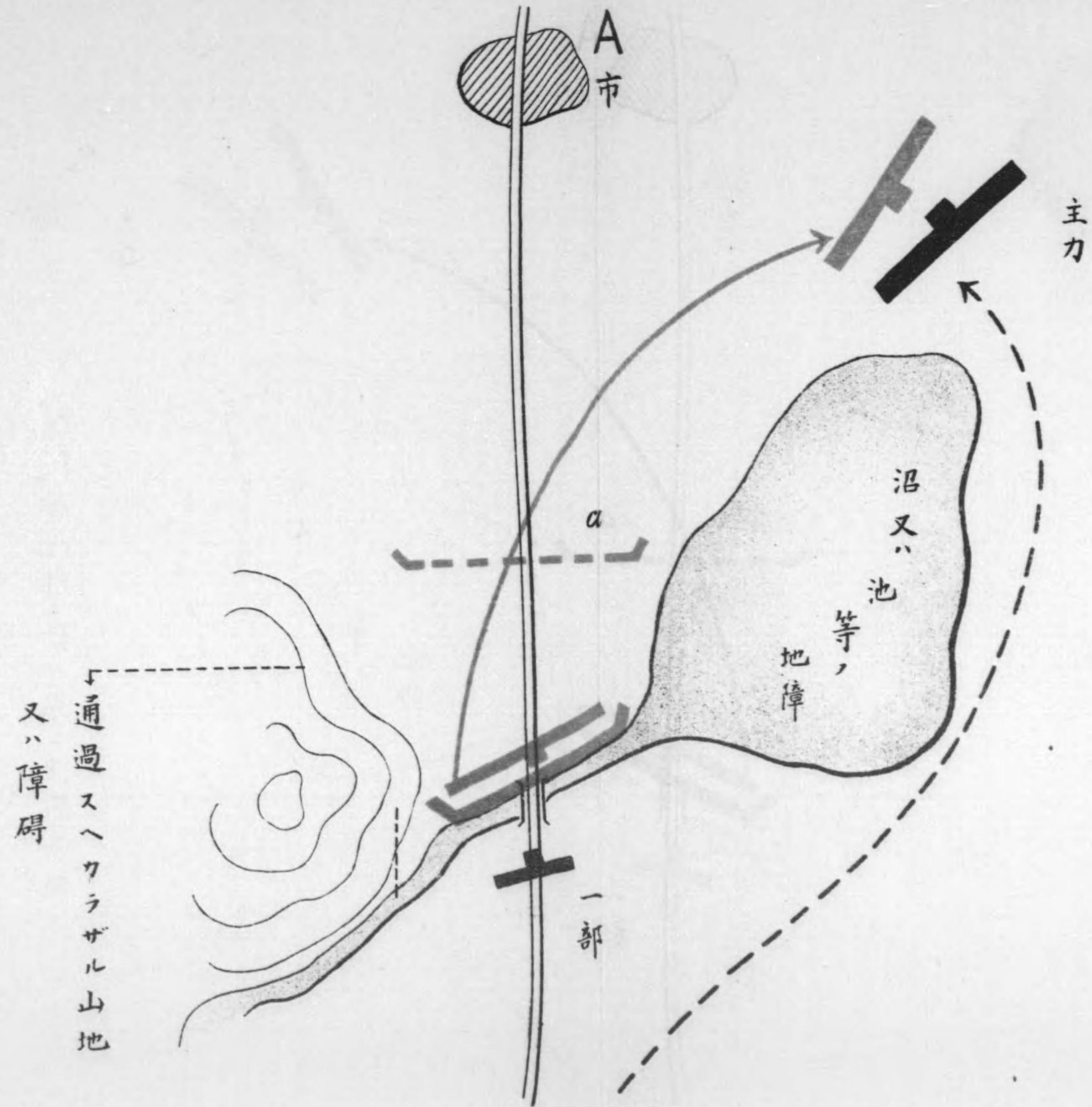
又防者持久ノ目的ヲ有セス右圖aノ如ク障碍ノ後方ニ後  
退配備ヲ堅固ニ占領シ敵ノ障碍通過ニ乗シ攻勢ニ轉スル  
カ又障碍通過後堅固ナル既設陣地ニテ敵ヲ不利ナル位置  
ニ置イテ之ト決戦セントスルカ如キ場合ニ於テハ攻者ハ  
其不利ヲ免レンカ爲メ一部ヲ以テ障碍ヲ利用シ敵ノ出撃  
ニ抑ヘ主力ハ新戰場ニ於テ敵ト決戦スル爲メ迂回ノ策ニ  
出ルヲ有利ナリトス

要之迂回ハ窮策ナリトハ古來兵家ノ説ク所ナリト雖モ余ハ直  
ニ之ニ思肯スルモノニ非ス凡ソ戰鬪ノ要ハ勝利ノ桂冠ヲ得ル  
ニアリ包圍可ナリ中央突破亦可ナリ迂回可ナラサルヘカラス

其戰鬪手段ノ如キハ毫モ問フ所ニアラサルナリ要ハ情況ニ應  
 シ最良ノ方策ヲ採ルニアルノミ山地若クハ隘路口ノ戰鬪ニ於  
 テハ殆ト常ニ迂回作戰ニ出テサルヘカラルハ日露戰役ニ於テ  
 山地方面ニ策動シタル部隊ノ痛切ニ感シタルノ事項ナリトス  
 將來火器ノ進歩ト築城術ノ發達トハ益此戰法ヲ必要トスルニ  
 至ラン

## 第六章 陽 攻

陽攻ハ敵ヲ欺騙シ某時期間敵ヲシテ我行動ニ隨從スルノ止ム  
 ナ得サルニ至ラシムルニアリ即チ偵察戰ノ如キ又某時期間優  
 勢ノ敵ニ對シ一時此チ一地ニ抑留セントスルカ如キ此戰法ノ  
 實施セラル、モノニシテ當初ノ目的タルヤ決シテ眞ノ攻撃ヲ



既設障地外ニ於テ敵ニ決戦ヲ強エ

企圖スルモノニアラス然レトモ茲ニ注意スヘキハ如上偵察戰ノ如キ場合ニ於テモ敵若シ其陽攻ナルヲ察知シ我意志ニ隨從セサルニ於テハ茲ニ斷乎タル眞面目ノ攻撃ニ移ラサルヘカラサルノ事柄ナリトス

然ラハ近時牒報搜索及交通機關ノ發達セル時代ニ於テ果シテ此ノ戰法ヲ以テ能ク其目的ヲ達シ得ヘキヤ是机上ノ戰鬪ニ於テハ或ハ不可能ナランモ實戰ニ於ケル防者ノ心理狀態ニ鑑ミ其方法適切ニシテ地形亦有利ナル場合ニ於テハ常ニ必シモ其成果ヲ期セサルニ非ス幾多戰史ニ見ル防者ノ心理作用ハ蓋ン思半ニ過ルモノアラシ

### 陽攻實施ノ要領

(一) 敵ヲシテ我兵力ヲ誤算シ是ヲ欺騙セント欲セハ先ツ其準

備トシテ盛ニ訛傳ヲ流布シ若クハ宿營物資運搬材料等ノ徵發ヲ過大ナラシメ漸次敵ニ接近スルニ至レハ強大ナル數多ノ斥候ヲ敵ノ全正面ニ衝突セシメ以テ敵ニ誤報ヲ傳ヘ其判斷ヲ錯亂セシム

## (二) 地形ノ補助及兵力ノ部署

陽攻ノ成否如何ハ主トシテ地形ノ援助如何ニ關シ若シ敵ノ陣地全正面前ニ互リ地形平坦開豁ニシテ遠ク展望自在ナルニ於テハ陽攻ハ斷シテ成立セサルモノトス即チ陽攻成立ノ一要素トシテ地形ノ補助ヲ有スルコト絶對ニ緊要ナリ斯ク地形ノ補助ヲ得ハ通常蔭蔽地ヲ占領スヘキ兵力ヲ節約シテ開豁地ニ於ル兵力ヲ充實シ其砲兵ノ如キハ其射擊速度ヲ利用シ全遮蔽陣地ヲ占領セシメ要スレハ適宜

左右ニ移動セシムルモ可ナリ其敵ト接近スルノ程度ハ敵ニ我配備ノ情況ヲ明ナラシメサルヲ限度トス  
以上ノ如クシテ陽攻ニ任スト雖モ敵若シ我豫想ニ反シ或ハ其全兵力ヲ展開セサルカ又ハ一部ヲ以テ我ニ對セシメ主力ヲ以テ他ニ行動セントスルカ如キ情況ニ於テハ此陽攻ニ任スル部隊ハ斷然起テ眞摯ノ攻撃ヲ斷行セサルヘカラス然シテ斯ノ如キ情況ニ於テハ既ニ陽攻ノ範圍ヲ脱逸セルモノトス

## 第七章 威力偵察

偵察ノ目的ヲ以テ威力ヲ用ルハ是レ即チ威力偵察ナリト雖モ其達スヘキ目的如何ニ依リ大ニ是レカ實施法ヲ異ニスルモノニシテ或ハ諸兵連合ノ部隊ヲ以テシ或ハ是レカ爲メニ強大ナ

ル兵力ヲ使用シ若クハ將校ノ率ユル一小部隊ヲ以テスル等決シテ一定不變ノモノニアラス然レトモ其目的及實施方法ノ如何ニ依リ是ヲ大別スレハ「メツケル」ノ所謂小偵察將校ノ率フル一部隊ヲ以テスルモノ及大偵察諸兵連合ノ部隊ヲ以テスルモノ的ノモノニ區分スルヲ得ヘシ

一、前者ハ日露戰ノ經驗ニ徵スルニ將來ノ會戰ニ於テハ殆ト常ニ利用セラル、モノナルヘシ即チ火器築城術ノ進歩ハ戰場空虛ナリトノ現象ヲ呈セシメ到底其陣地ヲ窺知シ得サルノミナラス防者ハ我斥候ノ潛入ヲ排シ極力其陣地ノ掩蔽ニ勉ムルノ結果殆ト常ニ本陣地外ニ一ノ前進陣地ヲ有スルニ至ルヘキヲ以テ尋常ノ手段ヲ以テ此レカ偵察ヲ行フコト能ハス勢ヒ威力ヲ以テ其掩蔽幕ヲ排除シ偵察ノ目的ヲ達スルヲ

企圖スルニ至ルヘシ是レ新要務令ニ於テ戰況或ハ地形ハ騎兵ノ搜索ヲ困難ナラシメ若クハ全ク實行シ難キニ至ラシムルコトアリ此ノ如キ場合ニアリテハ屢々他兵種ヲシテ搜索ヲ行ハシムルカ或ハ騎兵ヲ補助セシムルヲ要スト又戰況ノ進捗ニ伴ヒ正面前ニ於ル搜索ハ漸次他兵種ヲ以テ之ニ任スルニ至ルモノトストノ一項ヲ挿入セラレタル所以ナラン然シテ斯ル小偵察ノ目的ハ敵ノ掩蔽幕ヲ排除シ偵察眼ヲ近ク敵ノ本陣地ニ進ムルニ過スシテ是ニ依リ敵ノ兵力配備若クハ其行動ヲ察知セントスルカ如キハ不可能ニ屬ス即チ敵陣地ノ各方面ニ對シ多數ノ此等偵察隊ヲ放チ以テ進メ得タル偵察眼ノ綜合的判斷ニ依リ全陣地ノ情況ヲ明ナラシメントスルニ過サルモノトス

二、後者ハ所謂「メツケル」ノ大偵察的ノモノニシテ我務令第九十五ニ示スモノ即チ是レナリ然シテ其目的タルヤ戰鬪ニ依リ敵ノ兵力配備若クハ其企圖情況ヲ明ニシ依テ以テ我軍ノ直後ニ於ル決心企圖ノ基礎ト爲サントスルモノニシテ有利ナル地形ノ補助ヲ受ルニ非レハ到底其目的ヲ達スル能ハサルノミナラス若シ強テ其目的ヲ達セントセハ勢茲ニ眞面目ノ攻撃ヲ斷行セサルヘカラサルニ至リ遂ニ戰鬪ノ離脱ハ全ク困難トナリ偵察戰變シテ茲ニ本戰ノ端緒ヲ開クニ至リ主力ハ逐次増加セラレテ遂ニ純然タル本戰ヲ惹起スルニ至ルナ常トス是レ我務令ノ特ニ明示セシ所以ナリトス故ニ其ノ是ヲ行フヘキ場合ハ二三特種ノ情況ニ於テ生スルモノニシテ其偵察部隊ノ編組ハ歩砲特ニ砲兵騎兵ノ多キヲ

要シ其動作タルヤ勉メテ敵ニ掩蔽シテ接近シ一度敵ニ發覺セラル、ヤ猛烈果敢ナル攻撃ヲ實施スルヲ要ス此期ニ於ル攻者ノ要訣ハ一ニ守者ノ精神作用ヲ利用スルニアリ此際陽攻ヲ以テ其目的ヲ達成シ得ハ頗ル有利ナリト雖モ陽攻ノ特性竝ニ地形ノ關係ハ常ニ必シモ之ヲ期待スルヲ得ス故ニ多クノ場合自然ニ眞面目ノ攻撃ヲ實施スルニ至ルモノトス然シテ本偵察ニ於テ特ニ注意スヘキハ後方ニアル主力ハ常ニ狀況ノ推移ニ應シ得ヘク待機ノ姿勢ニ在ルヲ要スルノ一事ナリ然ラサレハ機動ニ富ム防者ノ反撃ヲ受ルニ際シ主力ノ戰備未タ完カラサルニ先チ擊破セラル、ノ恐アレハナリ以下左ニ本偵察ヲ行フヘキ二三ノ場合ヲ例示セントス

(一) 地形及配備上敵陣地一翼ノ情況明ナラス而モ其翼ノ如何



ニ依リ我攻撃計畫ニ大ナル差異ヲ生スヘキ場合

(勿論斯ノ如キ狀況ニ於テハ敵ハ極力其一翼ノ掩蔽ニ勉ムヘク到底尋常一樣ノ手段ニテハ偵察困難ナルモノトス)

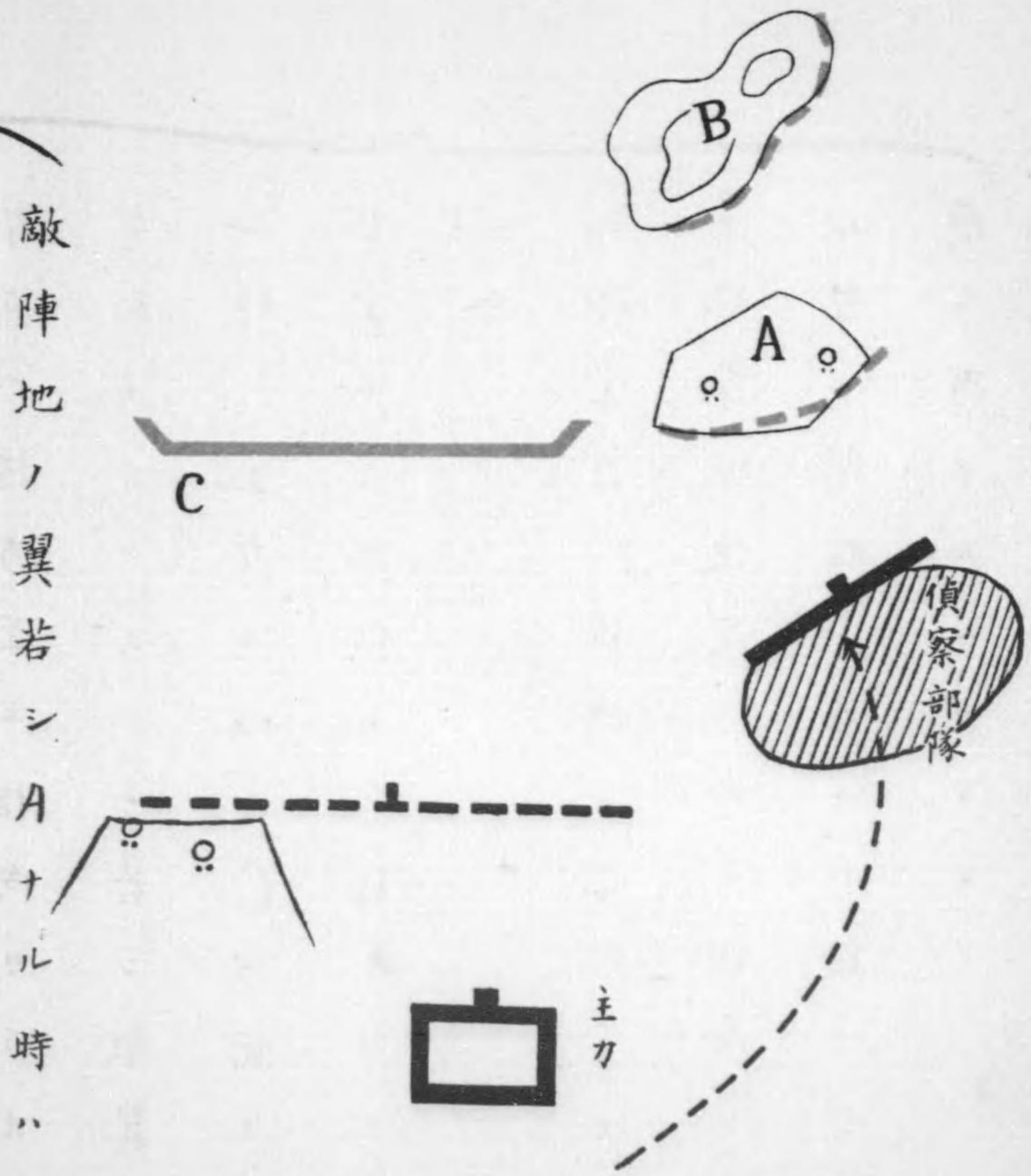
(二) 敵退却ノ兆アルモ未ダ全ク是ヲ確認スル能ハス若シ敵ニシテ眞ニ退却ニ就キツ、アルニ於テハ全力ヲ舉テ直ニ追撃ニ移ルヲ要シ若シ又敵兵依然トシテ陣地ニアルニ於テハ直ニ攻撃ニ著手スルハ友軍トノ關係上之ヲ不利トスルカ如キ場合 此好適例ハ日露戰ニ於ル第四軍ノ下房身(鞍山站東方)附近ノ攻撃ナリトス

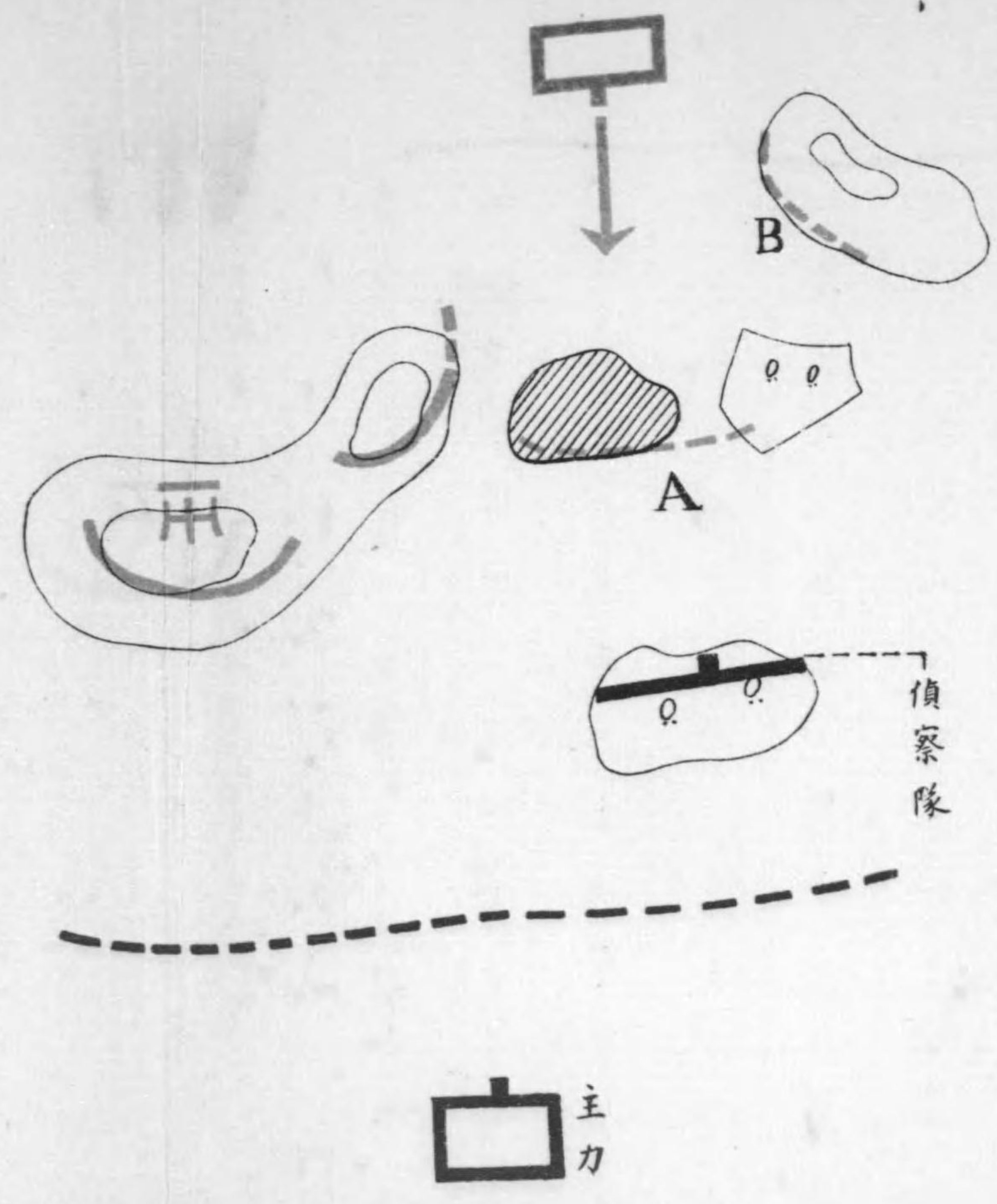
## 第八章 特殊ノ情況ニ於ル山地若クハ

### 河川ノ進出法

其一

敵陣地ノ翼若シAナル時ハ我攻  
 撃点ハ該方面ニ指向セラル、ヲ  
 有利ナリトスルモ若シ敵翼Bナ  
 ル時ハ主力ヲ以テC方面ヨリ攻  
 撃スルヲ地形上有利ナリトスル  
 場合  
 此際主力ハ待機ノ姿勢ニアリテ、  
 其攻撃点決定スルト同時ニ直ニ  
 攻撃ヲ開始シ若クハ敵ノ出撃ニ  
 應シ得サルヘカラス





A B ニハ共ニ工事アルカ如キモ果シテ  
 何レカ本陣地ナルヤ全ク不明ナルカ如  
 キ場合ニ於テ A ニ主攻撃ヲ施サンカ B  
 若シ本陣地ナル時ハ我主力ハ A 村前  
 ニ進出スルヤ敵ノ集中火ヲ蒙リ悲惨ノ  
 状況ニ陥ルヘシ斯ノ如キ際ニハ先ツ A  
 ニ向ヒ威力偵察ヲ行フヲ要ス

山地ノ進出ニ當リテハ縱隊ノ分割ニ依リ敵ノ抵抗ヲ排除シ兼テ山地ニ於ル行軍給養宿營等ヲ便ナラシメントスルハ是レ一般ノ原則ニシテ殊ニ山地進出後直ニ敵ニ出會スルカ如キ場合ニアリテハ各縱隊ハ概ネ其先頭ヲ併進セシメ一度敵ト會スルヤ猛烈果敢ナル攻勢ニ依リ互ニ他縱隊ノ進出ヲ容易ナラシムル如ク行動スルヲ常トス

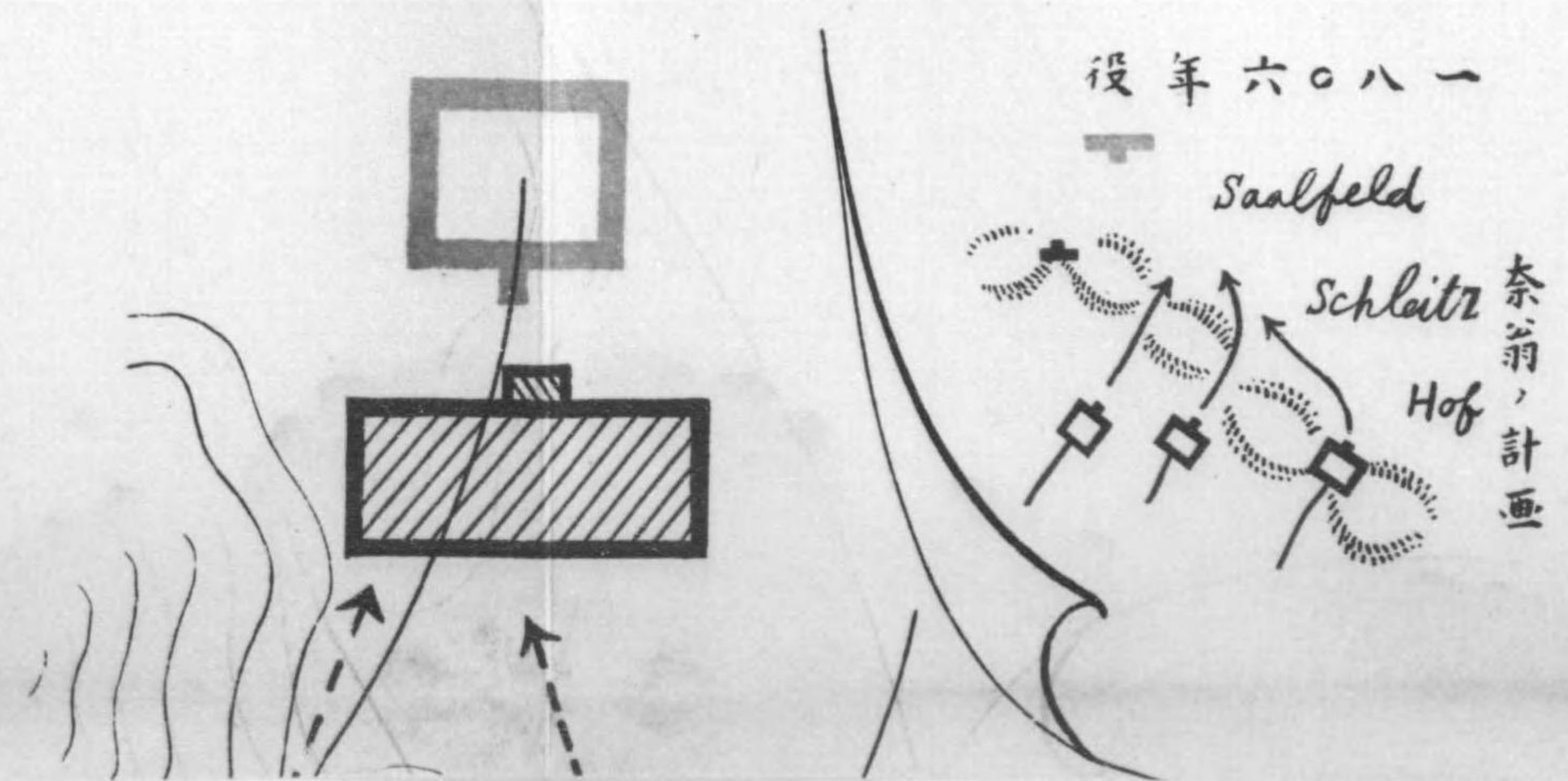
然レトモ此等地障(山地又ハ河川等)ト敵集團トノ關係ニ依リテハ全ク特異ノ進出法ヲ講セサルヘカラス

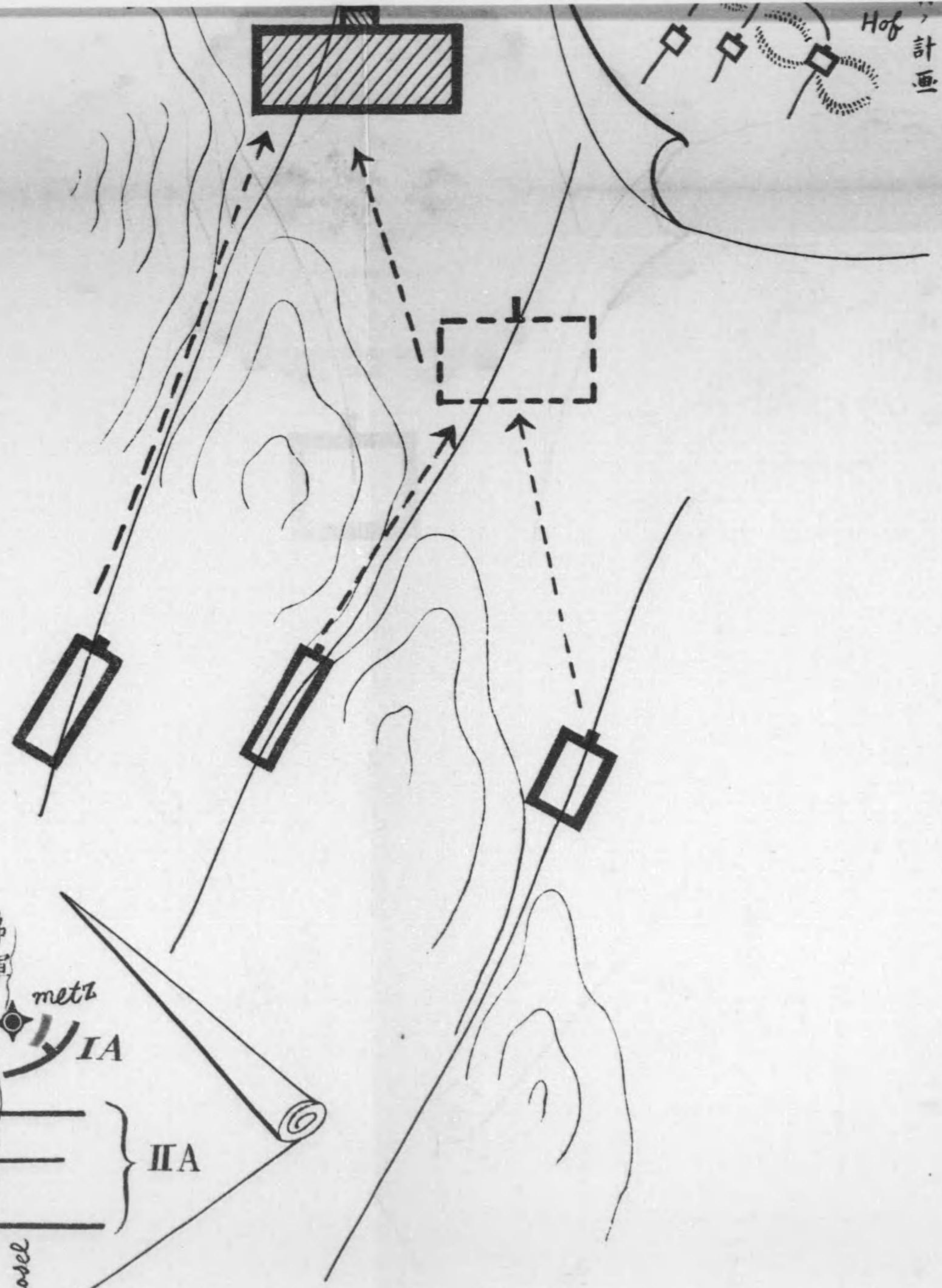
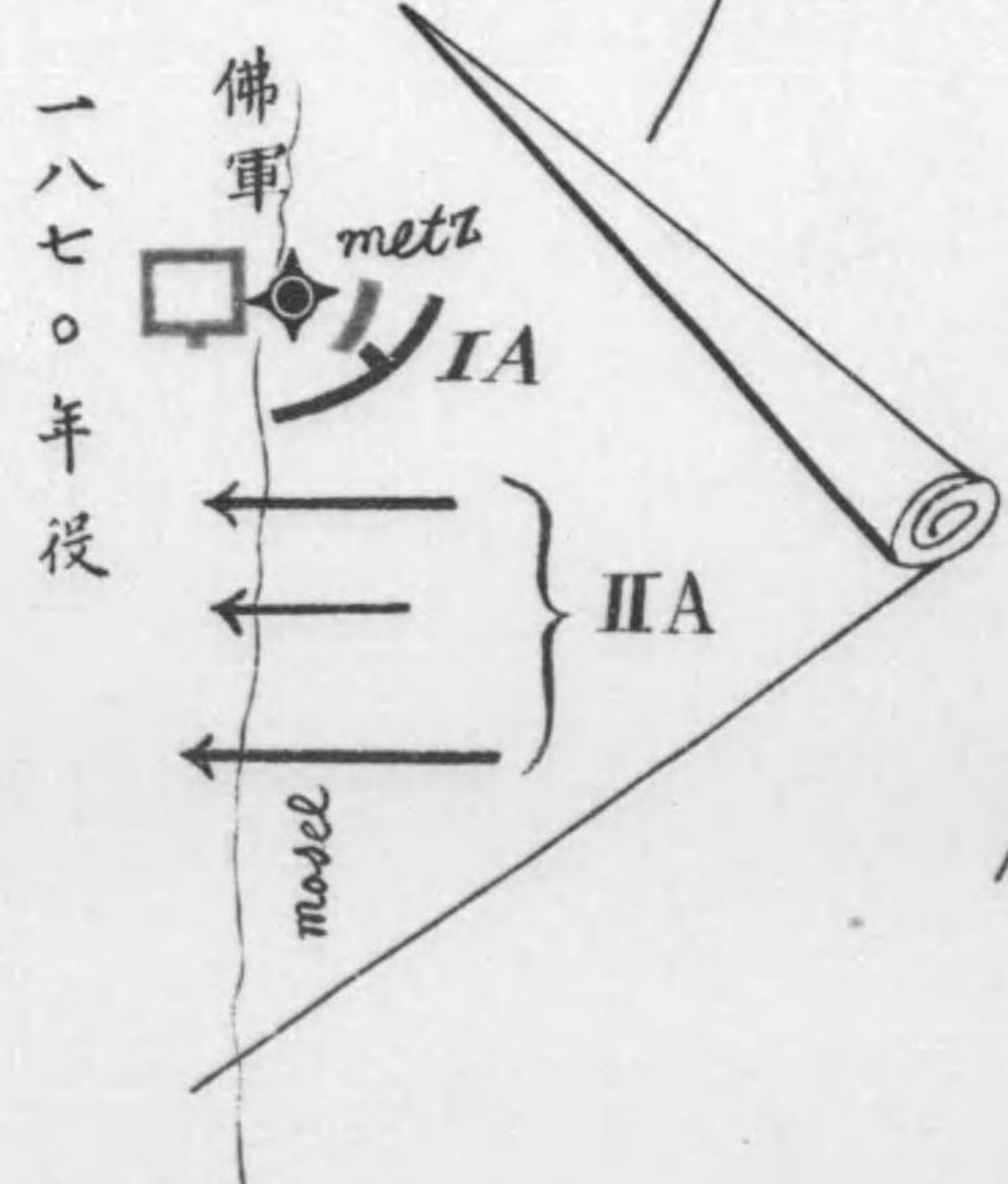
例ヘハ別紙要圖ノ如キ狀況ニ於テハ同時ニ各縱隊ノ進出ヲ企圖スルコトナク却テ敵ニ遠キ各進路ヨリ逐次ニ平地ニ進出セシメ分離セル縱隊ヲ集結シツ、敵ニ迫ルヲ有利トスルカ如シ然シテ斯ル狀況ハ古來戰史ニ其例乏シカラサルモノニシテ特

ニ山地ノ止阻堡若クハ河川ノ橋頭要塞ニ連繫スル作戰ニ於テ  
屢々見ル所ナリ

例ヘハ一八〇六年「イエナ」會戰前ニ於ル大奈翁ノ「フランケンワ  
ルド」ノ進出ニ於テ普軍ノ「ワイマー」「エルフート」方面ニ漸次集結  
スルナキヤテ顧慮シ大軍ノ山地進出ニ關シ特殊ノ戒心ヲ加ヘ  
之ヲ三縱隊トナシ先ツ敵ニ最モ遠キ第四軍團ヨリ逐次進出セ  
シメントセリ

又一八七〇年戰ニ於テ「ユロムベイ」「メイリー」ノ戰鬪後佛ノ「バゼ  
ー」軍ハ「メッツ」要塞ヲ通過シテ其西方地區ニ集結セル際獨ノ  
第二軍ハ「メッツ」ノ南方ニ於テ廣正面ヲ以テ「モーゼル」河ヲ渡リ  
攻勢前進セリ此際ニ於ル普軍ノ渡河ハ學理上宜シク奈翁ノ轍  
ヲ踏ムヘカリシナリ





「モルトケ」將軍ノ智ニシテ其茲所ニ出テサル蓋シ佛將ノ無爲ヲ察知セルノ結果カ

### 第九章 準備陣

準備陣トハ進ンテ敵ヲ攻撃スヘキヤ將又防禦陣地ヲ占ムヘキヤ若クハ何レニ向ヒ攻撃前進スヘキヤハ一ニ敵狀ニ依テ決セラレ而モ未タ決心ノ根基トナスヘキ敵狀ヲ得サルカ如キ情況ニ於テ一時採ルヘキ姿勢ナリトス  
抑、任務ハ決心ノ基礎ニシテ地形敵狀ニ依リ僅ニ之レカ遂行ノ手段ニ差異アルノミナルハ我操典ノ明示スル所ナリト雖モ情況ニ依リ敵情ノ不明ハ一時全ク任務遂行ノ爲メノ手段方策ヲ決シ得サルコトアリ即チ任務遂行ノ爲メ當面ノ敵狀ハ未タ直

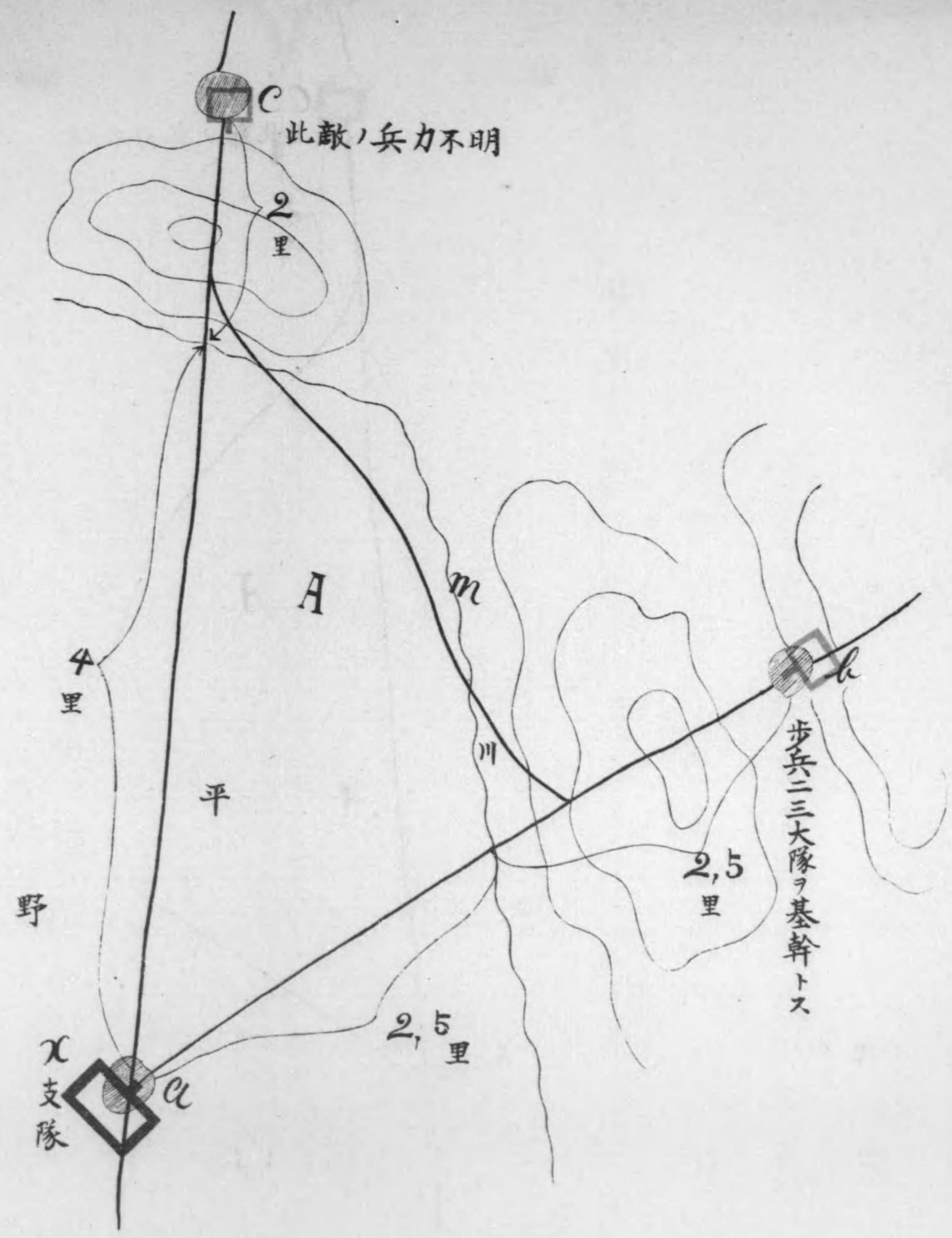


ニ其方策ヲ一決シ能ハサル場合ニ於テハ茲ニ準備陣ノ必要ヲ生スルモノトス然シテ準備陣ノ部署ノ如キハ特ニ研究ノ價値ナキヲ以テ以下此決心ヲ爲スヘキ場合ノ一二ヲ例示シ參考ニ資セントス但シ如何ナル場合ニ於テモ敵狀ノ搜索ハ極力之ヲ勉ムヘキモノトス

## 例 其一

左圖ノ如キ情況ニ於テハ支隊ハ先ツa町附近ニ準備陣ヲ占ムルヲ要ス之レbcノ敵ノ關係上何レカ一方ニ全力ヲ以テ攻撃ニ前進スル時敵ノ一部(b)若クハ(c)カ防勢ニ立ツテ其友軍ノ來着ヲ待ツ時ハ我支隊ハ攻撃未タ奏效セサルニ先テ其背後ヲ襲ハルルノ恐アリ若シ又一部ヲ以テcニ對セシメ主力ヲ以テbヲ攻撃セントセハc若シ優勢ナル

狀況  
 成ルヘク廣クA平野ヲ領有シ  
 後續部隊、來着ヲ待ツヘキ任  
 務ヲ有スルニ支隊(混成一旅團)  
 ハa町ニ到着ス此時、敵情要  
 圖ノ如シ



時ハ又直ニ我主力ノ側背ハ危險ヲ感スルニ至ルヘクハニ  
 對シ側背掩護ニ充分ナル兵力ヲ分割シ其餘ヲ以テCニ向  
 ハンカCノ敵之ニ比シ優勢ナル時ハ主力ノ戰鬥ニ敗ヲ招  
 クニ至ルヘシ故ニ斯ル狀況ニ於テハ先ツa附近ニ準備陣  
 ナ探リ極力Cノ敵狀ヲ搜索シ爾後ノ決心ヲ爲スヲ要ス

## 其二

左圖ノ如キ狀況ニ於テ支隊若シ任務ニ基キA方面ニ依然  
 前進センカ距離ノ關係上b方面ヨリ前進スル敵ノ爲メ直  
 ニ我側面ヲ攻撃セラル、ニ至ルヘシ是レニ反シ先ツb方  
 面ノ敵ヲ擊破スル目的ヲ以テ捷路a道ヲ前進センカ敵  
 ハm川左岸地區ヲ直路本軍方面ニ至ルヘク我ハ空ヲ衝ク  
 ノ愚ヲ爲スニ至ルヘシ此際敵ニシテ其増援ノ到達ヲ機ト

シ決戦ヲ開始スル時ハ我支隊ハ遂ニ本戦ニ何等影響ヲ及  
ホサ、ルニ至リ徒ニ兵力分離ノ過ヲ犯セシニ過キサルニ  
至ルヘシ

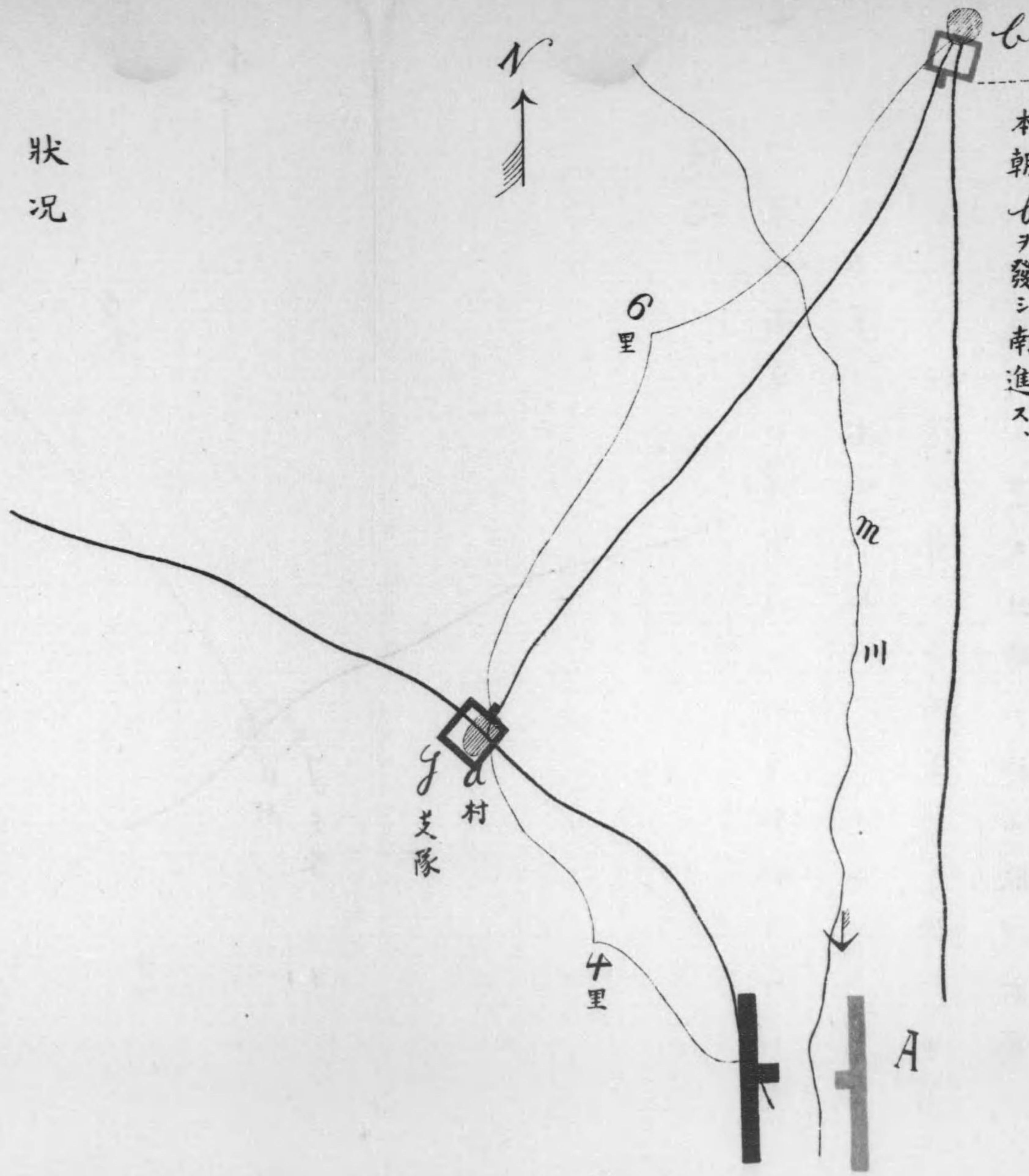
又ハ方面ノ敵極メテ優勢ナルニ於テハ支隊ハ當初ノ任務  
ヲ變シ軍翼側トノ關係位置上一時陣地ヲ占領シ主力ノ側  
背ヲ掩護スルノ必要ヲ生スルニ至ルヘシ即チ本狀況ノ如  
キニ於テハ單ニ前進方面ノ決定セサルノミナラス實ニ攻  
守何レニ出ツヘキヤヲ決シ得サルノ場合ナリ

## 第十章 共ニ攻勢ノ目的ヲ有スル河川防

### 禦ト山地防禦トノ差異ニ就テ

但シ本章ニ於テ論スル山地ハ交通容易ナル場合

此敵…兵力未詳ニシテ  
 本朝 乙ヲ發シ南進ス、



狀況

一 東西兩軍ハA附近ニ於テ相對ス  
 二 敵本軍ノ右側ヲ成ルヘク北方ヨリ脅威  
 スヘキ任務ヲ有スル西軍ガ支隊ハ午前  
 八時a村ニ達ス此時ニ於ル狀況右圖ノ  
 如シ

ヲ示スモノトス

攻勢ノ目的ヲ有スル河川防禦ノ要訣ハ各豫想渡河點ニ對シ監視部隊ヲ配置シ主力ハ其後方ニシテ各方面ヘノ進出容易ナル地點ニ位置シ監視部隊トノ通信連絡ヲ確保シ對岸ニ於ル敵狀ノ搜索ヲ遺憾ナカラシメ一度敵ノ渡河ヲ開始スルヤ機ヲ失セス其半渡ニ乘シテ之ヲ攻撃スルニアリ

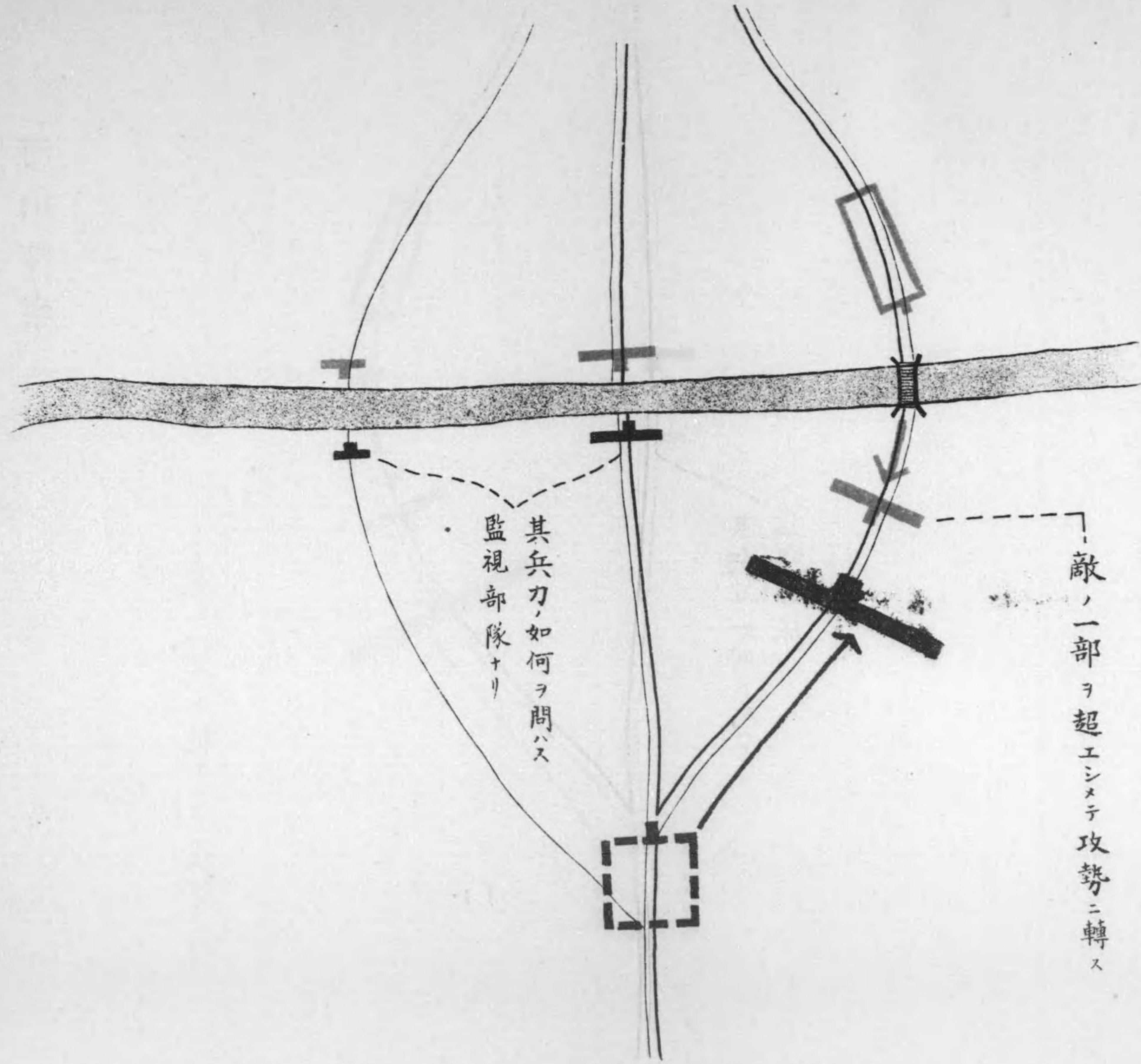
又山地防禦ノ要領ニ曰ク交通容易ナル山地ニ於テハ第一線ノ兵力ヲ節約シ主力ヲ後方ニ集結シ機ヲ見テ攻勢ニ轉スルヲ要スト

果シテ然ラハ河川防禦ト交通容易ナル山地防禦トノ差異果シテ如何ト是レ初學者ノ往々疑ヲ抱ク處ナリト雖モ兩者ノ特性ヲ知悉スルニ於テハ其差自ラ釋然タルモノアラン

以下左ニ是レカ根本ノ趣旨ヲ述ントス

- (一) 河川防禦ニアリテハ第一線ノ部隊ハ其兵力ノ如何ヲ問ハス單ニ監視部隊ニ過ス是レニ反シ山地戰ニアリテハ純然タル地區ノ守備隊ナリトス
- (二) 河川防禦ニアリテハ敵ノ河川ニ依リ其兵力分斷セラレアルニ乘シ攻勢ニ轉スルヲ本旨トス故ニ其一部ハ既ニ河川ナル一ノ限界線ヲ超越セシメ爾後攻勢ニ轉スルモノナリ是ニ反シ山地戰ニアリテハ苟モ攻勢ヲ企圖セハ決シテ敵ヲシテ我陣地線タル鞍部(山地ノ防禦ニアリテハ高地ノ稜線即チ敵ニ對シ最高所ヲ占ムルカ原則ナリ)ノ線ヲ超エ之ヲシテ戰鬪ノ要線タル鞍部ヲ占領セシムルヲ許サス即チ敵ノ我有スル鞍部占領ニ先チ當該地區ノ守備隊ヲ合セ攻

河川防禦



監視部隊ナリ  
其兵力、如何ヲ問ハス

敵ノ一部ヲ超エシメテ攻勢ニ轉ス



勢ニ轉スルモノトス然ラサレハ一度敵ニ高地稜線ヲ渡ス時ハ爾後ニ於ル我攻勢ハ甚シク困難トナリ到底攻勢ノ成果ヲ收メ得ヘカラサレハナリ

是レ河川防禦ト山地防禦トノ主要ナル差異ナリトス

左ニ要圖ヲ以テ更ニ之ヲ明ニセン

### 第十一章 持久戰ト其陣地ニ就テ

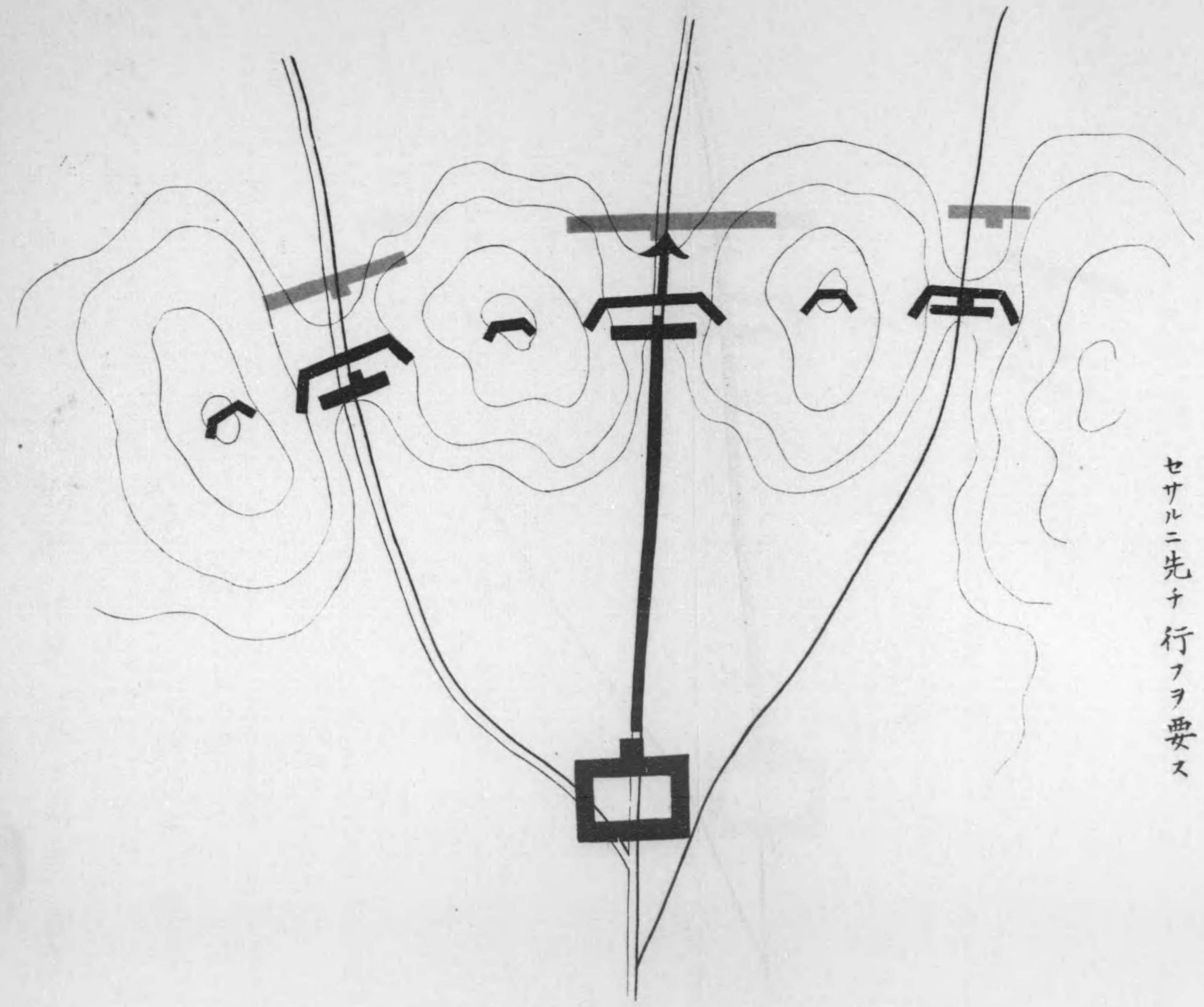
持久防禦ニ於テハ要害ナル陣地ヲ占領スヘキユト是一般ノ原則ニシテ特ニ茲ニ論スルヲ要セス

本節ニ於テハ持久ノ任務ヲ有スル部隊ニシテ尙且要機ヲ有スル陣地換言スレハ攻勢ニ便ナル陣地ヲ占領スルヲ要スルコトアル場合ヲ説述セントス

抑、戰術的持久戰ノ目的トスル所ハ時間ノ餘裕ヲ得ントスルニ外ナラス故ニ此目的達成ノ爲ニハ或ハ攻勢ヲ採リ或ハ守勢ヲ採ル何等問フ所ニ非ス故ニ持久ノ目的ヲ以テ一度陣地ニ著タル防者ト雖モ情況ノ變化ニ際シテハ直ニ攻勢ニ移ラサルヘカヲサルヤ明ナリ是則チ本問題ノ起ル所以ニシテ以下述ルカ如キハ其一例ナリトス

- (一) 攻撃ノ目的ヲ有スル部隊ノ前衛其本隊ノ爲メ隘路進出ヲ掩護スヘキ場合
- (二) 主力ノ進出ヲ掩護スヘキ任務ヲ以テ先遣セラレタル一支隊ノ占領スヘキ陣地
- (三) 後續部隊ノ來著ヲ待チ攻勢ニ轉スヘキ任務ヲ有スル部隊ノ一時採ルヘキ陣地

山地防禦



第一線ノ部隊ハ純然タル地區守備隊ナリ  
攻勢ハ敵ノ未タ我鞍部ヲ奪取セサルニ先チ行フヲ要ス

此等ノ場合ニ於テハ其本來ノ目的純然タル攻勢ニアルヲ以テ若シ一度前衛又ハ先遣支隊ニシテ堅固ナル陣地ヲ占領センカ自己ハ則チ安全ナリト雖モ爾後情況ノ發展ニ伴ヒ愈々本來ノ目的ヲ達セントスルニ際シ忽チ動作ノ自由ヲ失スルニ至ルヘシ故ニ此等ノ部隊ノ陣地占領ハ常ニ茲ニ着意シ取捨選擇スルヲ要ス只此際注意スヘキハ本隊若クハ主力ノ來著前各個ニ擊破セラレサル程度ニ於テ相當ニ堅固ナラサルヘカラサルノ一事ナリトス

(四) 敵ヲ牽制若クハ抑留スヘキ任務ヲ有スル部隊ノ防勢ニ立チシ場合

抑敵ヲ牽制シ若クハ抑留セント欲セハ猛烈果敢ナル攻勢ヲ採ルヘキコト言ヲ俟タス此際陽攻ヲ以テ其目的ヲ達成シ得ハ頗

ル有利ナリト雖モ是レ學理上到底望ミ得ヘキコトニ非ス即チ眞面目ノ攻撃ヲ要スル所以ニシテ此事ニ關シテハ前已ニ述ル所アリ然リ然レトモ一度攻勢動作ノ後優勢ナル敵ノ爲メ擊退セラレ更ニ其任務ヲ持續スルヲ要スルカ如キ情況ニ於テハ敵ノ追撃ニ對シ一時陣地ヲ占領セサルヘカラス即チ此際ノ戰鬥目的ハ純然タル持久ニシテ決戰ニ非ス從テ其陣地ハ持久防禦ノ性能ヲ有セサルヘカラサルヤ論ナシ然ルニ此際所謂持久防禦ノ陣地ヲ占領センカ一度牽制又ハ抑留シ得タル敵ハ茲ニ一部ヲ殘置シ主力ヲ以テ其欲スル行動ニ出ルナルヘシ其期ニ當リ我ハ再ヒ之ヲ抑留センカ爲メ攻勢ニ轉セントスルモ自ラ自己ノ行動ヲ束縛セルノ結果ハ遂ニ其目的ヲ達成スル能ハサルヘシ即チ此際ニ於テハ一方持久ノ戰鬥ヲ爲シ得ルト同時ニ何

時ニテモ攻勢ニ轉シ得ル陣地即チ虎視眈々タル陣地ナラサルヘカラス是レ初學者ノ動々モスレハ誤解ヲ來ス所ニシテ大ニ著意スヘキ要點ナリトス

## 第十一章 側面陣地ニ就テ

### 一、側面陣地ノ定義

側面陣地ニハ戰略上及戰術上ノ二種アリト雖モ以下主トシテ後者ニ就テ述ル所アラントス

側面陣地ノ定義ニ關シ各種ノ說ヲ爲スモノアリ即チ

(一) 側面陣地トハ敵ノ作戰方向ニ沿ヒ之ト竝行シテ占ムル陣地ナリ

(二) 側面陣地トハ敵カ其連絡線ヲ曝露スルコトナリ之ニ沿フ

テ前進スルコト能ハサル陣地ナリ

(三) 側面陣地トハ敵カ正面變換ヲ行ヒ其連絡線ヲ側面ニ有スルニ非レハ攻撃シ能ハサル陣地ナリ

(四) 側面陣地トハ敵ノ追撃カ元來ノ目標ヨリ他方ニ變スル陣地ナリ

以上ノ中(一)ハ竝行ノ意義明ナラス此陣地ノ如キハ其正面ト敵ノ行進方向トノ角度ヲ以テ論スヘキモノニ非ス(二)ハ其意不充分ニシテ反言スレハ敵ハ其連絡線ノ曝露ヲ恐ル・カ故ニ其元來ノ方向ヨリ我側面ニ向ヒ攻撃スルコト、ナル是レ未タ其意ノ盡サル所ナリ(四)ハ情況ノ如何ニ依リ普通ノ正面ヲ有スル陣地ニ於テモ起リ得ルモノニシテ是ヲ以テ側面陣地ノ定義ト爲スヲ得ス(三)ハ略ホ其意ヲ盡セリト雖モ尙充

分ナリト云フヲ得ス

余ハ左ノ如ク謂ハントス

側面陣地トハ敵カ必スヤ攻撃セサルヘカラサル陣地ニシテ其攻撃ハ元來ノ行進方向ヲ著シク偏移スルニアラスンハ能ハサル陣地ナリ

## 二、側面陣地ノ性能

右ノ定義ヲ充タサンカ爲メ側面陣地ニハ左ノ性能ヲ具備スルヲ要ス

(一) 敵ノ進路ハ我陣地ヨリスル火制下ニアルコト 從テ敵ハ必スヤ我ヲ攻撃セサレハ其行進ヲ繼續シ得ス

(二) 敵方ノ側面ハ通過スヘカラサル地障ニ依リ掩護セラレアルコト

(三) 出撃容易ナルコト (全ク攻撃ニ轉スルノ企圖ナキ時ハ必要ナラス)

(四) 我退路及背後連絡線ハ敵ニ脅威セラレ、ノ恐ナキコト此ノ要求ハ此種陣地ノ多ク内國ニアラサレハ採用シ能ハサル所以ナリトス

### 三、側面陣地ノ利害

- (一) 敵ハ此陣地ヲ攻撃スルカ爲メ其背後連絡線ヲ移動スルカ若クハ是ヲ安全ナラシムル所置ヲ必要トス是レカ爲ニハ大ナル時間ヲ要シ延テ其攻撃ヲ遲緩ス
- (二) 攻者ハ敵ノ火制下ニ於テ不利ナル側面展開ヲ行ハサルヘカラス是レ守者ノ最モ乗スヘキ機會ナリ若シ此不利ヲ避ント欲セハ夜暗ヲ利用シ行動セサルヘカラス從テ守者ニ

時間ノ餘裕ヲ與フ

(三) 攻撃奏效ノ最良手段タル包圍ノ實行困難ナリ是レ攻者ニ最近ノ敵翼ハ地障ニ依リ近接不可能ナルヲ以テ勢ヒ相反ル敵翼ヲ包圍セサルヘカラス是レ側面展開ニ於テ殆ト不可能ナリ

(四) 攻者一度失セハ其退路ヲ全ク背後連絡線外ニ採ルニ至ル若シ此不利ヲ避ント欲セハ是非共先ツ其連絡線ヲ變更シ置カサルヘカラス是レ大ナル時間ヲ要シ情況ニ依リテハ全ク不可能ニ屬スルモノトス

又成效スルモ元來ノ行進方向ヨリ編移スルノ不利アリ以上ハ實ニ側面陣地ノ當然享受スヘキ利點ナリトス故ニ防者ハ其目的決戦ニアルト將持久ニアルトヲ問ハス常ニ採用

シ得テ有利ナルヘシト雖モ實際其採用セラレサル所以ハ實ニ左ノ二點ニアリトス

- (一) 地形側面陣地ノ性能ヲ具備スルモノ極メテ尠シ  
 (二) 我退路及背後連絡線ヲ變セサルヘカラス是容易ニ實行シ得ヘカラサル所ナリ

#### 四、側面陣地占領ノ目的

側面陣地ハ決戰竝ニ持久戰共ニ採用セララル、モノトス殊ニ持久戰ニ於テハ其效果著大ナルモノトス例ヘハ主力ノ隘路進出ヲ掩護スル目的ヲ以テ先遣セラレタル部隊ノ如キ此陣地ノ利用ニ依リ能ク持久ノ目的ヲ達スルノミナラス友軍ヲシテ隘路前ニ充分ナル行動ノ餘地ヲ得シメ且有利ノ場合ニ於テハ展開セル敵ノ眞側面ニ迫ラシムルヲ得又失敗ニ際シ

テモ隘路口ヲ塞閉セサルノ利アリ其他退却戰等ニ當リテモ此種陣地ノ占領ニ依リ敵ノ追撃ヲ遲緩セシメ退却方向ヲ不明ナラシムルノ利ヲ有ス

### 第十三章 前進陣地ニ就テ

一、前進陣地トハ特種ノ目的ヲ以テ本陣地ノ前方ニ設クル陣地ニシテ其目的如何ニ依リ是レカ陣地ノ撰定兵力ノ部署等ヲ異ニスルモノトス  
 然シテ一部兵學者間ニ於テ此種陣地ト前進哨トニ關シ大ニ論議スルモノアリト雖モ此等ハ特ニ掲ケテ之ヲ論スルノ價値ナク苟モ某目的ヲ以テ本陣地ノ前方ニ設クル陣地ハ是レ則チ一ノ前進陣地ナリ強テ兩者ニ差異ヲ附セントセハ前者



ハ殆ト一連ノ防禦線ヲ成形スルニ反シ後者ハ概ネ孤立シタル部隊ヲ以テ箇々一地ヲ占領セシムルノ差アルニ過キス

二、所謂前進陣地ノ弊害ハ常ニ防者ノ享受スヘキ者ナリヤ否ヤ此問題ヲ解決セント欲セハ先ツ須ク所謂前進陣地ノ害ナルモノヲ探究スルヲ要ス是ニ關シテハ世上幾多ノ所説アリト雖モ要ハ左ノ數項ニ歸著セン

- (一) 前進陣地ヲ占領スルモノハ早晚陣地ニ向ヒ退却セサルヘカラス是レ本陣地ノ守兵ニ對シ士氣上ノ打撃ヲ與フルコト大ナリ
- (二) 前進陣地ニ惹起スル戰鬪ハ動々モスレハ最高指揮官ノ決心ニ動搖ヲ來シ遂ニ意圖外ノ戰鬪ヲ惹起スルニ至ル
- (三) 退却時機ノ撰定困難ナリ

即チ充分其任務ヲ盡サント欲セハ退却ノ時期ヲ遲緩シ優勢ナル敵ノ爲メ殲滅セラル反之其全滅ヲ免レント欲スレハ退却早キニ失シ任務ノ達成困難トナル

(四) 勇敢ナル敵ノ爲メ退却スル部隊ニ尾シ本陣地ニ進入セラ

ル、恐アリ

以上ハ概括的ニ前進陣地ノ弊ヲ列舉シタルニ過キサレモ元來前進陣地ノ占領ニハ各特種ノ目的アリテ存ス故ニ其目的ニ依リ陣地ノ占領及部隊ノ行動ヲ律スル時ハ敢テ以上ノ弊ニ陷ルコト決シテアルコトナシ

即チ(一)ノ士氣ノ阻喪ノ如キハ前進部隊ノ退却ノ狀況及軍隊ノ精粗ニ依ルモノニシテ若シ前進部隊敵ニ決戦ヲ強ヒラレ敗退ノ極遂ニ本陣地ニ悲慘ノ退却ヲ爲スニ於テハ精練ナル

軍隊ニ非レハ冷靜以テ之ヲ迎フルカ如キハ殆ト期待スヘカ  
ラスト雖モ敵ノ拂曉攻撃等ニ際シ其展開ヲ終ルヤ直ニ退却  
スルカ如キニ於テハ決シテ敗退ニ陥ルコトナク從テ士氣ノ  
阻喪ヲ招クコトナカルヘシ

又(二)ノ不利ノ如キハ是レ一ニ最高指揮官ノ意志ノ堅否ニ因  
ルモノニシテ苟モ戰鬪ノ目的確立シ是レカ遂行ノ一手段ト  
シテ前進陣地ヲ設クルニ當リ其部隊ノ戰鬪ノ渦中ニ主力ヲ  
投入スルカ如キハ國軍ノ運命ヲ負擔スル主將ノ斷シテ爲シ  
得サル所ナリ若シ苟モ斯ル過失ヲ犯スカ如キ意志薄弱ノ主  
將ニアリテハ如何ニ學理上最良ノ手段ヲ盡スモ到底最後ノ  
敗北ヲ免レサルヘク前進陣地ノ設否ノ如キハ問フ所ニ非サ  
ルナリ

(四)ノ如キハ現今火器ノ進歩セル時代ニ於テハ云フ可クシテ  
行フヘカラサルモノニシテ會戰上ニ於ル兵團ノ大ナルニ從  
ヒ益然リ

(三)ハ即チ前進陣地ノ最モ不利トスル所ニシテ事實亦多クハ  
此害ヲ受ルモノトス然レトモ現今火器ノ進歩及兵數ノ増加  
竝ニ築城ノ發達ハ攻者ノ攻撃準備ニ多大ノ時間ヲ要シ又一  
方前進陣地ト本陣地トノ偵察及判斷ハ頗ル困難ヲ感シ其極  
攻者ハ先ツ敵ノ前進陣地ニ對シ多クハ拂曉攻撃ヲ企圖スル  
ニ至ルヘシ從テ前進陣地ノ部隊ハ敵ノ猛烈ナル晝間攻撃ヲ  
受ルコトナク敵ノ我本陣地ニ對スル攻撃ヲ遲緩セシムルト  
同時ニ拂曉敵ノ展開前進ニ移ルヤ直ニ退却シ得ヘク從來唱  
導セラル、不利ハ漸次消滅スルニ至ルヘシ

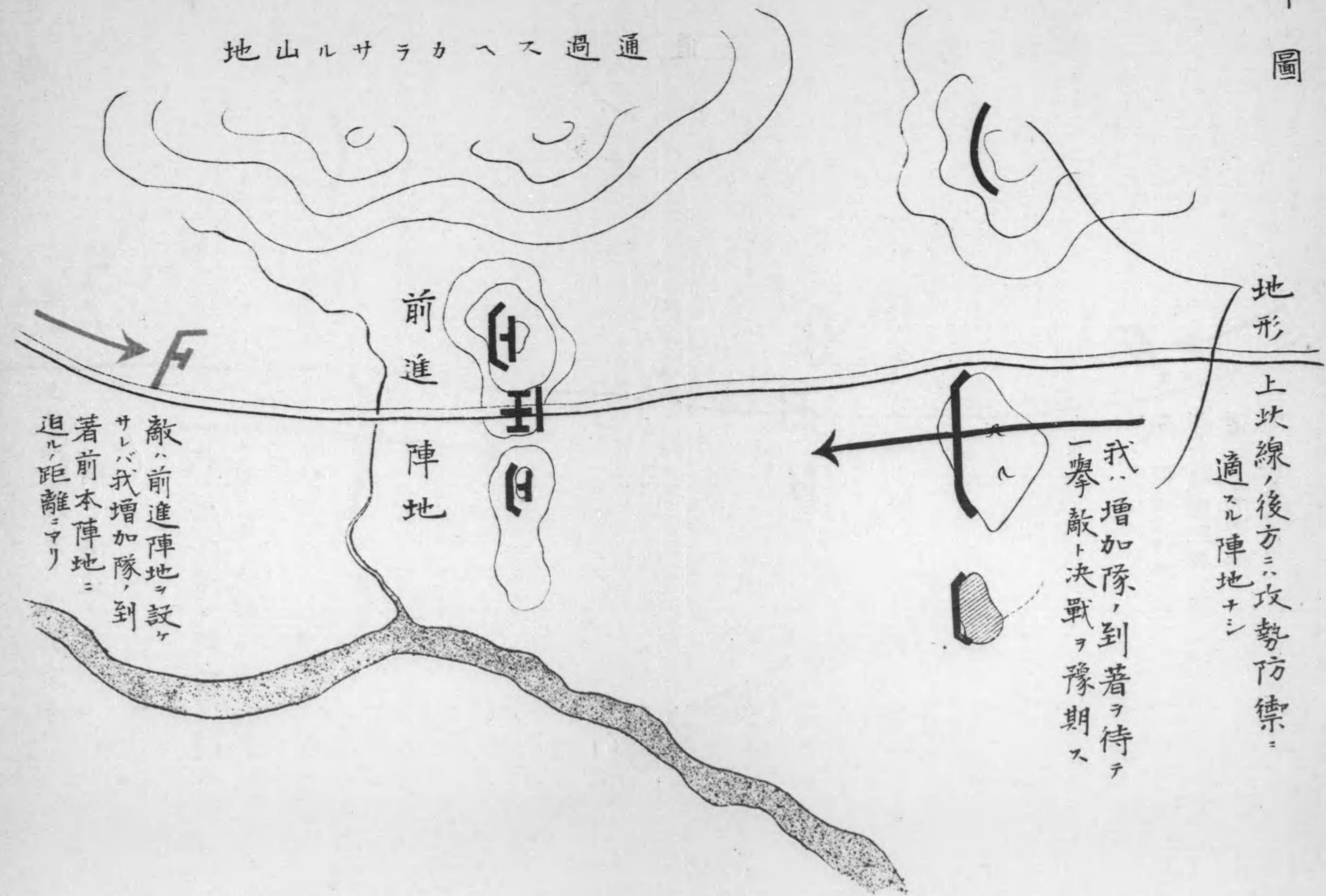
三、前進陣地ヲ設クヘキ場合及陣地ノ撰定兵力ノ決定

既ニ述ヘタル如ク前進陣地ハ某特殊ノ目的ヲ以テ設置セラ  
ル、モノニシテ其陣地ノ撰定及配備ハ其目的ニ依リ異ナラ  
サルヘカラス今左ニ是ヲ設置スヘキ場合ヲ述ン

- (一) 敵ノ前進ヲ遲滯セシムヘキ目的ヲ以テ設置スルモノ
  - (二) 本陣地ヲ隱蔽スル爲メニ設クル場合
  - (三) 本陣地ト誤解セシムル爲メニ設クルモノ
  - (四) 本陣地ニ敵ノ容易ニ近接スルヲ妨碍スル爲メノ陣地
- 此外陣地占領ノ掩護ノ目的ヲ以テ出ス部隊ノ占ムヘキ陣地  
ヲモ此種陣地ニ數フルモノアリト雖モ是レ其主旨ニ於テ稍  
趣ヲ異ニスルモノアリ即チ此部隊ハ狀況ニ依リ騎兵ノ一部  
ニテ可ナルユトアリ又歩兵部隊ヲ用ルユトアリト雖モ既ニ

甲圖

地山ルサラカヘス過通



地形

上此線、後方ニ攻勢防禦ニ  
適スル陣地ナシ

我ニ増加隊、到着ヲ待テ  
一舉敵ト決戦ヲ豫期ス

前進  
陣地

敵ニ前進陣地ヲ設ケ  
サレバ我増加隊、到  
著前本陣地ニ  
迫ル距離ニマリ

一度本陣地ノ設備終レハ敵ノ來攻如何ニ係ラス本陣地内ニ引キ上クヘキモノニシテ他ノ前進陣地トハ自ラ其趣ヲ異ニスルモノトス

以下陣地ノ撰定及兵力ノ配備ニ關シ聊カ述ル所アラントス  
(一)ノ所謂敵ノ前進ヲ遲緩セシムルカ爲メニハ地形堅固ニシテ能ク持久ノ目的ヲ達シ得ルノ陣地ナラサルヘカラス何等ノ障礙ナキ地區ニ於テ此等ノ目的ヲ達セントスルモ全ク不可能ナリ故ニ此種陣地ハ本陣地前ニ適當ナル地形アルニ非レハ常ニ採用スヘキニ非ス又是ニ配備スヘキ兵力ノ如キモ相當ニ大ナルヲ要シ爲シ得レハ寧ロ砲兵ヲ多數ニ使用シ其目的ヲ達スルヲ可トス

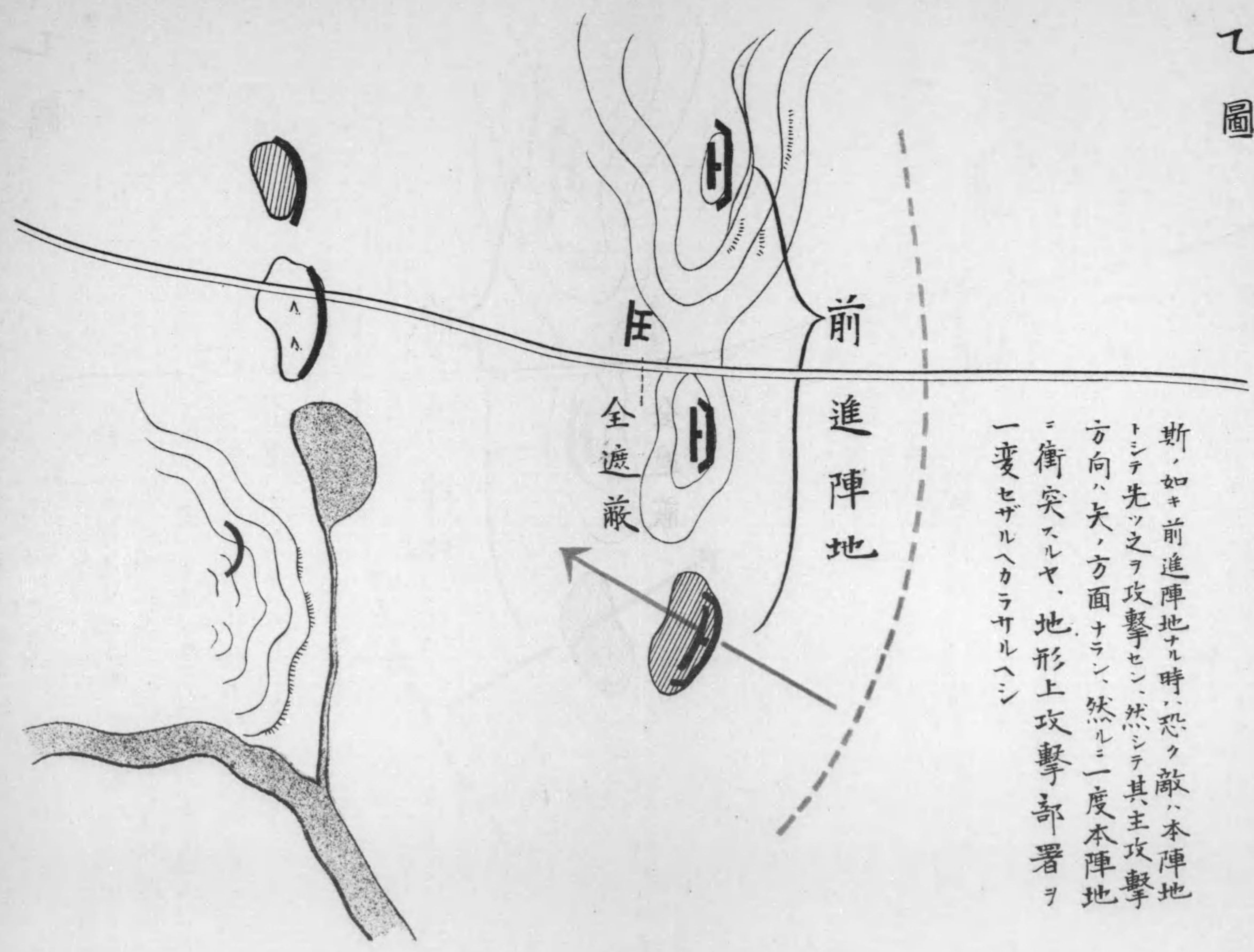
(甲圖參照)

(二)ノ本陣地ヲ隱蔽スルカ爲メノ陣地ニ於テハ本陣地ノ前方ノ地形如何ヲ問ハス多クハ之ヲ用ルヲ有利トス(日露戰兩軍對峙中露軍ノ配備參照然シテ是ニ充ツル兵力ノ如キモ極メテ少數ノ監視部隊ヲ一連ニ配布スルヲ以テ足レリトス是ニ砲兵ヲ附スルカ如キハ全ク稀有ノ場合トス

(三)本陣地ト誤解セシムル爲メノ陣地ニアリテハ相當ノ價値アル陣地ヲ撰定セサルヘカラス然ラサレハ決シテ攻者ヲ欺騙スルコト能ハサレハナリ

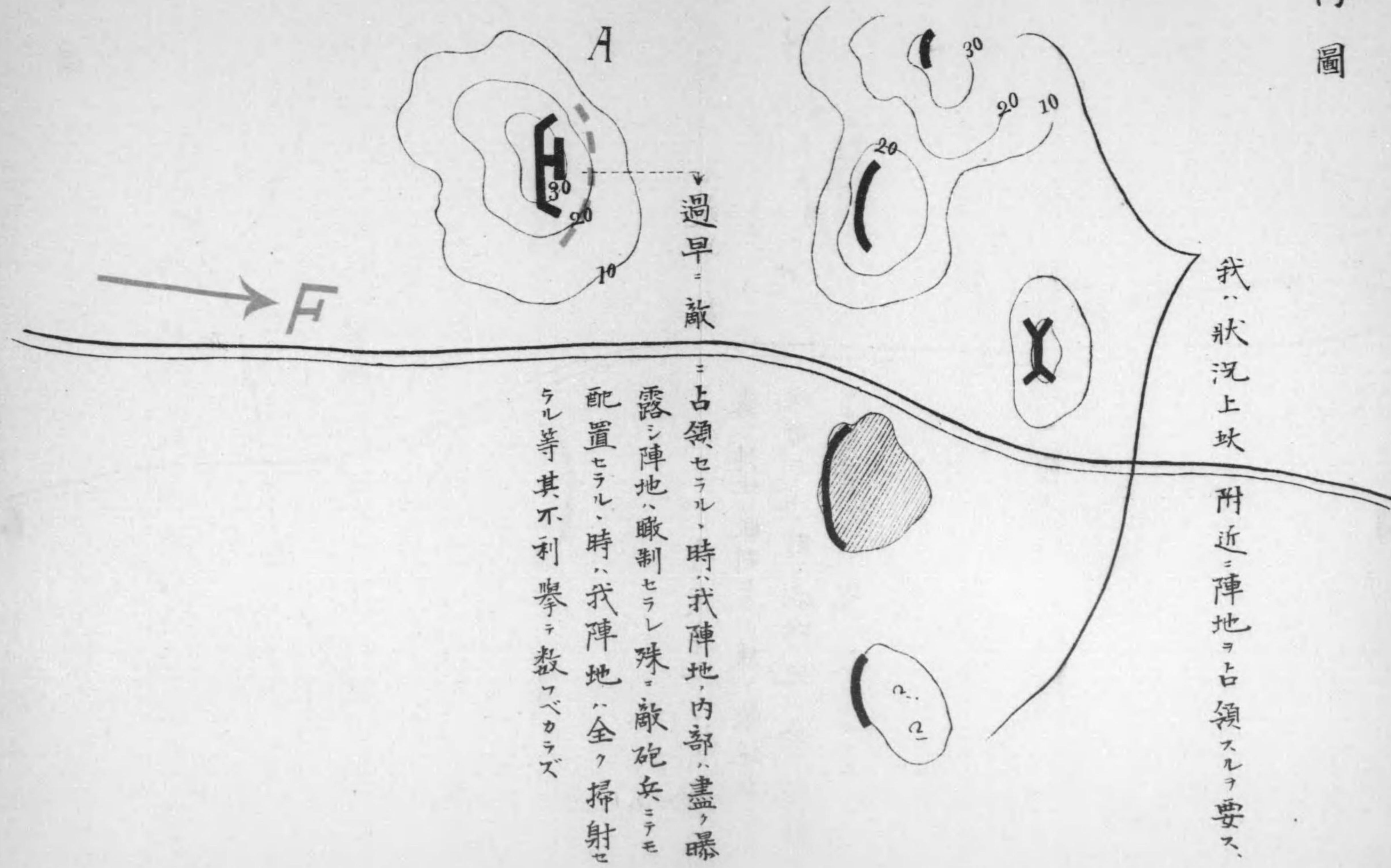
從テ又其兵力配備殊ニ工事ノ如キモ眞ニ本陣地ナルノ觀アラシメサルヘカラス然ル時ハ多クハ敵モ其攻撃ニ慎重ヲ加ヘ多クハ拂曉攻撃ヲ企圖スルニ至リ本陣地ニ對スル敵ノ攻撃モ亦遲緩セシムルニ至ルモノトス

乙圖



斯ノ如キ前進陣地ナル時ハ恐ク敵ハ本陣地  
 トシテ先ツ之ヲ攻撃セン、然シテ其主攻撃  
 方向ハ矢ノ方面ナラン、然ルニ一度本陣地  
 ニ衝突スルヤ、地形上攻撃部署ヲ  
 一変セザルヘカラサルヘシ

丙圖



過早=敵

我ニ狀況上坎 附近ニ陣地ヲ占領スルヲ要ス

ニ占領セラル、時ニ我陣地内部ハ盡ク曝露シ陣地ハ瞰制セラレ殊ニ敵砲兵ニテモ配置セラル、時ニ我陣地ハ全ク掃射セラル等其不利擧テ數フベカラズ



砲兵ノ如キハ勿論遮蔽陣地ヲ撰定スルモノトス  
 最良ノ場合ニアリテハ前進陣地奪取後敵ヲシテ本陣地ニ對  
 シ更ニ攻撃計畫ヲ一變セサルヘカラサルノ不利ヲ與フルコ  
 トアリトス

(乙圖參照)

(四)ノ如キハ陣地中ノ一部ニ特ニ設クル者ニシテ左圖(丙)ノ如  
 キ場合A高地ヲ本陣地中ニ入ル、時ハ全般ノ配備上著ク突  
 角ヲ成形シ不利トナルモ最初ヨリ是ヲ棄ルハ其後方ニ於ル  
 本陣地ノ關係上頗ル不利トスル時等ニ利用セラル、ニ過ス  
 (丙圖參照)

第十四章 河川ノ後退配備ニ就テ

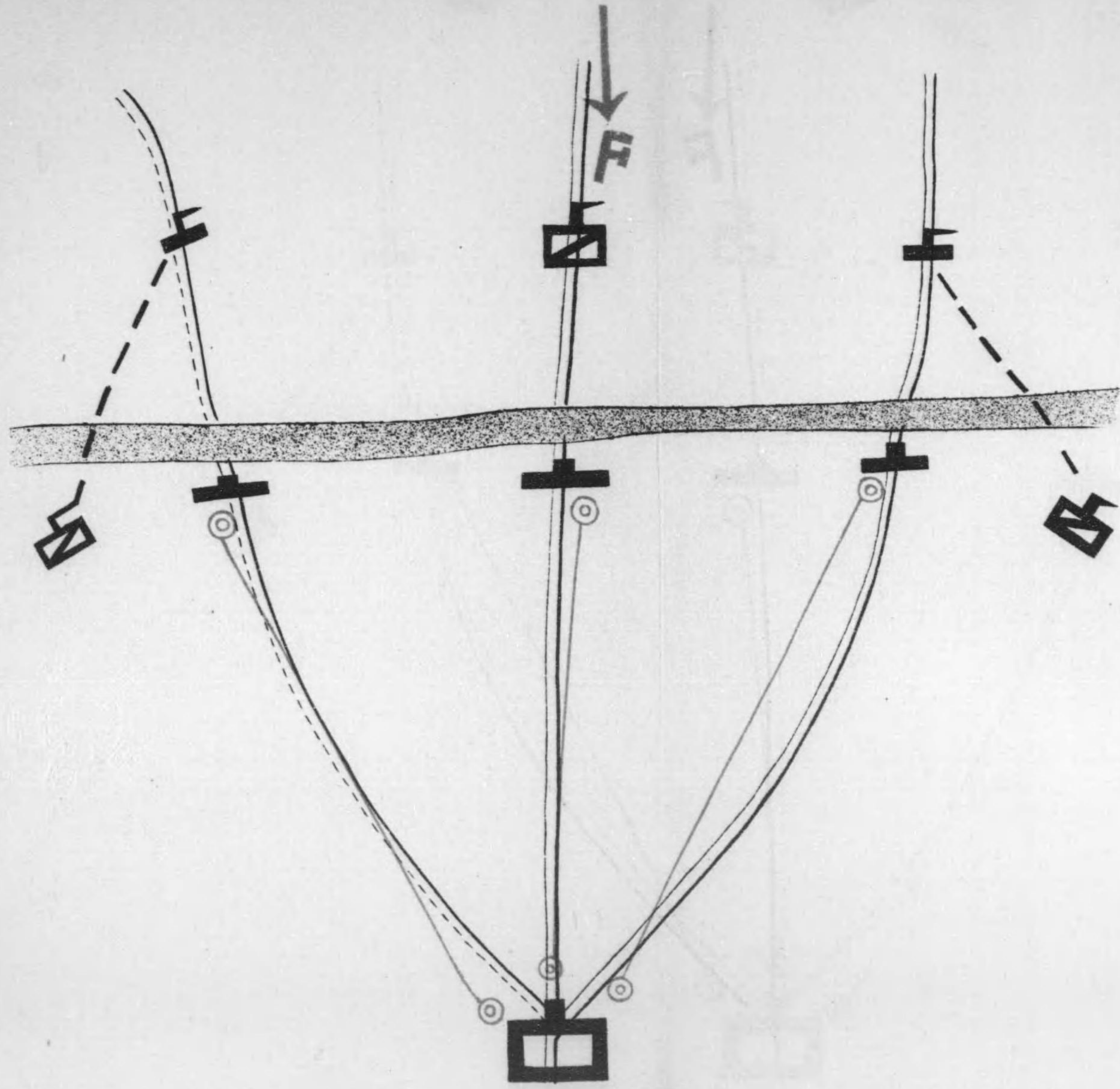
河川ノ後退配備ハ決戦ノ企圖ヲ有スル防者ノ探ルヘキ策案ニシテ殊ニ任務上劣勢ノ兵力ヲ以テ優勢ノ敵ニ對シ決戦ヲ求ムルヲ要スル場合ニ於テ重用セラレ、ノ戦法ナリトス

此種防禦ニアリテハ監視部隊ノ兵力ヲ節約シ攻勢ニ用フヘキ主力ノ兵力ヲ大ナラシムルト對岸ニ於ル搜索ノ續行及主力ト監視部隊トノ通信設備ノ完成トハ共ニ成效ノ要訣ナリト雖モ情況ニ依リ此種配備ニ二種ノ様式アルヲ忘ルヘカラス即チ

(一) 豫想渡河點ニ對シ各監視部隊ヲ配置シ主力ヲ運動容易ナル地ニ集結シ各方面ニ對シ直ニ進出ノ準備ニ在ラシム

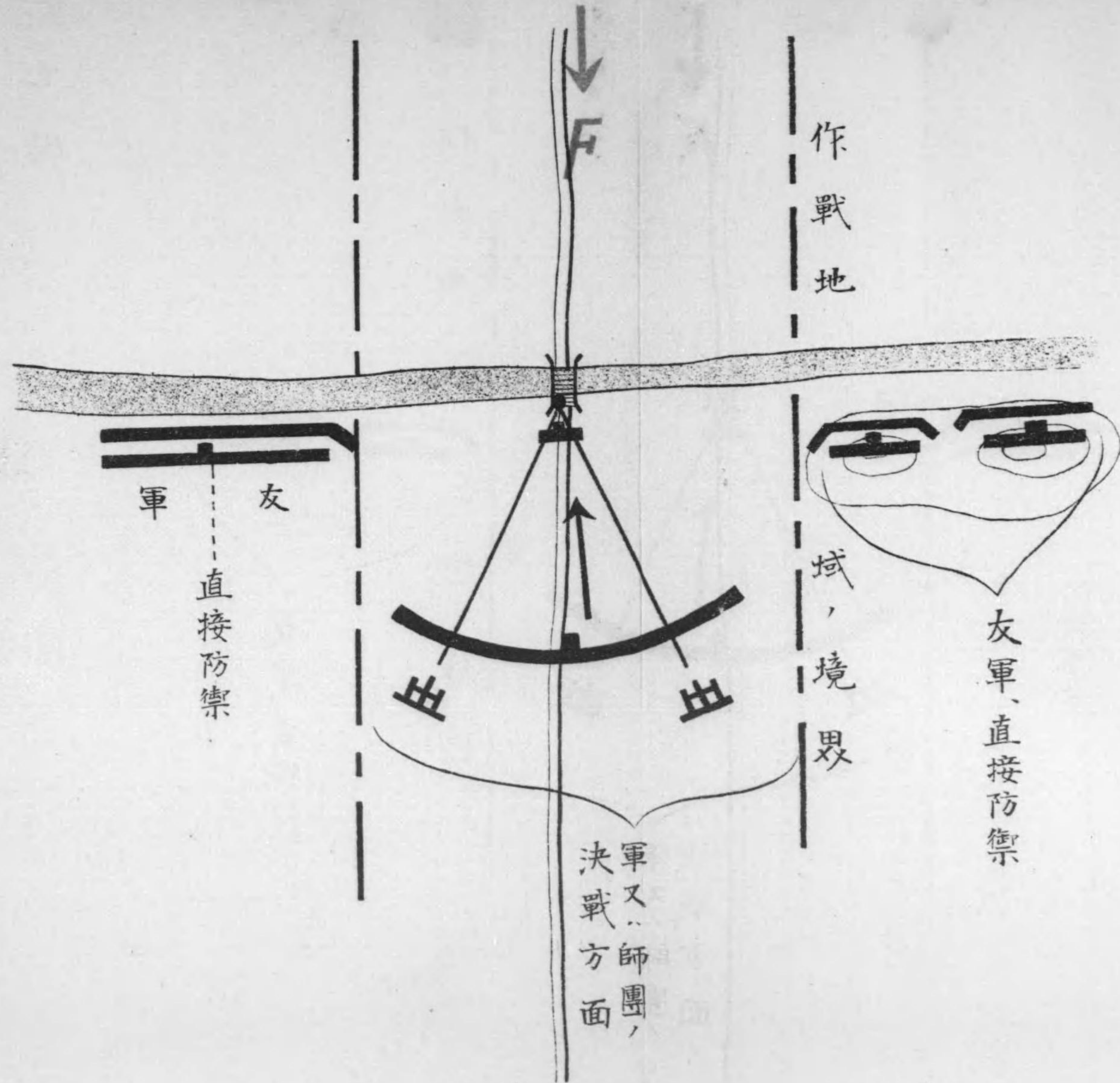
(甲圖參照)

(二) 渡河點ニ對シ概ネ之ヲ中心トシテ弧形ニ展開シ渡河點ニハ一部ノ監視兵ヲ配置ス敵ノ渡河ヲ開始スルヤ直ニ展開

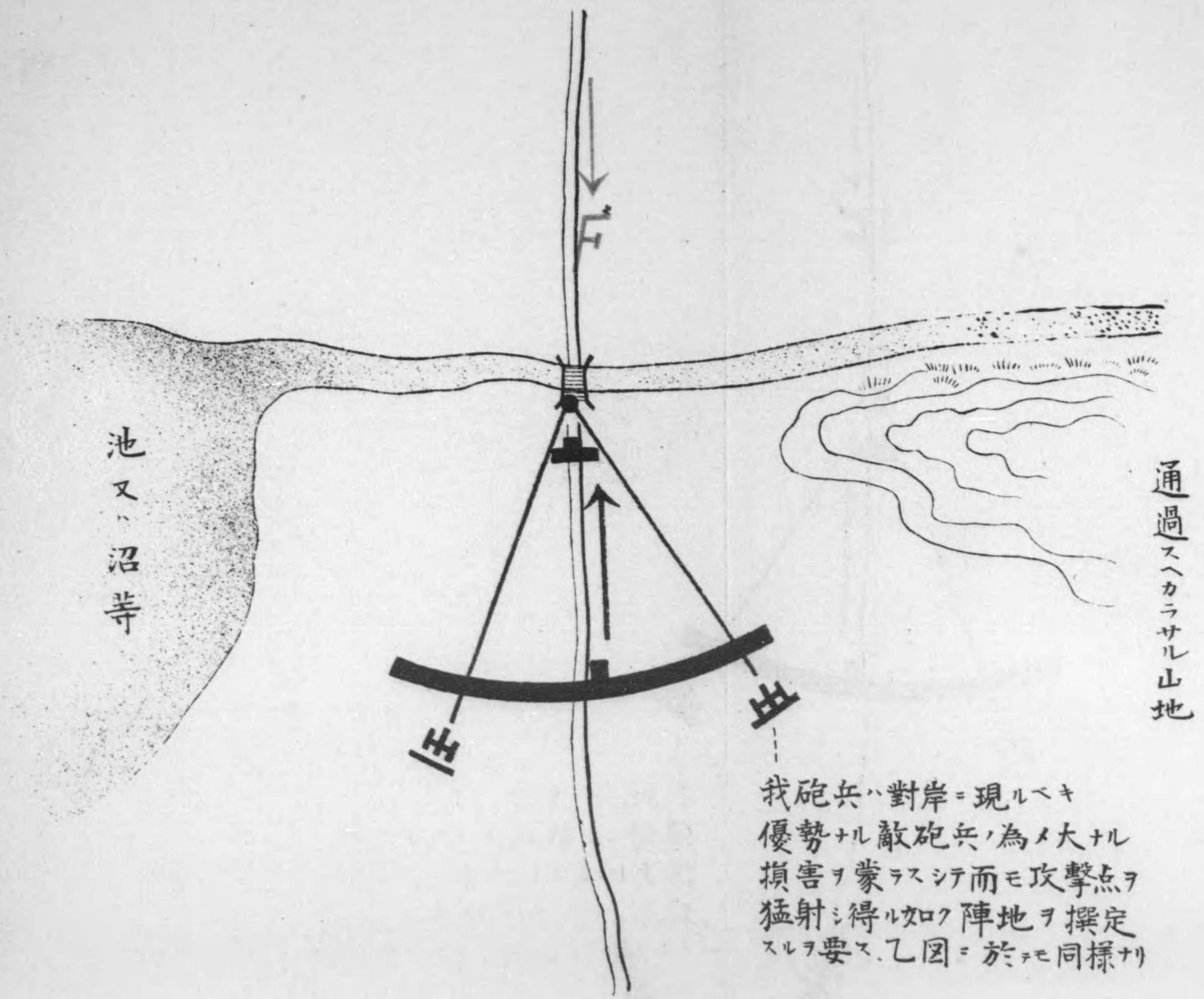


甲圖

乙圖



丙圖



ノ儘攻撃ニ轉シ砲兵ハ既設陣地ヨリ渡河點ニ對シ火力ヲ

集中ス(乙丙圖參照)

前者ハ通常ノ場合ニ於テ行ハル、モノニシテ即チ敵ハ隨意ニ其渡河點ヲ選定シ得ヘク防者ハ全ク是ヲ豫メ決定シ能ハサル場合ニ採用セラル、モノトス  
是ニ反シ後者ハ地形若クハ友軍ノ關係上敵ノ豫想渡河點ハ大凡ソ是ヲ決定シ得テ甚シク各方面ヘノ移動ヲ要セサル場合ニ採用セラル、モノニシテ河川防禦ノ特性上寧ロ異例ナルモノトス

第十五章

隘路前ニ於ル前衛ト後衛トノ

戰鬪法及陣地ノ差異

隘路前ニ於ル前衛及後衛ノ戰鬪ハ共ニ其目的本隊ノ隘路通過ヲ掩護スルニアアルモ本來ノ任務相異ナルヲ以テ其間自ラ戰鬪ノ指導及陣地ニ差異ヲ來サ、ルヲ得ス

以下其要旨ニ關シ述ル所アラントス

(一) 前衛ハ情況ニ依リ攻守兩勢ノ戰鬪ヲ企圖ス(第一章參照)即チ猛烈果敢ナル攻撃動作ニ出テサレハ本隊ノ隘路進出ヲ掩護シ能ハサルカ如キニ於テハ好ンテ攻勢ヲ企圖スルモノトス是ニ反シ後衛ハ情況如何ニ係ラス常ニ一度ハ守勢ヲ採ルヘキモノニシテ彼ノ逆襲ニ出ルカ如キハ眞ニ最後ノ窮策タルニ過ス換言スレハ一時的時間ノ餘裕ヲ得ントスルノ一方便タルノミ前衛ノ獨力攻撃ニ對比シ其間大ニ差アルモノトス

甲圖

至A

通過スカタ  
サル山地

全上山地

本隊、  
進出方向

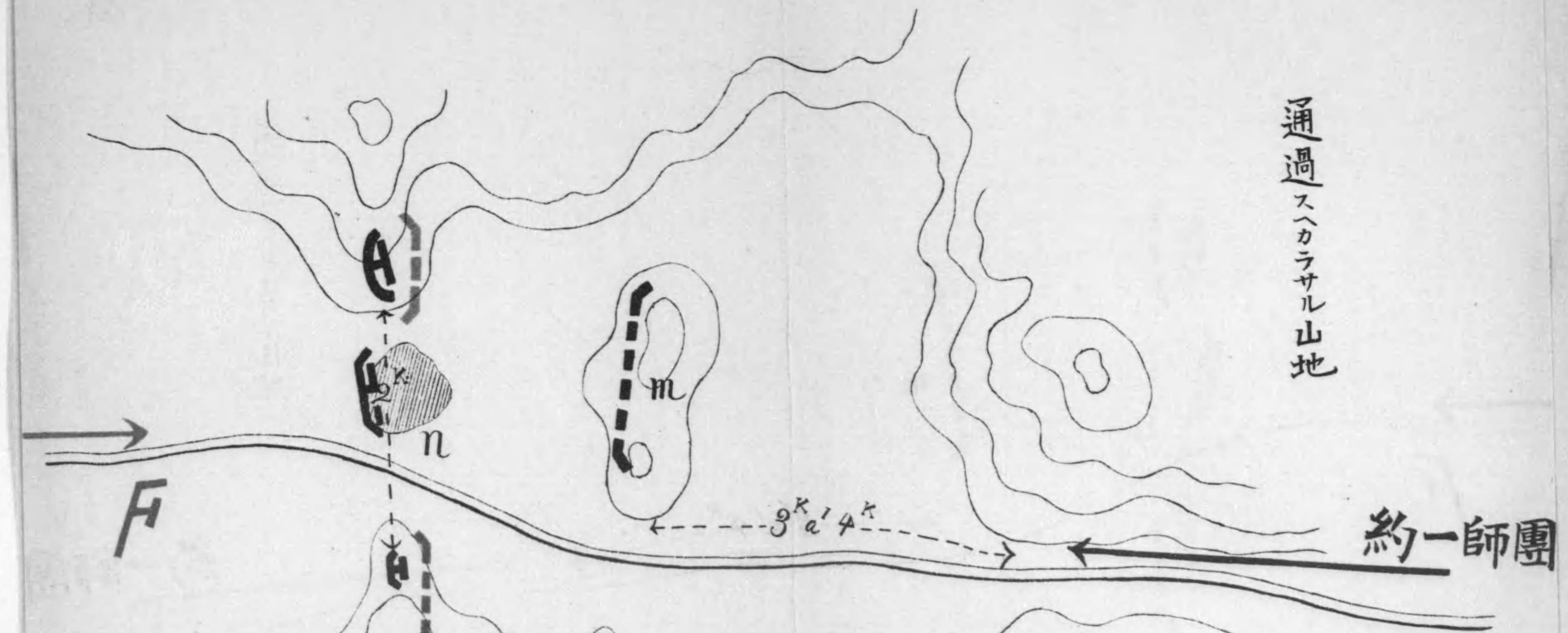
後衛ナル時、退却路(本隊)

後衛ナル時、m、線ニ陣地ヲ  
占領スルヲ可トスルモ前衛  
ハ爾後、攻撃ヲ前進ヲ顧  
慮シテ、線ヲ撰定スルヲ  
要ス又多ク、場合前衛  
ノ孤出シテ持久スル時間ハ  
甚タ大ナラズ故ニ後衛ノ  
如ク堅固ナル陣地ヲ要  
セザルヲ一般トス





乙圖



約一師團

本隊進出路

全上、山地

本隊、展開  
及自己、攻  
勢移轉、為  
ノニハ、 $m$ ニテ可  
ナルモ、敵一度  
凡、線ヲ占領  
スル時、再後  
ニ於ル本隊、  
攻撃ハ、頗ル困  
難ナル故、斯ル  
狀況ニ於テハ  
前衛ハ、更ニ進  
テ、線ヲ占領  
スルヲ要ス

## (二) 陣地ノ撰定ニ就テ

隘路前ニ於ル前衛後衛ノ戰鬪ハ同シク一ノ持久戰ナリトス然レトモ兩者根本ノ目的既ニ差異アルヲ以テ勢陣地ノ撰定ヲ異ニスル所ナカルヘカラス即チ後者ノ目的ハ純然タル持久ニアルヲ以テ堅固ノ度ヲ加フルニ從ヒ益可ナリト雖モ前者ハ情況ノ推移ニ應ン必然攻勢ニ轉スヘキモノナルヲ以テ其陣地ハ能ク持久ノ目的ニ合スルト同時ニ亦攻勢ノ動作ヲ妨ケサルヲ要ス(甲圖)

特種ノ地形ニアリテハ更ニ前述ノ意義ヲ擴張シテ陣地ノ線ヲ決定スルヲ要スルコトアリ例ヘハ本隊ノ展開及自己ノ攻勢移轉ノ爲メニハ充分ノ餘地アリト雖モ本隊ノ爾後ノ攻撃ノ爲メ前方ノ地形不利ナルニ於テハ前衛ハ更ニ進

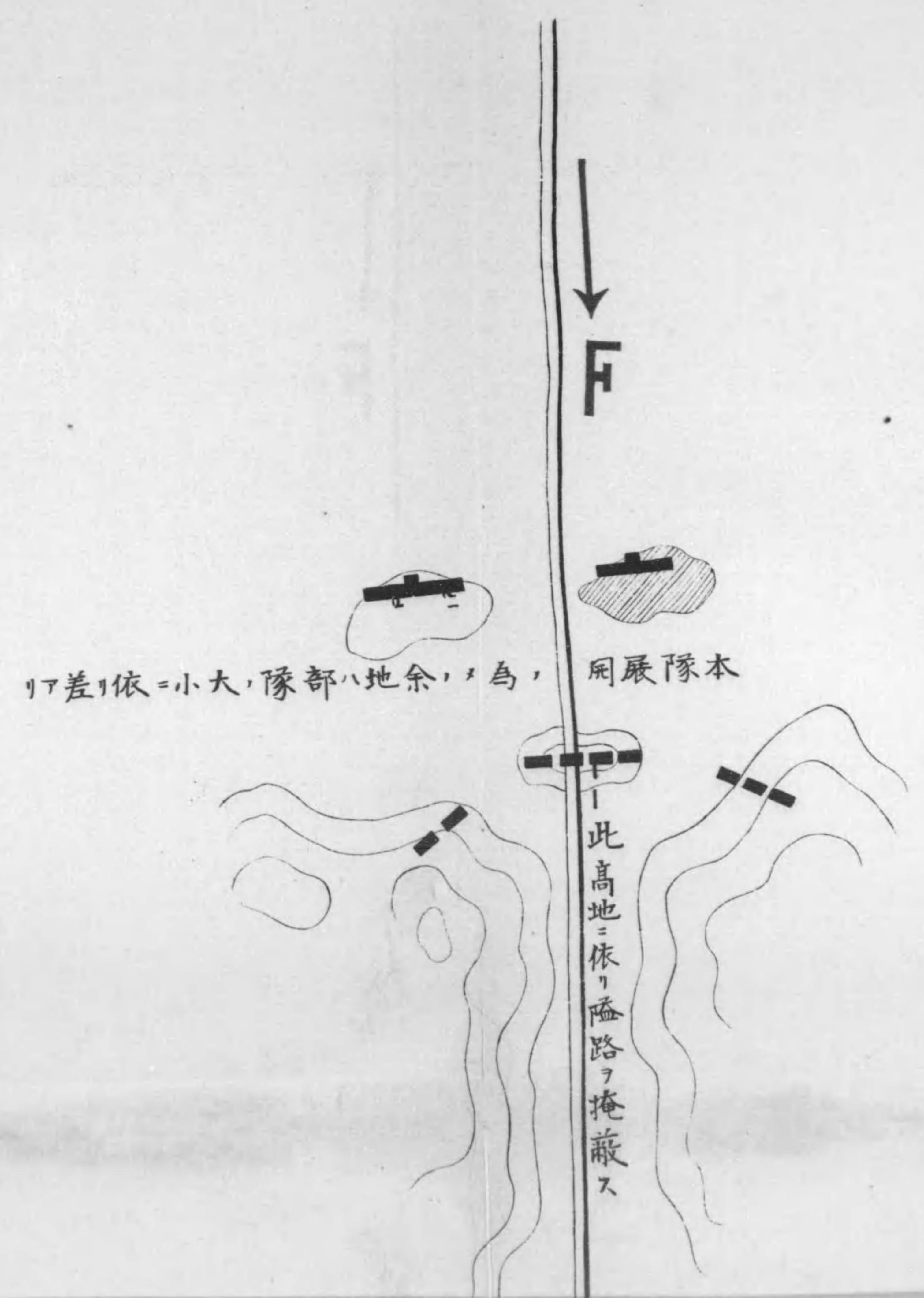
ンテ前方ノ要地ヲ奪取スルヲ要スルコトアルカ如シ

(乙圖參照)

(三) 前衛ノ占ムヘキ掩護陣地ハ本隊展開ノ餘地ヲ有スルコト  
 絶對ニ必要ニシテ從テ隘路口ヲ離ル、稍大ナルニ至ルナ  
 自然トス是ニ反シ後衛ノ陣地ハ單ニ敵ノ銃砲火ノ隘路ニ  
 達シ得ス且要スレハ本隊一部ノ爲メノ集合ニ要スル地幅  
 アルヲ以テ足レリトス例ヘハ左圖ノ如シ

又隘路河川ノ渡河點ノ如キニアリテハ兩者ノ砲兵陣地ニ  
 差異ヲ來スコトアルヘシ即チ前衛ノ掩護陣地ハ通常隘路  
 口ヲ離ル大ナル關係上其砲兵ハ勢隘路前方ニ進出布陣ス  
 ルヲ要スルモ後衛ニアリテハ地形ニ依リ其砲兵ヲ寧ロ後  
 岸ニ配置スルヲ有利トスルコト多シ是レ自己モ亦早晚退

自然トス是ニ反シ後衛ノ陣地ハ單ニ敵ノ銃砲火ノ隘路ニ  
 達シ得ス且要スレハ本隊一部ノ爲メノ集合ニ要スル地幅  
 アルヲ以テ足レリトス例ヘハ左圖ノ如シ  
 又隘路河川ノ渡河點ノ如キニアリテハ兩者ノ砲兵陣地ニ  
 差異ヲ來スコトアルヘシ即チ前衛ノ掩護陣地ハ通常隘路  
 口ヲ離ル大ナル關係上其砲兵ハ勢隘路前方ニ進出布陣ス  
 ルヲ要スルモ後衛ニアリテハ地形ニ依リ其砲兵ヲ寧ロ後  
 岸ニ配置スルヲ有利トスルコト多シ是レ自己モ亦早晚退



掩蔽

却ヲ豫期スレハナリ

## 第十六章 攻勢防禦ニ於ル防勢地帯ニ就テ

決戰ノ目的ハ敵ヲ壓倒殲滅スルニアリ故ニ苟モ決戰的勝利ヲ得ント欲セハ防禦ニアリテモ決然攻勢ニ轉セサルヘカラサルハ操典ノ明示スル所ナリ

然シテ此攻勢防禦ニ於テ具備スヘキ陣地ノ性能ハ堅固ナル防勢地帯ト運動容易ナル攻勢地帯トノ併有ニアリ

抑々決戰防禦ノ利トスル所ハ地形ノ掩護巧妙ナル工事ノ施設ニ依リ兵力ノ節約ヲ行ヒ其剩シ得タル大部ヲ以テ攻勢ヲ企圖シ此方面ニ於ル兵力ノ優勢ヲ占メ勝利ノ基礎ヲ確實ナラシメントスルニ外ナラス故ニ其防勢地帯ニハ左ノ性能ヲ要求ス

- (一) 地形堅固ニシテ敵ノ攻撃困難ナルコト  
依是我兵力ノ節約ヲ計リ且我攻勢方面ノ勝敗未タ決セサル前既ニ守勢方面ノ瓦解スルヲ防ク
- (二) 地形上敵ノ包圍ヲ免レ得ルカ又ハ能ク之ニ對抗シ得ルコト

地形上敵ノ包圍ヲ免レ得ル時ハ敵ハ一部ヲ以テ之ニ對セシメ主力ハ自然我企圖スル決戰方面ニ使用サルヘク即チ我ハ其欲スル所ニ於テ敵主力ト決戰シ得若シ地形敵ノ包圍ヲ許スカ如キニ於テハ工事其他ノ施設ヲ以テ一時能ク是ニ對抗シ得サルヘカラス然ラサレハ敵若シ我豫想ニ反シ該方面ニ主力ヲ用ユル時ハ我主力ノ敵一部ト決戰スル間敵ノ主力ハ早ク既ニ我守勢方面ヲ突破スルニ至ルヘシ

- (三) 防勢地帯ノ火力ヲ以テ攻勢地帯ヲ制壓シ得サルヘカラス
- (四) 要スレハ出撃シ得ルヲ要ス
- 防勢地帯ハ堅固ナルヲ欲スト雖モ是レカ爲メ其正面若クハ前地ニ通過スヘカラサル地障ヲ有スルハ不利ナリトス是レ敵ハ毫モ防者ノ此方面ヨリスル出撃ヲ顧慮スルヲ要セサルヲ以テ一兵ヲモ之ニ割クコトナク全力ヲ舉テ我攻勢地帯ニ使用スヘク此際我守勢地區ノ部隊ハ直ニ突出セント欲スルモ其行動ハ釘著セラレ却テ敵ノ爲メ兵力ノ一部ヲ牽制セラレタルカ如キ奇觀ヲ呈スルニ至レハナリ
- 此事タルヤ一見明ナリト雖モ一度應用戰術ニ移ルヤ極力其守勢地帯ノ堅固ナルヲ求メ遂ニ不知不識ノ間此過失ヲ犯スニ至ルモノ多シ是レ特ニ茲ニ言及セシ所以ナリトス

(甲乙圖參照)

## 第十七章 夜間退却指揮ノ要領

現今火器ノ進歩ハ其後方部隊ノ有無如何ニ關セス白晝ノ退却ハ全ク殲滅ニ陷ルニ等シク到底大損害ヲ受ルニ非レハ不可能事ニ屬ス故ニ退却ノ開始ハ宜シク夜暗ヲ待テ行フヲ可トスヘク又一方火器ノ進歩ハ戰鬪ニ靱軟ノ性ヲ附與セシユト甚タ大ナルヲ以テ假令戰況不利ニ傾クモ尙能ク夜暗ニ至ル間其位置ヲ保持シ得ルモノトス故ニ將來ノ會戰ハ退却追撃共ニ夜暗ヲ利用スルニ至ルヘク茲ニ於テカ其研究モ亦晝間ノモノニ比シ更ニ一層ノ價值ヲ有スルニ至レリト謂フヘシ

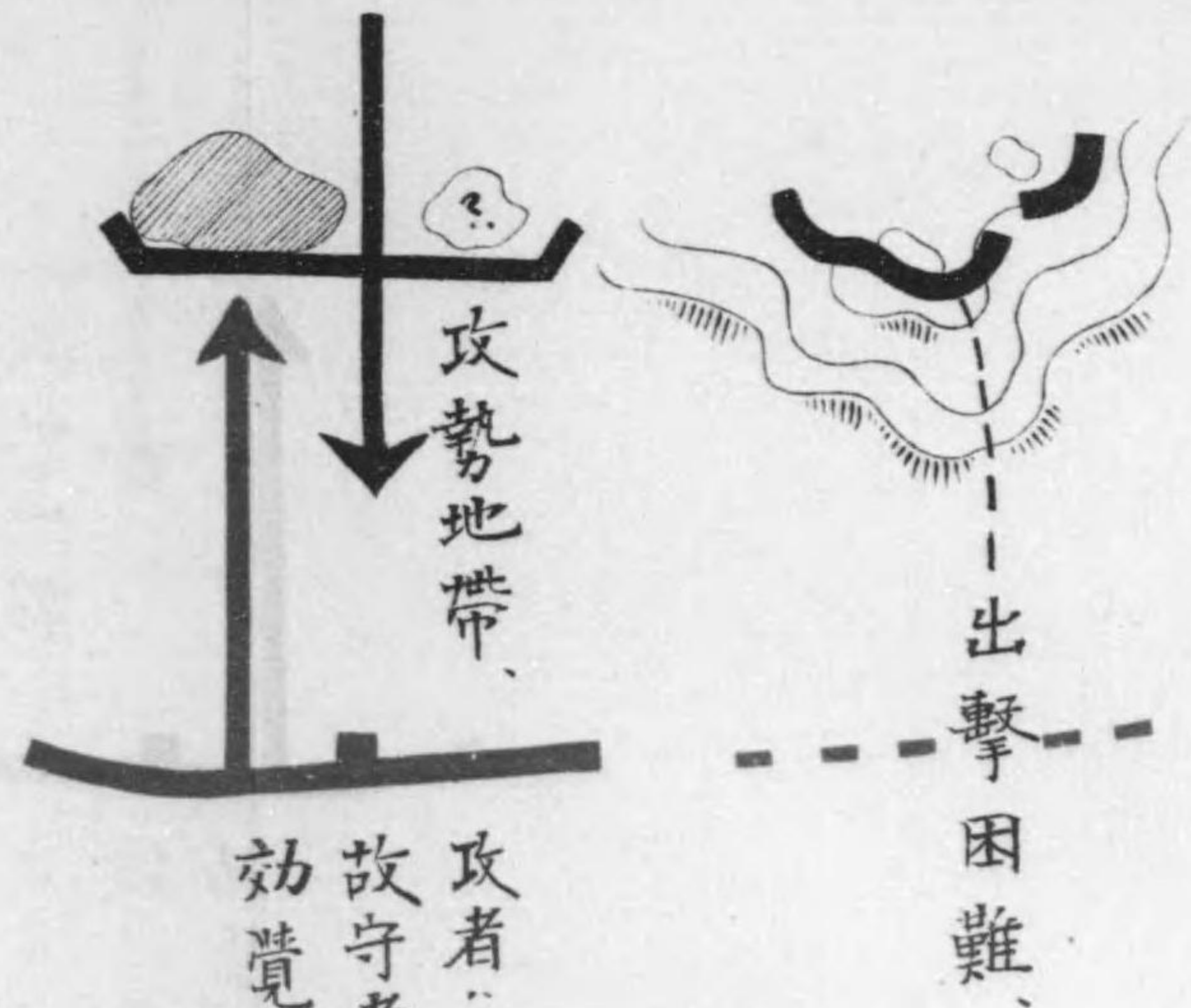
夜間退却ニ於テ特ニ講究スヘキハ概シテ左ノ三項ト爲ス



甲 図

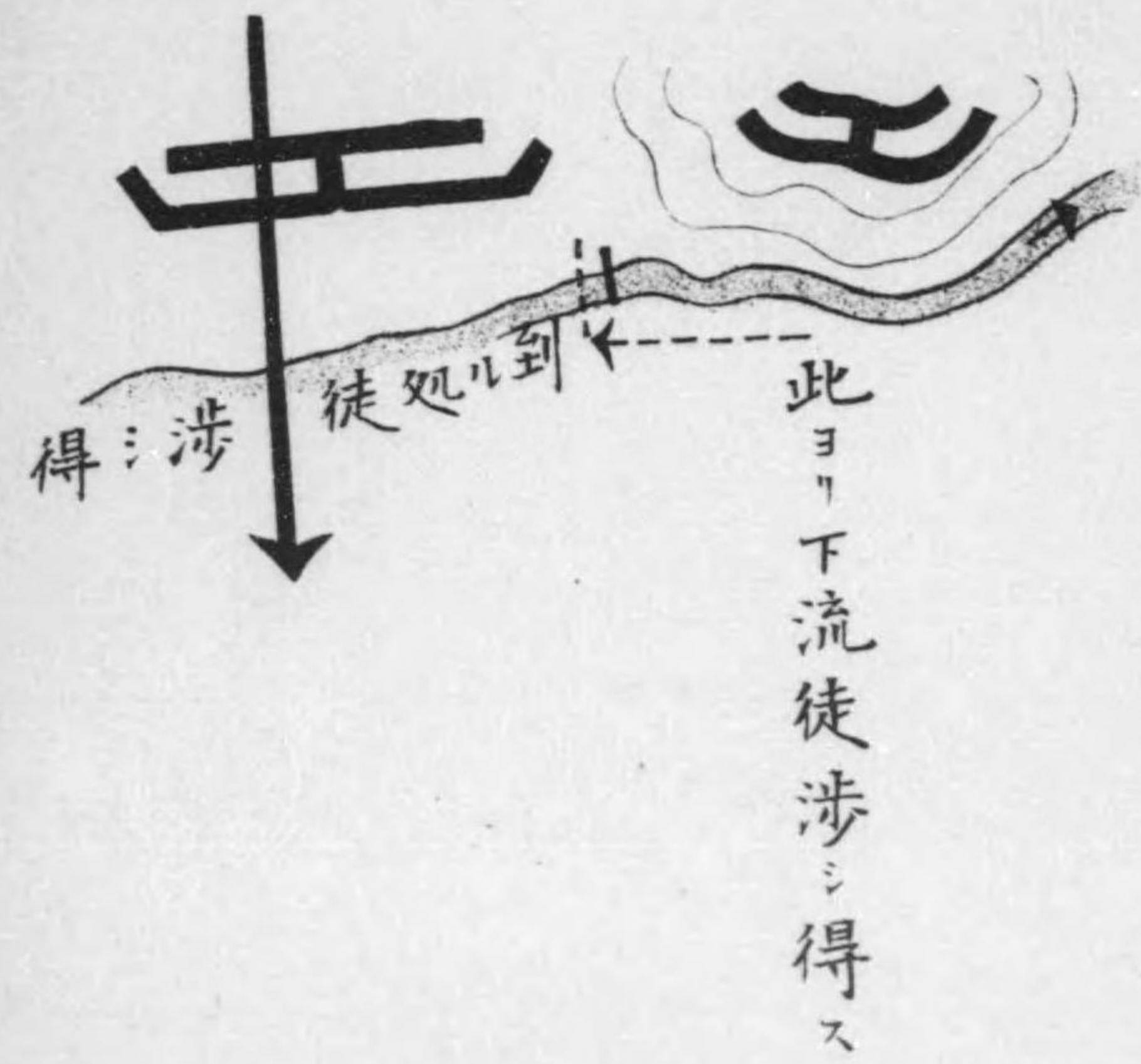
左、如キ守勢地帯ハ不可ナリ  
 寧ロ翼ノ障碍トシテ依托スルヲ可トス

其一



攻者ハ全カヲ以テ攻取テスル  
 故守者、攻勢移轉ハ奏  
 効覺付カナシ

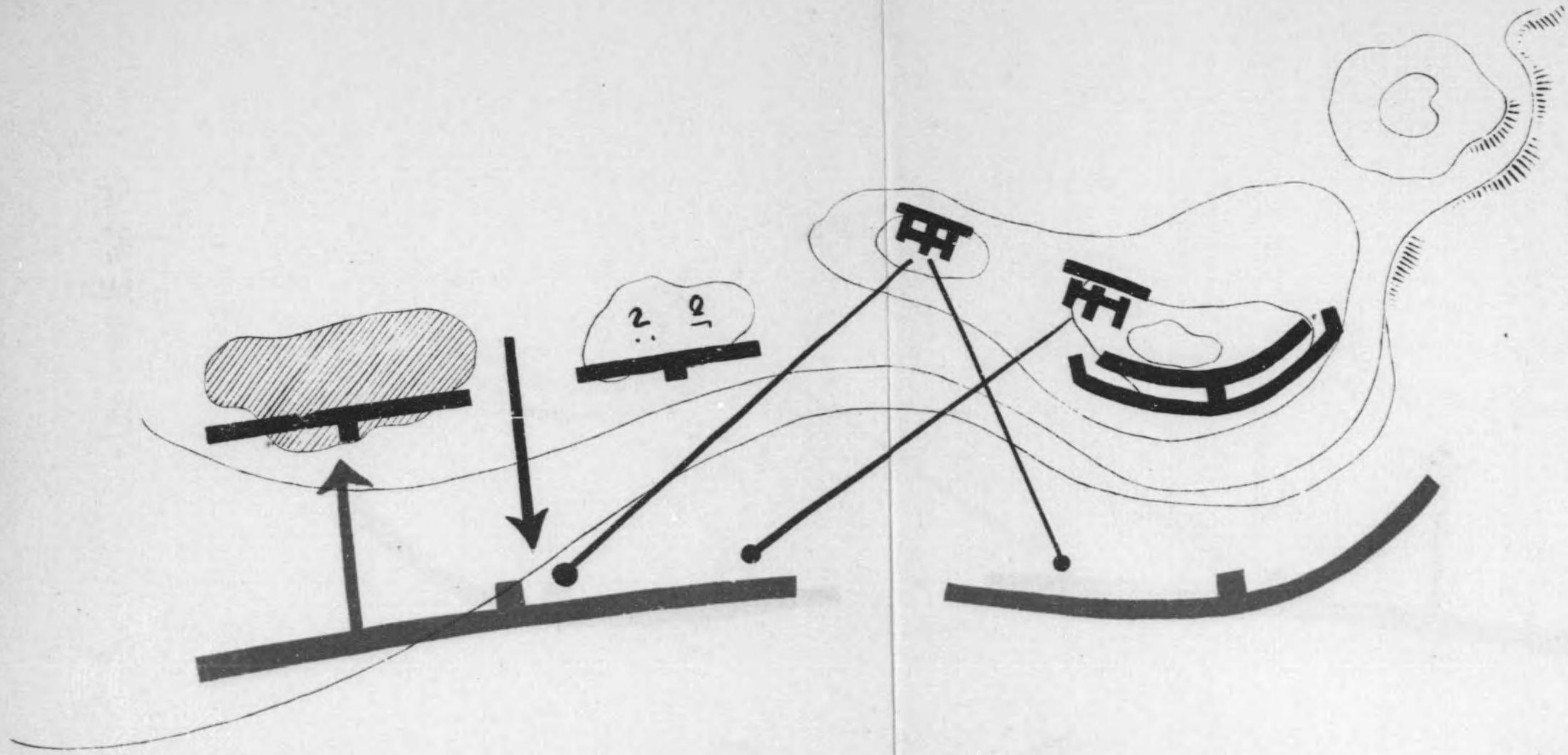
其二



此ヨリ下流徒涉シ得ス

乙圖

守勢地帶ニ適ス。



一、退却時期ノ撰定

二、收容ノ手段

三、集合ノ方法

以下逐次之レカ研究ヲ試ミントス

一、退却時期ノ撰定

夜間ニ於テ退却時期ノ決定ハ退却命令ノ傳達ニ要スル時間ト更ニ占ムヘキ陣地ニ到ル距離トニ關ス 近ク敵ト相接觸シ夜暗ニ入ルト同時ニ敵ノ夜襲ヲ受ルカ如キ恐アルニ於テハ日没ト同時ニ其運動ヲ開始セサルヘカラスト雖モ斯ノ如キカ爲ニハ少クモ日没前已ニ退却ニ關スル命令ノ傳達ヲ完了シ其後方輜重行李(要スレハ砲兵等モ)ノ如キハ日中既ニ業ニ退却ニ移リツ、アラサルヘカラス然ルニ現時ノ如キ航空

機ノ偵察進歩セルノ時代ニ於テハ此運動ハ直ニ敵ニ察知セラレ却テ退却ノ開始ヲ敵ニ通報スルニ等シキニ至ルヘシ故ニ天候其他ノ關係ニ依リ敵ノ偵察機能其用ヲ爲サ、ルカ如キ特異ノ場合ニ非レハ第一線主力ノ退却ハ少クモ日没後數時間ヲ經ルニ非レハ能ハサルモノトス

又夜間ニ於ル命令ノ傳達ハ豫想外ニ多クノ時間ヲ要スルモノニシテ之ヲ日露戰役ノ經驗ニ徵スルニ退却若クハ追撃ニ關スル軍命令ノ出シヨリ第一線部隊ノ實行ニ移ル迄ニハ多キハ七八時間少キモ五時間ヲ經過シアリ近時通信機關ノ發達ニ從ヒ漸次此時間ハ短縮セラレツ、アリト雖モ尙川越附近ノ大演習ニ於テ軍命令ノ實施迄ニハ約七時間ヲ要シ大正三年京阪附近ノ大演習ニ於テモ優ニ四、五時間ヲ費セリ故ニ

此ノ關係ヨリスルモ日没ヲ俟テ直ニ第一線ヲ撤退スルカ如キハ殆ト不可能ナリトス

退却時期ノ選定ハ又爾後ニ於ケル新陣地ト大ナル關係ヲ有ス要ハ該陣地ニ到達セハ時已ニ拂曉ナル如クスルヲ可トス是レカ爲メ其退却距離ノ長短ニ依リ時期ノ選定亦自ラ定ルモノトス

## 二、收容ノ手段

夜間ノ退却ハ第一線ニ殘置セル一部ヲ以テスルヲ原則トス是レ後方ニ收容隊ヲ設ケ全隊ノ收容ヲ爲サント欲スルモ夜間ハ遠ク火力ヲ以テ制壓スルコト能ハサルヲ以テ正面ノ敵ハ或ハ之ヲ拒止シ得ンモ側方ヲ通過スル敵ニ對シテハ何等其追撃ヲ遲滞セシムルヲ得ス加之斯ノ如キハ却テ退却スル

友軍ト敵トノ判別ニ苦ミ士氣沮喪セル結果ハ遂ニ悲慘ナル  
 同士討ヲ演スルニ至ルヘシ  
 又追撃スル勝者ト雖モ夜間ノ常トシテ道路外ノ運動ハ殆ト  
 行フユト能ハサルノミナラス一度敵ニ衝突スルニ於テハ縱  
 ヒ現時ノ守備兵如何ニ微弱ナルモ通常大混亂ヲ生シ一時全  
 ク指揮ノ統一ヲ缺キ更ニ隊伍ヲ整理シテ追撃ニ移ルカ爲メ  
 ニハ通常大ナル時間ヲ要スルモノトス故ニ多クノ場合別ニ  
 晝間ノ如キ收容隊ヲ設クルユトナリ第一線ノ各部ニ微弱ナ  
 ル一部ヲ殘置シ敵トノ觸接ヲ絶ツニ至ルモノトス  
 然シテ其殘置スヘキ部隊ハ概ネ中隊毎ニ一部隊ヲ充ツルヲ  
 有利トス是レ夜間ニ至リ更ニ配備ヲ變更スル害ナク全線略  
 同一ナル守備線ヲ形成シ得レハナリ而シテ此等殘置部隊ハ

統一セル一指揮官ノ指揮ニ附セサルヲ本則トス是レ實行全  
 ク不可能ナレハナリ戰場ノ廣大ナルト地形錯雜ナルトキニ  
 於テ益然リ  
 若シ敵ノ攻撃猛烈ニシテ日没直ニ夜襲ヲ受ルカ如キ狀況ニ  
 於テハ寧ロ勇猛ナル小數ノ部隊ヲ以テ敵ノ全正面ニ對シ猛  
 烈間斷ナキ夜襲ヲ實施シ自ラ機先ヲ制シ以テ敵ノ企圖ヲ挫  
 折セシムルヲ要ス  
 茲ニ注意スヘキハ拂曉以後ニ於ケル敵ノ追撃及我退却ノ狀  
 況ヲ顧慮シ若クハ陣地占領ヲ掩護スル目的等ヲ以テ後衛ヲ  
 シテ有利ノ地點ニ一時陣地ヲ占領セシムルユトアリ然レト  
 モ是レヲ以テ夜間第一線ヲ以テスル收容ト同一種類ナリト  
 解スルハ彼此相混同セルモノナルヲ忘ルヘカラサルユトナ

三、集合ノ方法

夜間退却ニ於テモ亦一時一地區ニ必シモ一地ノ意味ニアラス)集合セシムルハ勿論ナリト雖モ其戰線ヲ距ル集合地ノ距離ハ晝間ニ比スレハ近キヲ必要トスト雖モ亦餘リニ近接シアラサルヲ要ス是レ未タ各隊ノ集結終ラサルニ早ク既ニ全隊ノ集合地ニ到達スルノ恐アレハナリ然シテ此等集合地點ハ明確ナル目標ヲ指示シテ命令スヘク又爾後ノ縱隊退却モ勉メテ一縱隊ヲラサルヲ要ス

然レトモ不良ノ道路ニ迄縱隊ヲ分割スルハ却テ退却ヲ遲緩セシムルモノトス

第十八章 各個擊破内外線作戰

一、各個擊破トハ如何

各個擊破トハ敵ノ分離ニ乘シ此ヲ擊破スルモノニシテ其橫方向ニ分離シアルト將又縱方向ニ分離シアルト將作戰ノ初動ニ於テスルト會戰ノ期間ニ於テスルトハ敢テ向フ所ニアラサルナリ

二、各個擊破ニ關スル原則

各個擊破成效ノ要件ハ分離セル敵ノ一部ニ對スル戰鬪局ヲ結フ迄他ノ一部ノ來援シ得サルニアリ

然シテ全力ヲ以テ個々ノ敵ヲ擊ツヘキヤ又一部ヲ他ノ敵ニ對セシメサルヘカラサルヤハ敵分離ノ狀態竝ニ地形ニ關ス

然レトモ其如何ナル場合ニ於テモ服膺スヘキノ原則ハ其攻撃目標ハ分離セル敵ノ中自己ニ最近ノモノヲ撰定スヘク若シ又距離共ニ同一ナルニ於テハ敵ノ主力ヲ索メテ是ヲ攻撃スルニアリ是レ主力ノ戰鬪ニ勝利ヲ得ル時ハ敵ノ一部ノ如キハ戰ハスシテ退避スレハナリ

然シテ右ノ所謂距離ノ長短トハ純然タル距離ノ意味ニ非シテ來援時間ノ大小ヲ意味スルモノナリ例ヘハ甲乙兩敵ノ中後者ノ動員集中前者ニ比シ遙ニ遲滯スヘキニ於テハ我先ツ前者ト雌雄ヲ決シ然ル後後者ニ向フカ如シ最近歐洲戰ニ於テ獨ノ先ツ全力ヲ舉テ佛國ヲ擊テシハ畢竟佛ノ動員集中ハ露國ニ比シ遙ニ迅速ナレハナリ

又敵ノ分離ノ情態トハ敵ノ數兵團各方面ニ點在シアルノミ

ノ謂ニ非ス即チ敵ノ未タ集中ヲ終ラサルニ乘シ之ヲ攻撃スルモ亦一種ノ各個擊破ナリ

左ニ要圖ヲ以テ以上ノ原則ヲ明ナラシメントス  
右ニ示セル各種場合ノ中縱方向ニアル敵ニ對シ各個擊破ノ起リ得ルハ極メテ稀有ノ場合ニシテ多クハ外線ニ位置スルモノニ對シ内線ニ位置スル軍ニ於テ企圖シ得ヘキモノトス  
是レ縱方向ニ分離セル各梯團ハ敵情危險ナルニ於テハ適時其先頭ヲ駐メ敵ト離隔シ其集結ヲ圖リ得レハナリ

學理上ハ右ノ如クナルモ戰時ハ必シモ然ラス政略ノ戰略ヲ制肘スルカ如キ時ニ於テハ益然リ

又火器ノ進歩ハ戰鬪ニ多大ノ柔軟性ヲ附與セリ故ニ敵ノ一部ヲ破リ直ニ反轉シテ他ノ敵ニ對スルカ如キハ到底望ミ得

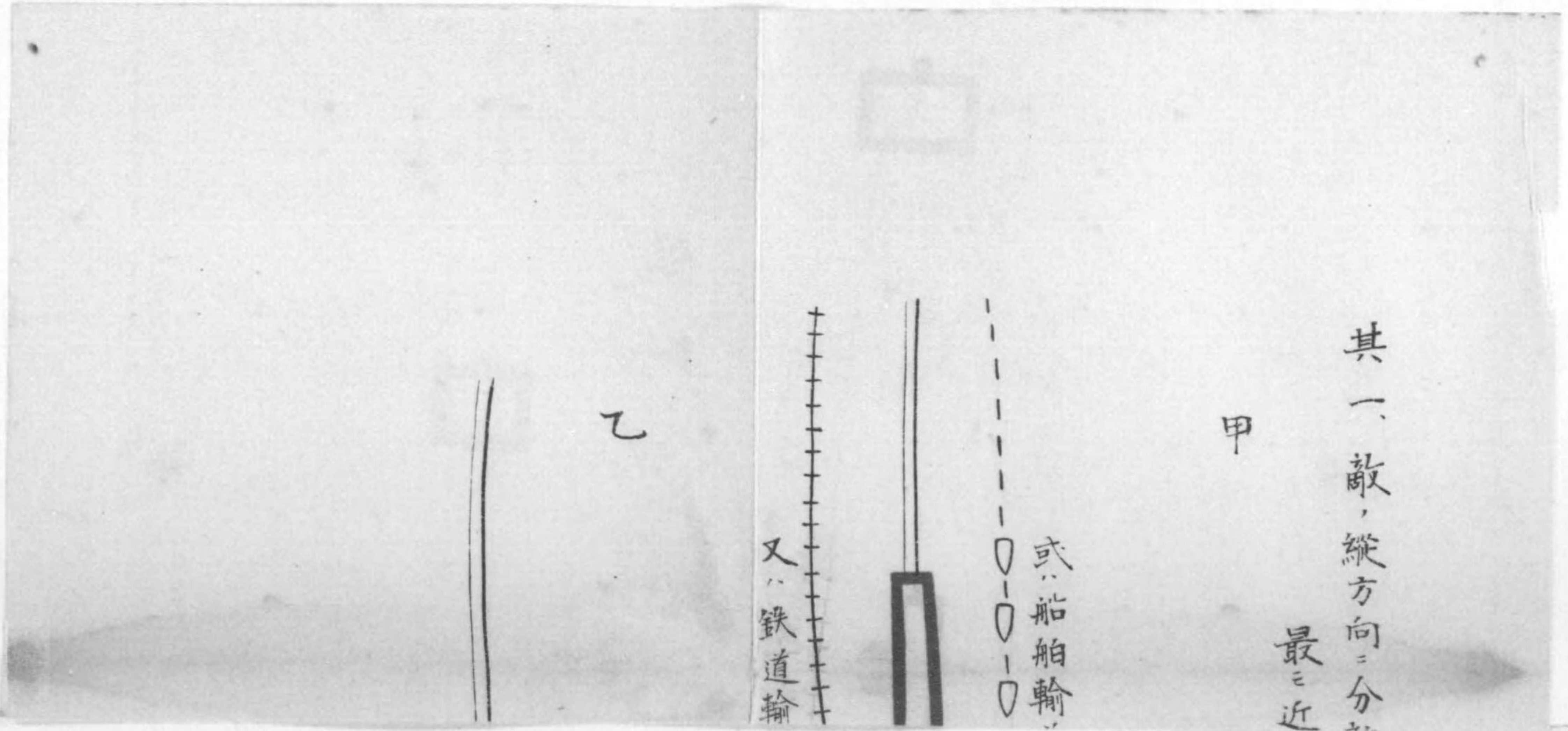
ヘカラストノ疑念無キニシモ非スト雖モ火器ノ進歩ハ又一面ニ於テ能ク一小部隊ヲ以テ優勢ナル敵ニ對シ一時能ク持久ノ任務ヲ達成シ得ルヲ以テ此間主力方面ノ局ヲ結ヒ得ルノ公算少シトナサス要ハ決心ノ堅確ト猛烈ナル攻撃ノ一途アルノミ

以下各個擊破ト密接ノ關係ヲ有スル内外線作戰ニ關シ述ル所アラントス

### 三、内外線作戰ノ原理及利害

彼我兩軍ノ相對スルヤ時ニ兩者共ニ同時ニ攻勢ニ出ル場合ナキニシモ非スト雖モ多クハ攻守兩勢ニ分ル、ナ常トス(武力動員集中國是等ノ關係上)然シテ攻者ハ通常防者ニ向ヒ集中ノ形ヲ以テ前進シ守者ハ是ニ對シ一部ノ兵力ヲ分離シテ





其一、敵、縱方向、分、最、近

甲

或、船舶輸、

又、鐵道輸、

乙

面ニ於テ能ク一小部隊ヲ以テ優勢ナル敵ニ對シ一時能ク持久ノ任務ヲ達成シ得ルヲ以テ此間主力方面ノ局ヲ結ヒ得ルノ公算少シトナサス要ハ決心ノ堅確ト猛烈ナル攻撃ノ一途アルノミ

以下各個擊破ト密接ノ關係ヲ有スル内外線作戰ニ關シ述ル所アラントス

三、内外線作戰ノ原理及利害

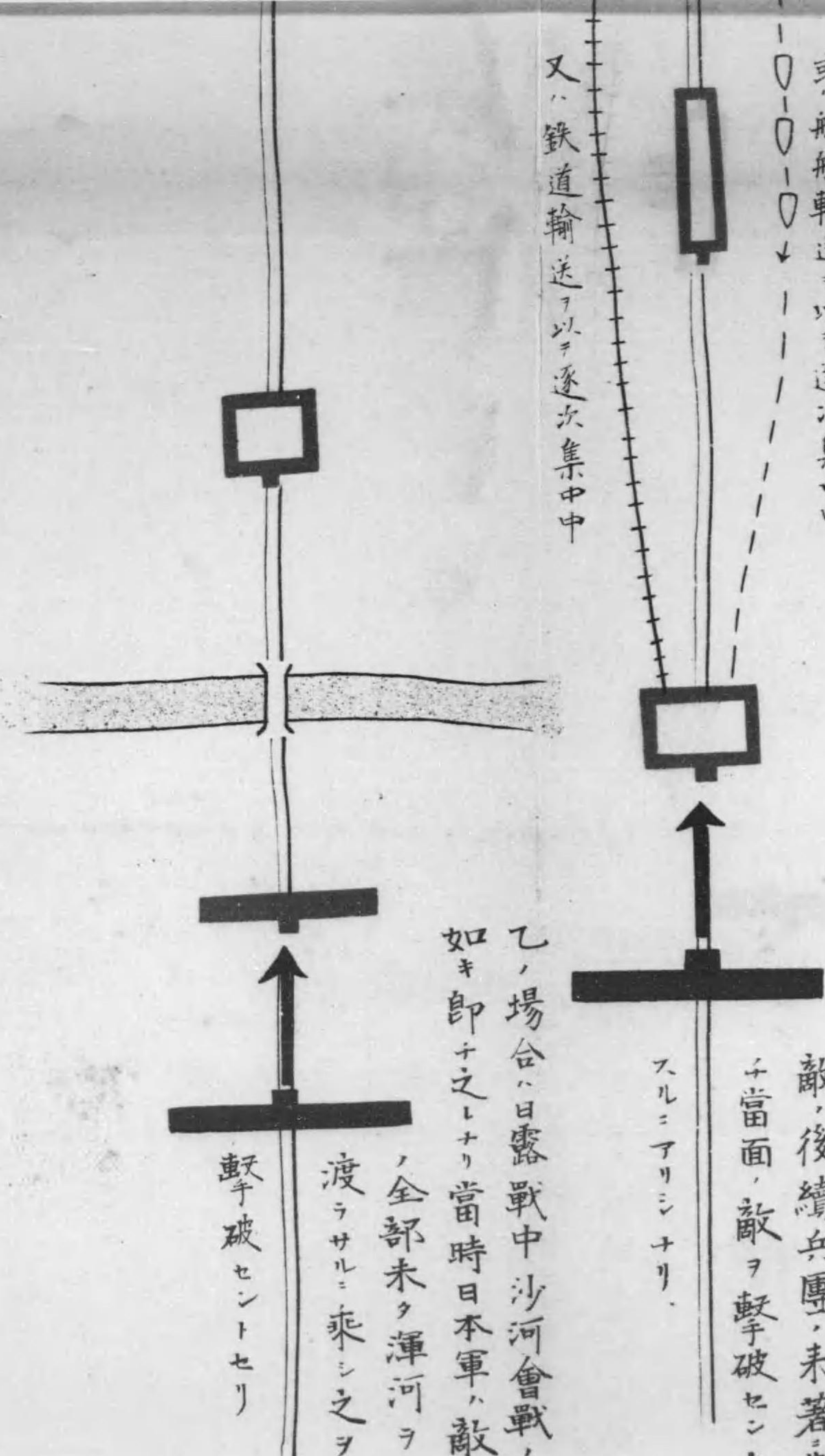
彼我兩軍ノ相對スルヤ時ニ兩者共ニ同時ニ攻勢ニ出ル場合ナキニシモ非スト雖モ多クハ攻守兩勢ニ分ル、ナ常トス(武力動員集中國是等ノ關係上)然シテ攻者ハ通常防者ニ向ヒ集中ノ形ヲ以テ前進シ守者ハ是ニ對シ一部ノ兵力ヲ分離シテ

本、縱方向ニ分離シ在ル場合、狀ノ場合ニアリテハ敵狀上先ッ

最ニ近キ敵ノ先頭兵團ニ對シ全カヲ以テ攻撃ス

或ハ船舶輸送ヲ以テ逐次集中中

又ハ鐵道輸送ヲ以テ逐次集中中



日露戰中遼陽會戰、如キハ甲ノ適例ナリ、當時露軍ハ鐵道ニ依リ極力其兵力ヲ增加中シテ日本軍ノ作戰ハ敵ノ後續兵團ノ未著先ニ當面ノ敵ヲ擊破セントスルニアリシナリ。

乙ノ場合ハ日露戰中沙河會戰、如キ即チ之レナリ當時日本軍ハ敵ノ全部未ク渾河ヲ渡ラサルニ乘シ之ヲ

擊破セントセリ

其二

敵、主カタリ一部タリト問ハス先ツ最近、敵向ヒ攻撃ス  
然シテB、距離大ナル時、我ハ全カヲ裝テAヲ撃テ得ヘシ

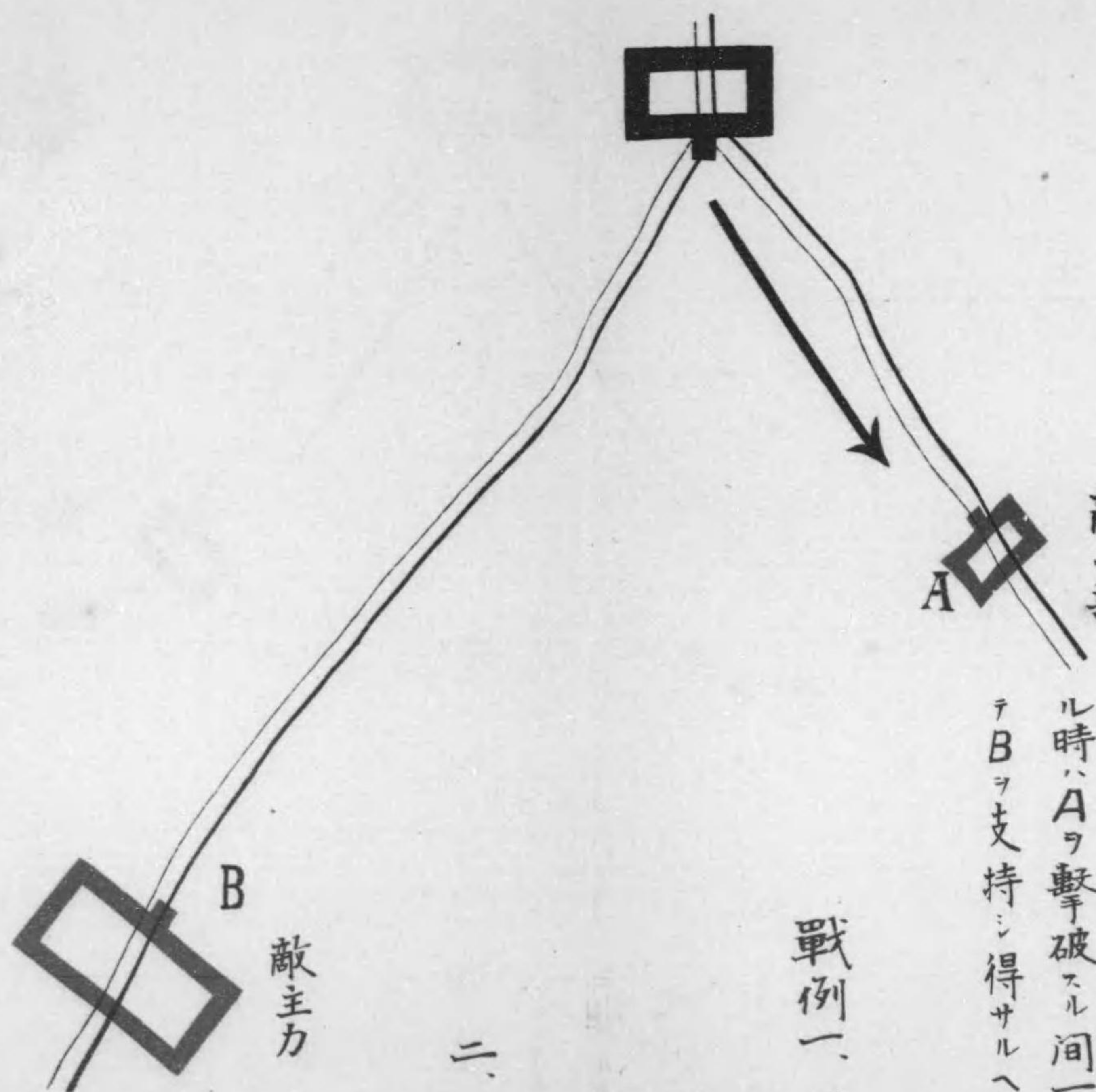
敵一部

是ニ反シB、距離小(比較的)ナ  
ル時ハAヲ撃破スル間一部ヲ以  
テBヲ支持シ得サルヘカラス

戦例一

遼陽戦前日露両軍之状

ナリシナリ即チIAハ近ク橋  
西偏峯ヲ経テ様子峯ニ亘ル  
海城附近ニ未タ前進シ  
両者、連絡ハ山地ニ依リ分  
二、一八六六年戦ニ於テ普、IA  
タ遠キニ反シ普、IAハ近ク橋  
シテ以テ坎除墾軍ハ先ツ普  
ヘキ好時機ナリシナリ、然ル  
テサリシハ兵家ノ共ニ惜ム



露西軍之状勢、正ニ上図ノ如ク  
IAハ近ク橋頭北方高地ヨリ  
椽子峯ニ亘ル線ニ進ミIA IVAハ  
不ク前進ノ準備中ナリ而モ  
山地ニ依リ分断セラレアリ、  
於テ普ノIA及「エルベ」軍ノ未  
旨、IAハ近ク塙軍主力ニ位置セ  
一軍ハ先ツ普ノIAヲ猛撃ス  
クシナリ、然ルニ遂ニ其擧ヲ出  
ノ共ニ惜ム所ナリ